富山県立大学学生会館新築工事

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号		意匠担当主任技術者 西野晴仁 一級建築士登録第247715号		担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号		記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号	A-001
								図面名称 表紙	縮尺 [A1] [A3]	意匠	

種 別	No.		図 面 名 称
意 匠	A-001		表紙
	A-002		図面目次
	A-003		建築工事特記仕様書（一般共通事項等）
	A-004		建築工事特記仕様書（その１）
	A-005		建築工事特記仕様書（その２）
	A-006		建築工事特記仕様書（その３）
	A-007		工事区分表
	A-008		附近見取図・配置図
	A-009		面積表、１階・２階 求積図
	A-010		仕上表
	A-011		１階平面図
	A-012		２階平面図
	A-013		屋根伏図
	A-014		立面図
	A-015		断面図
	A-016		天井伏図
	A-017		断面詳細図０１
	A-018		断面詳細図０２
	A-019		断面詳細図０３
	A-020		断面詳細図０４
	A-021		１階平面詳細図０１
	A-022		１階平面詳細図０２
	A-023		２階平面詳細図０１
	A-024		２階平面詳細図０２
	A-025		展開図０１
	A-026		展開図０２
	A-027		展開図０３
	A-028		展開図０４
	A-029		展開図０５
	A-030		建具符号図
	A-031		建具表
	A-032		各種符号図
	A-033		サイン工事特記事項
	A-034		サイン意匠図・詳細図１
	A-035		サイン意匠図・詳細図２
	A-036		外構計画図
	A-037		雨水排水計画図
	A-038		計画レベル図
	A-039		エレベーター詳細図０１
	A-040		エレベーター詳細図０２
	A-041		外部通路詳細図
	A-042		法規チェック表

種 別	No.		図 面 名 称
構 造	S-001		ＲＣ標準図01
	S-002		ＲＣ標準図02
	S-003		木造特記仕様書01
	S-004		木造特記仕様書02
	S-005		部室棟　基礎伏図
	S-006		部室棟　１階床伏図・２階床伏図
	S-007		部室棟　小屋伏図１・小屋伏図２
	S-008		部室棟　軸組図１
	S-009		部室棟　軸組図２
	S-010		談話室棟　基礎伏図
	S-011		談話室棟　各階伏図
	S-012		談話室棟　軸組図
	S-013		ホール棟　基礎伏図
	S-014		ホール棟　各階伏図
	S-015		ホール棟　軸組図　接合詳細図
	S-016		CLT耐力壁　接合詳細図

種 別	No.		図 面 名 称
電 気	E-001		電気設備特記仕様書
	E-002		構内配電・通信線路図
	E-003		電灯分電盤・動力制御盤結線図
	E-004		電灯制御回路図
	E-005		１階幹線・動力配線図
	E-006		２階幹線・動力配線図
	E-007		照明器具姿図表
	E-008		１階電灯配線図
	E-009		２階電灯配線図
	E-010		１階コンセント配線図
	E-011		２階コンセント配線図
	E-012		１階換気配線図
	E-013		２階換気配線図
	E-014		弱電系統図
	E-015		１階電話・ＬＡＮ・テレビ共聴 トイレ呼出配線図
	E-016		２階電話・ＬＡＮ・テレビ共聴 トイレ呼出配線図
	E-017		１階拡声・時計配線図
	E-018		２階拡声・時計配線図
	E-019		１階自動火災報知配線・系統図
	E-020		２階自動火災報知配線図

種 別	No.		図 面 名 称
機 械	M-001		特記仕様書(給排水衛生設備)
	M-002		特記仕様書(空調設備)
	M-003		衛生設備　屋外配管図、桝リスト
	M-004		衛生設備　器具表・機器表、系統図
	M-005		衛生設備　1階平面図
	M-006		衛生設備　2階平面図
	M-007		衛生設備　床暖房温水マット伏図
	M-008		空調配管設備　機器表、系統図
	M-009		空調配管設備　1階平面図
	M-010		空調配管設備　2階平面図
	M-011		空調ﾀﾞｸﾄ設備　機器表、系統図
	M-012		空調ﾀﾞｸﾄ設備　1階平面図
	M-013		空調ﾀﾞｸﾄ設備　2階平面図
	M-014		計装設備　計装図　計装設備
	M-015		計装設備　1階平面図
	M-016		計装設備　2階平面図

仕 様 書

Ⅰ 工事概要

1．工事名称　富山県立大学学生会館新築工事

2．工事場所

地名	富山県射水市黒河地内	敷地面積	109,793.43 ㎡
都市計画区域	⊙内（◎市街化区域 ・市街化調整区域 ・その他） ・外		
用途地域	第一種中高層住居専用地域	防火地域	指定なし

3．建物概要

構造	木 造	階数	2 階建
建築面積	690.72 ㎡	延べ面積	859.88 ㎡
屋根仕上	耐腐カラーGL鋼板 一文字葺、立平葺		
外壁仕上	県産スギ羽目板 木材保護塗料、窯業系サイディング 外壁用弾性塗材		
建築物の用途（建築基準法）	学校		
耐火建築物等の別	・耐火建築物 ・準耐火建築物（・イ ・ロー１ ・ロー２） ⊙その他		
最高高さ	9.595 m	最高軒高さ 7.445 m	居室床高さ 45 cm
基礎形式	浅層地盤改良、杭基礎	地盤の設計長期許容支持力度	50 KN/㎡
垂直積雪量	1.75 m		
耐震安全性の分類（官庁施設の総合耐震・対津波計画基準）	構造体 ⊙Ⅰ類 ・Ⅱ類 ・Ⅲ類 （重要度係数 ・1.5 ⊙1.25 ・1.0）		
	建築非構造部材 ・A類（出入口扉除く） ⊙B類		

4．工事範囲

建築工事・電気設備工事・機械設備工事（学生会館、渡廊下）、建物外構 他

Ⅱ 建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「標仕」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「改修標仕」という。）による。

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（3）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名等を示す。

章	項 目	特 記 事 項
一 一般共通事項1	① 工事実績情報の登録 ② 下請関係の適正化 ③ 個人情報の取扱い ④ 環境への配慮	※ 適用する （「工事カルテ受領書」の写しを提出） 本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。 「富山県土木工事共通仕様書」1-1-48個人情報取扱特記事項による。 (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上げ塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は可塑性（フタル酸ｼﾞ-n-ブチル及びフタル酸ｼﾞ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	⑤ 材料の品質等	(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。 (3) 標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されてことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 無収縮グラウト材、乾燥式保護材、既製調合モルタル、既製調合目地材、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフドレン、吸水調整材、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、可動間仕切、トップライト、錆鉄製ふた
	⑥ 地場産品の優先使用等	※ 地場産品の優先使用 受注者は、工事に使用する資材等について、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地場産品（建設資材又は製品等で、県内で最終製造工程が施されたもの又は県内に本社本店を置く取扱業者から調達したものをいう。）を優先使用するものとする。 ※ 県内企業の優先選定等 受注者は、工事に係る下請契約又は資材等納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は富山県内に本社・本店を置くものの中から選定するよう努めなければならない。 ※ 不採用調書の提出 受注者は、工事の施工に関する下請契約において富山県内に本社・本店を置くもの中から選定しない場合又は工事に使用する資材等について県内地場産品を使用しない場合は、あらかじめ、「下請契約における県内企業及び県内地場産品の不採用調書」を監督員に提出しなければならない。

	⑦ 発生材の処理等	※発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め元請業者自らの責任において適正に処理するものとする。 ・現場説明書による ※運搬、処分委託契約書の写しの提出 ※マニフェスト管理一覧表の提出 ・マニフェスト（A票、B2票、D票、E票）の写しの提出 ・引渡しを要するもの（ ） ・再利用を図るもの（ ） ・特別管理産業廃棄物の種類（ ） ・同上処理方法（ ） ・分別を図るもの（ ） ・再資源化を図るもの（ ）
	8 解体工事等	⊙再資源利用計画書等作成及び提出 ⊙建設リサイクル法対象工事 ・特定建設資材廃棄物の種類： ・再資源化施設の場所：
	9 電気保安技術者	※適用する
	10 監督職員事務所	・設ける（規模： m2程度） ・
	⑪ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ⊙利用できる（※有償 ・無償）
	⑫ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ⊙利用できる（※有償 ・無償）
	⑬ 工事用仮設物	構内設置 ⊙できる ・できない
	⑭ 施工機械	「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-34環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
	⑮ 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間	次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。 (1) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 (2) 工事の全部の施工を一時中止している期間 (3) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等がおこなわれていない期間
	⑯ 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	次のいずれかに該当し、かつ、その期間が書面により明確となっている場合については、専任を要しない。 (1) 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間 (2) 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間 (3) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間 (4) (1)又は(2)に類した理由で、工事が不稼働である期間 (5) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
	⑰ 安全教育・訓練の実施	労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり半日以上の頻度で実施するものとする。 「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-30 工事中の安全確保
	⑱ 調査・試験に対する協力	公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。(富山県土木工事共通仕様書 1-1-1-13)
	⑲ 工事特性・創意工夫社会性等の実施	受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成時までに「富山県請負工事成績評定要領第4第7項に定める様式により提出することができる。
	⑳ 暴力団関係者から不当な介入を受けた場合の措置	受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。
	㉑ 低入札となった場合における技術者の増員等	1 工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めることによる。 (1) 建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合 専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあっては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあっては主任技術者になり得る資格を有する者を１人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と３ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。 (2) 建設業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合 同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。 2 1の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。 3 工事の品質を確保するため、特記仕様書に示される施工に関する試験基準を２倍の頻度をもって実施し、品質管理を行うものとする。 本工事の請負代金額については、富山県が先行発注した下記の工事（以下、「先行工事」という。）の受注者がその工事の工事完成日までに本工事についても受注した場合には、全工事の設計額の合計額より定まる率によって算定した諸経費等から、先行工事にかかる諸経費等を控除した額をもって速やかに再計算し、変更するものとする。 工事番号： 工事名： 工事
	22 近接して工事を発注する場合の取扱いについて	
	㉓ 総合評価方式	※ 受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易な施工計画）の内容を履行すること。 ※ 受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。 ※ 上記２項目を履行できない場合及び受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があった場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。 ・ 本工事は「登録基幹技能者の配置」を活用した試行工事であり、受注者は、下記工種において登録基幹技能者を配置する場合は、あらかじめ施工計画書により、登録者情報や配置予定期間、作業内容等を発注者に報告することとし、配置予定期間及び完成検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、履行が確認できない場合、富山県公共工事総合評価方式試行要領に基づき工事成績の減点をすることがある。 対象工種 対象工種は監督職員の指示による
	㉔ 完成図等	※ 着工時製本 ・原図版 ３ 部 ・縮小版Ａ３版 ５ 部 ※ 完成図製本（黒表紙） ・原図版 ３ 部 ・縮小版Ａ３版 ５ 部 ※ 完成図ＣＡＤデータ ・ＣＤ－Ｒ ２部 ・ 施工図 ・保全に関する資料
	㉕ 工事写真	撮影時 規 格 撮影箇所数 部数 備考 着工前 ・L版程度（3枚/頁） 適正数 1部 デジタルカメラは130万～300万画素 施工中 ・サムネール版 完成時 ※L版程度（3枚/頁） 適正数 1部
	㉖ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	㉗ 電子納品	※電子納品対象工事 以下の示す書類を電子納品する。 ⊙工事写真 ・施工計画書 ⊙完成図(CADデータ) ・参考図(ラスターデーター)
	㉘ 東洋ゴム化工品(株)の製品及び材料	受注者は、東洋ゴム化工品(株)で製造された製品や材料（以下、ゴム製品等とする。別表参照）を用いる場合には、同社が製造するゴム製品等に対して受注者が指定した第三者（東洋ゴム加工品(株)と資本面・人事面で関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督員の確認を得るものとする。 なお受注者は、品質証明にあたって実施すべき試験及び検査、並びに製品に応じて必要な規格について調査した上で監督員と協議すること。 （試験名と計測項目） 試験名 計測項目 通常状態での試験（常態試験） ※硬さ ※比重 ※引張強度 ※伸び ・ 熱老化試験 ※熱老化前後での変化率（硬さ、比重、引張強度、伸び） ・ 圧縮永久ひずみ試験 ※圧縮による残留歪み ・ 製品検査 ※外観 ※寸法 ※性能 ・ 第三者による品質証明書類を提出し監督員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合に受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。 （別表） 製品及び材料名 防振ゴム ディーゼルエンジン用防振ゴム、ゴム製軸継手 産業機械用空気ばね 芝保護材 落橋防止用ゴム 道路資材 車止め（ガードコーン） 視線誘導標・車線分離標 弾性舗装材 ゴムチップ舗装材 建築防水資材
二 一般共通事項2	① 適用基準等	※ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 平成28年版) ※ 国土交通大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領（平成28年版）」及び「工事写真の撮り方 -建築編-」 ※ 富山県電子納品運用ガイドライン（案）［建築工事編］（平成22年４月（平成26年10月一部改定）） ・ 建築物解体工事共通仕様書・同解説 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成24年版） 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・地区の区分に応じた風速（Vo(m/sec)） ※３０ ・３２ ・地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ※Ⅲ ・Ⅳ ※多雪区域の指定
	② 適用区分	
	③ 施工条件	施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等は監督職員と協議する。
	④ 建築材料等	※ 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。 但し、同等以上とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 使用する建築材料等に「富山県グリーン購入調達方針」で定めるものがある場合には、それに適合するものとする。 ・ 本工事で使用する下記の品目については、公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針において優先利用グループに区分されている製品を利用する。 工種 品目 規格 ただし、その製品の入手が困難な場合は、監督職員と協議し、通常製品（新材で製造された製品）へ変更できるものとする。 ・「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」に基づき、パイロット工事として下記の製品を利用する。 工種 品目 規格 製品名
	⑤ 技能士	適用工事種別 技能検定の職種 仮設工事 ⊙とび作業 土・地業工事 ・ウェルポイント工事作業 鉄筋工事 ⊙鉄筋施工（・鉄筋施工図作成作業 ・鉄筋組立て作業） コンクリート工事 ⊙型枠工事作業 ⊙コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 ・とび作業 ・鉄工（・構造物鉄工作業 ・構造物原図作業） ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 ・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ・ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業 防水工事 ・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・ｼｰﾄ防水工事作業 （ ・合成ｺﾞﾑ系 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系） ・塗膜防水工事作業 （ ・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系） ⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・FRP防水工事作業 石工事 ・石材施工（石張り施工） タイル工事 ・タイル張り作業 木工事 ⊙大工工事作業 屋根及びとい工事 ⊙内外装板金作業 ・ﾀﾞｸﾄ板金作業 ・かわらぶき作業 金属工事 ⊙鋼製下地工事作業 左官工事 ⊙左官作業 ・樹脂接着剤注入工事作業 建具工事 ⊙ｱﾙ用ｻｯｼ施工作業 ⊙自動ﾄﾞｱ施工作業 ⊙ｶﾞﾗｽ工事作業 カーテンウォール工事 ・金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業 ・ｶﾞﾗｽ工事作業 塗装工事 ⊙建築塗装作業 内装工事 ⊙床仕上げ工事作業（ ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系 ・ｶｰﾍﾟｯﾄ系 ・木質系） ⊙鋼製下地工事作業 ⊙ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 ・表装作業 ⊙壁装作業 ・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業 ユニット及びその他工事 ⊙ｶｰﾃﾝ工事作業 排水工事 ⊙建築配管作業 舗装工事 ・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業 植栽及び屋上緑化工事 ・造園工事作業 解体工事 ・解体工事施工技士
	⑥ 技術検査	※土木部建築工事監督要領による。
	⑦ 室内空気中の化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中の揮発性有機化合物等の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告書を提出する。 室内濃度測定対象物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン ※パラジクロロベンゼン（学校施設について測定） ・フタル酸ｼﾞ-n-ブチル ・アセトアルデヒド ※測定する箇所数１０箇所、測定対象室は監督職員の指示による 測定方法 ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド その他の揮発性有機化合物 採取 ジニトロフェニルヒドラジン 誘導体固相吸着/溶媒抽出法 固相吸着/溶媒抽出法 分析 高速液体クロマトグラフ（ＨＰＬＣ） ガスクロマトグラフ法 ※採取法はパッシブ型採取機器により行う。
	⑧ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。
	⑨ 設計ＧＬ	※ 図示 ・ 設計ＧＬ

② 仮設工事	① 足場その他	内部足場 種別 ⊙脚立、足場板等 ・枠組棚足場 ⊙簡易型移動式足場 外部足場 種別 ※枠組足場 ・くさび緊結式足場 ・単管本足場 ・（ ） 外部足場の設置に当たっては、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」の別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 防護ｼｰﾄ等による養生 ※設置する ⊙養生ｼｰﾄ ・ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ ・防音ｼｰﾄ ・防音ﾊﾟﾈﾙ ・ なお、出入口等の上部は必要に応じて防護棚を設ける。 ・設置しない 材料、搬去材等の運搬 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種
	2 既存部分の養生（改修工事の場合）	既存部分の養生方法 ※ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ等 既存家具等の養生方法 ※ﾋﾞﾆｰﾙｼｰﾄ等 既存ブラインド、カーテン等の養生方法及び保管場所 ・行う（図示） 固定された備品、机・ロッカー等の移動 ・行う（図示）
	3 仮設間仕切り（改修工事の場合）	仮設間仕切り等の種別 種 別 下 地 仕上げ材（厚さmm） 充填材（mm） 塗 装 ・Ａ種 ※軽量鉄骨 ※せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（※9.5 ・ ） 厚さ（ ） ※無し ※Ｂ種 ・木造 ・合板（※９ ・ ） ・片面 ・Ｃ種 単管 ・防炎シート 仮設扉 ※木製扉 ・合板張り程度 ・行う ※無し ・ （厚さ ） ・片面

③ 土工事

① 埋戻し及び盛土の材料及び土法等

種別　・A種　※B種　・C種　・D種　・建設汚泥から再生した処理土
六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

② 建設発生土の処理

・ 現場内で処理
・ 構内指示の場所に堆積
・ 構内指示の場所に敷き均し
⊙ 場外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。
なお、処理にあたっては「建設発生土情報交換システム」を活用する。
構外指定場所に搬出後　※堆積　・敷き均し
受入場所：
受入時間帯：　時　分～　時　分
仮置き等：
搬出調書を監督職員に提出する

3 山留めの存置

範囲（※図示　・　）

④ 地業工事

① 支持地盤の確認

杭の支持力、支持地盤の位置及び種類、及びこれらの確認のための試験の方法は、構造特記仕様書及び構造図による。

2 既製コンクリート杭地業

施工法　・セメントミルク工法
・特定埋込杭工法
杭の種類　・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（ＰＨＣ杭）
・プレストレト鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭）
・外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭）（鋼管材料　・ＳＫＫ400　・ＳＫＫ490）
以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 杭の寸法、継手の箇所数と工法、杭先端部の形状、杭頭の処理等
2) 打込み工法における杭の設計支持力及び推定支持力の算定方法
3) 打込み工法におけるプレボーリングの掘削深さ及び径
4) セメントミルク工法におけるアースオーガーの掘削深さ及び杭の根入深さ
5) 杭の水平方向の位置ずれの精度

③ 鋼杭地業

施工法
・打込み工法　・特定埋込杭工法
⊙（鋼管杭回転埋設無残土工法）
種類
⊙鋼管ぐい　・Ｈ形鋼ぐい
杭の継手　・アーク溶接　⊙無溶接継手
杭頭の処理　※切断しない

4 場所打ちコンクリート杭地業

堀削工法　・アースドリル工法（安定液　・使用する　・使用しない）
・リバース工法
・オールケーシング工法
（・揺動式　・全周回転式）（孔内水張　・行う　・行わない）
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・拡底杭工法（※安定液使用　・　）
以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 鉄筋の種類及び加工組立
2) コンクリートの種別、設計基準強度(Fc)及び構造体強度補正値(S)の値
3) 支持地盤の位置及び種類
4) 杭の水平方向の位置ずれの精度
5) 孔壁測定の有無及び測定方法

⑤ 砂利地業に使用する砂利

※再生クラッシャラン　・切込砂利及び切込砕石

⑥ 床下防湿層

施工範囲　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
防湿工法　※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・

⑦ 特殊地業

・地盤改良　柱状改良-深層混合処理工法
設計基準強度 600kN/㎡
試験 ※行う（・室内配合試験　・一軸圧縮強度試験）　・行わない
六価クロムの溶出試験　※行う（検体数1個）　・行わない

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類

種類の記号	呼び径 (mm)
⊙ＳＤ２９５Ａ	※Ｄ１６以下
⊙ＳＤ３４５	※Ｄ１９以上
・	

2 溶接金網

種類の記号、網目の形状、寸法及び鉄線の径は、構造特記仕様書及び図示による。

③ 鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接継手　・機械式継手　・重ね継手

④ 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	標仕表5.3.6の値に加える寸法 (mm)
柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※１０

5 機械式継手

適用箇所、性能、種類、工法、品質の確認方法及び不良となった継手の修正方法等は図示による。

⑥ 各部配筋

※構造特記仕様書及び構造図による。　・各部配筋参考図による。

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの種類

コンクリートの使用骨材による種類
※普通コンクリート　・軽量コンクリート

2 コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類

コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類

適用	種　類	適用箇所	特記事項
・	寒中コンクリート		適用期間（　）
・	暑中コンクリート		構造体強度補正値(S)の値　※6N/mm2　・
・	マスコンクリート		セメントの種類（　） 混和材料（　） スランプ（　）
・	無筋コンクリート		スランプ（　）
・	流動化コンクリート		

③ コンクリートの設計基準強度

コンクリートの設計基準強度は、構造特記仕様書及び構造図による。

④ コンクリートの類別

※Ⅰ類　・Ⅱ類

⑤ 気乾単位容積質量

※2.3t/m3程度　・

⑥ 打放し仕上げ

種別　・A種　※B種　・C種

⑦ セメントの種類

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、水和熱が７日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
・高炉セメントＢ種
・シリカセメント
・フライアッシュセメントＢ種
・普通エコセメント

⑧ 骨材の種類

アルカリシリカ反応性による区分
・Ａ
・Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量Rt＝3.0kg/m3 以下）
※監督職員との協議による。

⑨ 混和材料

国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「標仕」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「改修標仕」という。）による。

⑩ 構造体強度補正値

構造体強度補正値(S)　※標仕表(6.3.2)による。
ただし、普通ポルトランドセメントを用いるコンクリートでは、以下の補正値適用期間を使用することができる。

打設日	７月18日～９月２日	３月13日～７月17日 ９月３日～11月17日	11月18日～３月12日
補正値	6N/mm2	3N/mm2	6N/mm2

⑪ 養生期間

※セメントの種類が普通エコセメントの場合は、次による。　・（　）日以上

⑫ 型枠

以下の事項は、図示による。
1) 外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ
2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法
せき板の材料は、次による。
※合板（※12mm　・　mm）　・床型枠用鋼製デッキプレート　・メッシュ型枠
・断熱材兼用型枠（適用個所及び品質等は標仕19章９節断熱・防露による）
・ＭＣＲ工法用シートの使用（打増し厚さ　・20mm　打増し範囲　・図示による）
せき板、支柱の存置期間は、標仕表(6.8.2)、標仕表(6.8.3)による。
なお、セメントの種類が普通エコセメントの場合は、次による。

	存置期間中の平均気温	せき板の存置期間	支柱の存置期間	
		基礎、梁側、柱、壁	スラブ下	梁下
コンクリートの材齢による場合(日)	15℃以上	・（　）以上	・（　）以上	・（　）以上
	5℃以上	・（　）以上	・（　）以上	・（　）以上
	0℃以上	・（　）以上	・（　）以上	・（　）以上
コンクリートの圧縮強度による場合	―	圧縮強度がS6N/m2以上となるまで	圧縮強度が設計基準強度(Fc)の85%以上又は12N/mm 以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで	圧縮強度が設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

⊙監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の45第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び㈱全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準に定める「　グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

② 施工管理技術者

※適用する

③ 鋼材

鋼材の材質、形状及び寸法は、構造特記仕様書及び構造図による。

④ 高力ボルト

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) ボルトの区分及び径
2) すべり係数試験の実施、試験方法等

⑤ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料等は、構造特記仕様書及び構造図による。

⑥ 緑端距離、ボルト間隔、ゲージ等

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの緑端距離、ボルト間隔、ボルト径、ゲージ等

7 溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類　・１種（F8T相当）
摩擦面の処理
※　ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
摩擦面の確認方法
・　図示　・　試験片によるすべり耐力試験

⑧ アンカーボルト

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) ﾎﾞﾙﾄの材質・種類、ねじの公差域ｸﾗｽ、仕上げの程度、緑短距離、ﾎﾞﾙﾄ間隔、ｹﾞｰｼﾞ等
2) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法
3) 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法

9 デッキプレート

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 工法の種別
2) デッキプレートの材質、形状及び寸法
3) 鉄骨部材への溶接方法
4) 耐火認定の有無

⑩ 工作図

増築工事等を含め、既存建築物と取合う箇所がある場合は、現場実測の上作成を行う。

11 鉄骨の仮組

・　行わない　・　行う
仮組を行う範囲及び確認方法等は、図示による。

12 溶接接合

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 開先の形状
2) スカラップの形状
3) エンドタブの切除の有無及び適用箇所

13 溶接条件

入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所　・図　示
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入　熱 (KJ/cm)	パス間温度 (℃)
400 N 級鋼	JIS Z 3211 YGW－11, 15 YGW－18, 19 JIS Z 3214 YGA－50W, 50P	40 以下	350 以下
490 N 級鋼	JIS Z 3211 YGW－11, 15 YGW－18, 19 JIS Z 3214 YGA－50W, 50P	40 以下 30 以下 40 以下	350 以下 250 以下 350 以下
520 N 級鋼	YGW－18, 19	30 以下	250 以下

ただし、
・400N級鋼のSTKR・BCR及びBCPの作業条件は、YGW-11, 15で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下、YGW-18, 19での作業条件は入熱40KJ/cm以下、パス間温度350℃以下とする。
・490N級鋼のSTKR・BCPの作業条件は、YGW-18, 19で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下とする。
上記の溶接条件以外による場合は、監督職員と協議する。

14 溶接部の試験

完全溶込み部の超音波探傷試験　※行う　・行わない
・工場溶接の場合
AOQL　※4.0%　・2.5%
検査水準　※第６水準　・図示
・工事現場溶接の場合
AOQL　※4.0%　・2.5%

⑮ 鉄面錆止め塗料塗り

塗料　屋外　※A種（JISK5674 １種）　・B種
屋内　※A種（JISK5674 １種）　・B種
工程　見掛かり（※A種　・B種）　見隠れ（・A種　※B種）

16 耐火被覆

種　別		適用箇所	所要性能
・ラス張りモルタル塗り			
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸ｶﾙｼｳﾑ板		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
・耐火塗料		渡廊下	

17 軽量形鋼構造

ボルトの接合方法は構造特記仕様書及び構造図による。

18 溶融亜鉛めっき

亜鉛めっきの種別	材　料	適用部位
A種（HDZ55）	最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
B種（HDZ45）	最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
C種（HDZ35）	最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト、ナット類、アンカーボルト類	

外観検査　※行う　・行わない
めっき付着量の検査　※行う　・行わない

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

※空洞ブロック１６　・空洞ブロック１６－Ｗ
各部の配筋は、構造特記仕様書及び構造図による。

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

※標仕表8.3.1及び下表による。

適　用　箇　所	ブロックの種類	厚さ (mm)
・	・	
・	・	

※各部の配筋は、構造特記仕様書及び構造図による。

3 ＡＬＣパネル

種　類	単位荷重（N/m2）	厚さ (mm)	構造の種別
・外壁パネル ※平　・意匠		・100 ・120	・Ａ種　・Ｂ種
・間仕切壁パネル ※平パネル	―	・80　・100 ・	・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種
・屋根パネル		・100	※F種
・床パネル		・100　・150	

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・１　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐火性能　・有り（・０．５時間　・１時間　・２時間）
パネル幅の最小限度 (mm)
※300　・図示による
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅 (mm)
※20　・図示による
伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない
※20　・図示による

4 押出成形セメント板

種　類	表面形状	厚さ (mm)	ﾛｯｸｳｰﾙ充てん	取付工法・種別	備　考
・外壁パネル	※Ｆ ・Ｄ ・Ｔ	・50　・60 ・50　・60 ・60	・有　・無 ・有　・無 ・有　・無	・Ａ種 ・Ｂ種	
・間仕切パネル	※Ｆ ・Ｄ ・Ｔ			・Ｂ種 ・Ｃ種	

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・１　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
目地幅：パネル相互（※長辺8、短辺15　・図示　）
出隅及び入隅のパネル接合目地（※15mm　・図示　）

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水

種類・種別	施　工　箇　所
・ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	
・	

屋根保護防水断熱工法の断熱材　・材質　※JIS A 9521(建築用断熱材)による押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bＡ（スキン層付き）
・JIS A 9511(発砲ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ保温材)によるA種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板3種b（スキンあり）
・（　）
・厚さ (mm)（※25　・　）
屋根露出防水断熱工法の断熱材　・材質　・JIS A 9521による硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号若しくは2号で透過係数を除く規格に適合するもの
・JIS A 9511による A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの
・（　）
・厚さ (mm)（※25　・　）
乾式保護材の材料

種　類	寸法(mm)：厚さ×幅	適　用
・窯業系パネル	・約15×300 ・約26×600 ・	※無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。
・金属複合板	※約12×900	※金属板と樹脂を積層一体化したもの。

乾式保護材の品質・性能、試験方法は、図示による。
防水層の下地のモルタル塗り　・適用する（施工範囲　※防水下地全て　・　）　・適用しない

2 改質アスファルトシート防水

種　別	施工箇所
・ＡＳ－Ｔ３	
・ＡＳ－Ｔ４	
・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ熱工法(複層・絶縁工法) ｱｽﾌｧﾙﾄは低煙・低臭ﾀｲﾌﾟとし、改良型無煙釜を使用する。	
・	

押え金物　※製造所の仕様による　・
屋根露出防水絶縁断熱工法の断熱材　・材質　・JIS A 9521(建築用断熱材)による硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの
・JIS A 9511(発砲ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ保温材)によるA種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの
・（　）
・厚さ (mm)（※25　・　）
仕上塗料の種類、使用量（・　※製造所の指定による）

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

種　別	ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの厚さ (mm)	施工箇所	仕上塗料・モルタル塗り	
			種類	使用量・厚み
・ＳＰＦ１	※1.2		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	
・ＳＰＦ２	※2.0		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	
・ＳＰＭ１	※1.5		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	
・ＳＰＭ２	※1.5		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	
・ＳＰＭ３	※1.2		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	

4 塗膜防水

屋内防水

種　別	施工箇所	保　護　層			
		平場のモルタル塗り			立上り部の保護
		塗り厚さ	床塗り工法	下地モルタル塗り	モルタル塗り厚さ
・Ｓ－Ｃ1	・	・	※標準仕様書 15.2.5(b)(2)及び(3)に準ずる ・	※標準仕様書 15.2.5(c)(1)に準ずる	※7mm以下 ・

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ　・
固定金具の材質及び寸法形状
※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面又は両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの

種　別	施　工　箇　所	備　考
・Ｘ－１		仕上げ塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー　・カラー
・Ｙ－１	※地下外壁防水　・	Ｙ－２工法の保護シート
・Ｙ－２	※屋内防水　・	※適用する　・適用しない

5 脱気装置

※設ける　・設けない

種　類	材　質	設置数量
・平面脱気型	※ 製造所標準仕様(立上がり型) ・ｽﾃﾝﾚｽ製　・ｱﾙﾐ製又はｱﾙﾐ鋳物	※ 製造所指定数量 ・１箇所／約50m2当たり
・立上がり部脱気型	※ 製造所標準仕様 ・	※ 製造所指定数量 ・１箇所／約10m間隔

⑥ シーリング

下表以外は、標仕表9.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験　（施工対象部位　）

⑩ 石工事

① 天然石張り

石の種類・表面仕上げ

施工箇所	品質・種類	形状・寸法	厚さ (mm)	仕上げの種類
便所汚垂	花崗岩・並	800×600	20	ＪＢ

2 テラゾ張り

種石の種類　※大理石
表面仕上げ　※本磨き
テラゾブロックの形状、仕上げ面及び寸法、並びにテラゾタイルの寸法は、図示による。

3 壁の石張り工法

外壁石張り
工法
・外壁湿式工法（※流し筋工法　・　）
・乾式工法　（・スライド方式　・ロッキング方式）
石裏面処理　・行う　・行わない
裏打ち処理　・行う　・行わない
ドレインパイプ　※樹脂ネット製パイプ　（クロスメッシュ巻き）　・ステンレスSUS304
内壁石張り
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法　（・スライド方式　・ロッキング方式）
石裏面処理　・行う　・行わない
裏打ち処理　・行う　・行わない

4 床及び階段の石張り

床石張りの石裏面処理　・行う
階段張りの石裏面処理　・行う

⑪ タイル工事

① タイルの形状、寸法等

形状寸法 (mm)	再生材の適用	吸水性による区分			うわぐすり		役物		色			耐凍害性		耐滑り性
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	あり	なし	標準	特注		あり	なし	
点字タイル	○	○				○		○	○			○		
段鼻タイル		○				○		○	○			○		

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）
タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）

2 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　※ＭＣＲ工法　・目荒し工法（高圧洗浄）
壁タイル張りの工法
外装タイル　・密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
・既製調合モルタル（モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

3 接着剤による陶磁器質タイル張り

外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング
ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング
伸縮調整目地　※変成シリコーン系シーリング
その他の目地　※変成シリコーン系シーリング
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理　・ＭＣＲ工法　・目荒し工法（高圧洗浄）

4 陶磁器質タイル型枠先付け

タイル型枠先付けの種類

種　類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類
・タイルシート法	・小口タイル	※標仕6.8.3(b)(2)
・目地樹法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付け用パネル
・桟木法	・大形タイル	・

⑫ 木工事

① 表面仕上げ

表面仕上げの種別［適用箇所］（・Ａ種［　］　※Ｂ種［※全て・　］　・Ｃ種［　］）

② 製材

・「製材の日本農林規格」による製材　構造図による

	樹種	寸法	等級	形状	含水率
⊙下地用針葉樹製材	ベイツガ		※２級　・		※A種　・B種
⊙造作用針葉樹製材	県産スギ				※A種　・B種
・広葉樹製材			※１等　・		※10%以下

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率
						※A種　・B種

・代用樹種を適用しない箇所（　）

3 造作用集成材

造作用集成材、化粧ばり造作用集成材、化粧ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の等級	含水率
	県産スギ		※１等　・	※A種　・B種

4 造作用単板積層材

施工箇所	厚さ	寸法	表面の品質	防虫処理
			・化粧加工（・天然木・塗装）	・する　・しない

⑤ 床張り用合板等

表面の樹種名	接着の程度	防虫処理		
	※１類　・２類	・する　・しない		

⑥ 接着剤

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・

⑦ 防腐・防蟻

⊙防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材　適用部位（　　）
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理　適用部位（　　）保存処理性能区分（・K2　・K3　・K4）
⊙薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理　適用部位（　　）
・ボード原料接着材への薬剤混入による防腐、防蟻処理　適用部位（　　）

⑬ 屋根及びひさし工事

① 長尺金属板葺

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
・心木なし瓦棒葺　⊙立平葺	※塗装ステンレス鋼板　・	※0.4
・鎧掛葺　⊙横葺　・	⊙塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯	・

下葺材料（　・　アスファルトルーフィング940　⊙　改質アスファルトルーフィング下葺材　）
建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3　）倍の風圧力に対応した工法

2 折板葺

形　式	・重ね形　※はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　　）　山ピッチ（　　）　板厚※0.6　・0.8
材　料（規格等）	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	※有り（種別：　　厚さ：　　mm）　・無し
耐火性能	※30分耐火　・無し

建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3　）倍の風圧力に対応した工法

3 粘土瓦葺

形状による区分	寸法による区分	製法による区分	備　考
※J形	※53A	・ゆう薬がわら	色調（　　）
・S形	・49A　・49B	・いぶしがわら	
・F形	・40	・無ゆうがわら	役物瓦（図示）

建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3　）倍の風圧力に対応した工法

④ とい

・配管用鋼管　※硬質着色塩化ビニル管　⊙VP　・RF-VP　）

⑭ 金属工事

1 あと施工アンカー

引抜き耐力試験　※適用する　・適用しない

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

種　別	色　合　い	施　工　箇　所
・A－1種	無着色	
・A－2種	・ブラウン系	
・B－1種	・ブラック	
⊙B－2種	・ステンカラー	
・		

③ 鉄鋼の亜鉛めっき

表面処理方法	種　別	施　工　箇　所
溶融亜鉛めっき	⊙A種	外部手摺
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

④ 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法　※下表以外は、標仕14.4.3及び標仕表14.4.2による

施　工　箇　所	下地材の間隔（mm） 野縁受、吊りボルト、インサート 中央部	周辺部	野　縁

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
天井下地材における耐震性・耐風圧を考慮した補強　・行う（補強箇所　※図示）
天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強　※標仕14.4.4(h)(1)及び(2)による　・図示
天井のふところが３ｍを超える場合の補強　※図示
内部軽量鉄骨下地受　C-100×50×20×2.3 @900

5 金属成形板張り（天井）

※アルミニウム製　・

形　状	製　法	板幅（mm）	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理	被膜等の種類
・スパンドレル形	・押出し ・ロール				・B-1種	※B
					・B-2種（・アンバー ・ブロンズ　・ブラック系 ・ステンカラー）	※B
・パネル形	※プレス ・					
					・C-1種	※AA6
					・C-2種（・アンバー ・ブロンズ　・ブラック系 ・ステンカラー）	※AA6
					・D種	

6 軽量鉄骨壁下地

取付用下地　※標準仕様書による　・設ける（施工箇所は図示）
伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）
種類　・50型　・65型　・90型　・100型
スタットの高さが３ｍを超える場合　※図示

⑦ アルミニウム製笠木

オーブン形式アルミニウム製笠木の種類

種　類	呼称肉厚（mm）	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・100形	1.5以上	種別（　B-2　）種	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の(・1　・1.15　・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・250形	1.6以上	被膜等の種類 （※標仕表14.2.1による ・　　）	
・300形	1.8以上		
・350形	2.0以上		
⊙水切		着色・アンバー ・ブロンズ　・ブラック系 ・ステンカラー	

隅角部及び突当り部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

⑧ 手すり及びタラップ

種　類	材料の種別	表　面　処　理
手すり	※ステンレスSUS304	※ＨＬ程度　・鏡面程度
	⊙鋼製	⊙亜鉛メッキ
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し　・
	・鋼製	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種

⑮ 左官工事

① モルタル塗り材料

既製目地材の適用　※図示

2 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.5及び標仕15.3.2による

施　工　箇　所	平たんさ（mm）	備　考
フリーアクセスフロア（支柱調整式）範囲	1mにつき10以下	

3 セルフレベリング材　・せっこう系　・セメント系

4 ロックウール付け

厚さ　mm

5 仕上塗材仕上げ

種　類	呼　び　名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ ・可とう形外装薄塗材Ｓｉ ・外装薄塗材Ｅ ⊙可とう形外装薄塗材Ｅ ・防水形外装薄塗材Ｅ ・外装薄塗材Ｓ ・内装薄塗材Ｃ ・内装薄塗材Ｌ ・内装薄塗材Ｓｉ ・内装薄塗材Ｅ ⊙内装薄塗材W	・砂壁状　・さざ波状 ・ゆず肌状（・吹付け　・ローラー塗り） ・平坦状 ・凸凹状（・吹付け　・こて塗り） ・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り） ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく ・ ・ 吸放湿性　・適用する　・適用しない
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ ・外装厚塗材Ｓｉ ・外装厚塗材Ｅ ・内装厚塗材Ｃ ・内装厚塗材Ｌ ・内装厚塗材Ｇ ・内装厚塗材Ｓｉ ・内装厚塗材Ｅ	・吹放し　・凸部処理　・平坦状 ・凸凹状　・ひき起こし　・かき落とし ・ 吸放湿性　・適用する　・適用しない 上塗材　・適用する　・適用しない
・複層仕上塗材	・可とう形複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓｉ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材Ｅ（透湿型） ・防水形複層塗材ＲＥ ・ ・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状 ・ 耐候性　・１種　・２種　※３種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系　・ポリウレタン系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック 防水形複層塗材Ｅ（透湿型）を使用する場合の所要量 ※メーカー推奨塗布量による
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	砂壁状 平たん状

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

⑯ 建具工事

1 見本の製作等

・建具見本の製作　（建具番号：　　）
・特殊な建具の仮組（建具番号：　　）
※防火戸の指定及び防犯建物部品の適用は、建具表による。

② アルミニウム製建具

外部に面する建具の性能値等
種別　・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種
枠見込み（mm）　※建具表による　（・　mm）
防音ドアセット、断熱ドアセット、耐震ドアセットの適用及び等級は、建具表による。
結露水の処理方法、水切り板、ぜん板等　※図示
表面処理

施工箇所	種　別	色　合　い　等
外部建具	※ B-1種	無着色
	⊙B-2種	※標準色（・アンバー　・ブロンズ　⊙ブラック　・ステンカラー）
	・	・
内部建具	※ C-1種	無着色
	・ C-2種	※標準色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック　・ステンカラー）
	・	・

③ 網戸

防虫網
網の種別　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）

④ 合成樹脂製建具

外部に面する建具の性能値等
種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
枠見込み（mm）　※建具表による　（・　mm）
防音ドアセット、断熱ドアセット、耐震ドアセットの適用及び等級は、建具表による。
結露水の処理方法、水切り板、ぜん板等　※図示
表面色　※ 標準色　・ 特注色（　　）

5 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６）
鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効開口幅950mm、又は 有効高さ2,400mmを越える場合）
鋼板

材　料	メッキ付着量	厚　さ
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）	※Z12又はF12	・
・JIS G 3317（溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板	※Y08	・

※　下表以外は標仕表16.4.2による

区　分		使　用　箇　所	厚さ（mm）
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

6 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による
鋼板　※ 亜鉛めっき鋼板　・ ビニル被膜鋼板　・ カラー鋼板
鋼板の厚さ　・標仕表16.5.1による。
召合せ、縦小口色み板の材質　※鋼板　・ ステンレス鋼板　・ アルミニウム合金

7 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６）
表面仕上げ　※ HL仕上げ　・ 鏡面仕上げ
曲げ加工　※ 普通曲げ　・ 角出し曲げ（補強あり）

⑧ 木製建具

フラッシュ戸の表面材の種類　※天然木化粧合板　⊙建具表による
かまち戸の樹種　かまち（　県産スギ　）　鏡板（　県産スギ　）
ふすまの上張り（押入等の裏側以外）　※新鳥の子又はビニル紙程度　・ 鳥の子
縁仕上　・塗縁　・生地縁　・素地　・ウレタンクリア塗装　）
枠の材料　※ 木製　・ 鋼製
靴ずりの材料　・ 木製　⊙ ステンレス製
防虫処理　・行う

⑨ 建具用金物

建具用金物は、下記以外については、建具表による。
マスターキー　※製作する　・製作しない
その他の鍵　※各室3本1組　・
鍵箱　※有り　・無し

⑩ 自動ドア開閉装置

自動ドアの開閉機構
※スライディングドア　・スイングドア
自動ドアの開閉方式、質量、センサーの種類については、建具表による。
凍結防止措置　※行わない　・行う（　　）

11 重量シャッター

外部に面するシャッターの耐風圧強度　耐風圧性能（　　）N/m2
開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式
防火シャッター、及び防煙シャッターには、危害防止機構を設ける。
シャッターケース　※設ける　・設けない
スラット及びシャッターケースのめっき付着量　※Z12又はF12　・

12 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）
外部に面するシャッターの耐風圧強度　耐風圧性能（　　）N/m2
スラット　厚さ（mm）　・0.5　※0.8　・1.0
形状　・ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形

13 オーバーヘッドドア

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 （SUS304）

耐風圧性能（　　）N/m2

⑭ ガラス

ガラスの種類、品質、厚さ等は、建具表による
ガラス留め材

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による
板ガラスをはめ込む溝の大きさ
※標仕表16.14.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。
熱線反射ガラスの映像調整　※行わない　・行う（建具表による）

15 ガラスブロック積み

ガラスブロック

寸法（mm） 呼び寸法	厚さ	色　調	目地幅（mm） 平積み	曲面積み	防火性能等
・	・	※クリア ・	※8～15 ・15～25	外側（　　） 内側（　　）	※無し ・

伸縮調整目地（mm）　※6m以下ごとに10～25　・図示
壁用金属補強材　・設ける（形状及び材質等　※図示）　・設けない
化粧目地モルタルの色　※モルタル色
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑯ ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
・日射遮へい・ガラス飛散防止フィルム	第１種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
⊙ガラス飛散防止フィルム	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・日射遮へいフィルム	第３種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1

品質　JIS A5759による

17 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

耐震性、水密性、気密性、耐火性、耐温度差性、遮音性、断熱性等は図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
層間変位追従性

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	変位後の状態
S造	・±(1/200)×h以上 ・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。
RC及びSRC造	・±(1/300)×h以上	シーリングは補修程度の損傷であること。

2 メタルカーテンウォール

カーテンウォール材料の種類

種　類	規　格　等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
⊙方立方式
・バックマリオン方式　（・単純２辺支持構法　・ＳＳＧ構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式　（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料
下表以外は標仕表9.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

構造ガスケット　※適用しない
・適用する（施工箇所：　　）
断熱材　※適用しない
・適用する（種類、厚さ、施工箇所は、図示による）
製品の寸法許容差　※標仕表17.2.1による
・製造所標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理

種　別	色合い等
・Ａ－１種　・Ｂ－１種	無着色
・Ａ－２種　⊙Ｂ－２種	※ブラウン系　⊙ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜　塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク	

3 ＰＣカーテンウォール

コンクリートの種類及び品質
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Ｆｃ）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A（・D13　・D10）　・
補強鉄線の径（mm）　※3.2　・
配筋　※図示　・
取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質
下表以外はカーテンウォール製作所の仕様による

金物種類及び部位	内　部	外　部
ＰＣ版打込み金物	※E種	※Ａ種　・
ＰＣ版打込み取付けボルト	※E種	※ステンレスボルト
２次ファスナー	※E種	※Ａ種　・
取付けボルト	※E種	※Ａ種　・
レベル調整ボルト	※E種	※Ａ種　・
	・	・

シーリング材料
下表以外は標仕表9.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
カーテンウォール板間目地	

耐火目地材　※適用しない
・適用する（種類、施工箇所は図示による。）
断熱材　※適用しない
・適用する（種類、厚さ、施工箇所は図示による。）
製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による　・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ　（　　）

⑱ 塗装工事

① 材料

防火材料　※屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
・次の箇所を除き、防火材料とする。（箇所：　　）

下　地　面　等		種　別
木部	木透明塗料塗りの場合	・Ａ種　※Ｂ種
	透明塗りの場合	・Ａ種　※Ｂ種
鉄鋼面		・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種
亜鉛めっき面		・Ａ種　・Ｂ種
モルタル面、プラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面、ALCパネル面、押出成形セメント板面		・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボード面及び	目地：継ぎ目処理工法	※Ａ種　・Ｂ種
その他ボード面	目地：継ぎ目処理工法以外	・Ａ種　※Ｂ種

② 素地ごしらえ

③ 錆止め塗料塗り

錆止め塗料の種類　※JIS K 5674　・

下　地　面		工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	※Ａ種　・Ｂ種	
	見え隠れ部分	・Ａ種　※Ｂ種	
亜鉛めっき面	鋼製建具	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　・Ｂ種
	鋼製建具以外	・Ａ種　※Ｂ種	・Ｃ種

④ 塗装

塗装の種類		種　別	塗料の種類
・合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）	本部屋外	※Ａ種　・Ｂ種	※1種　・2種
	本部屋内	・Ａ種　※Ｂ種	※1種　・2種
	鉄鋼面	・Ａ種　※Ｂ種	※1種　・2種
	亜鉛めっき鋼面	―	※1種　・2種
・クリヤラッカー塗り（CL）		・Ａ種　※Ｂ種	―
・アクリル樹脂非水分散型塗料塗り（NAD）		・Ａ種　※Ｂ種	―
・耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面	―	上塗り等級（　）級
	亜鉛めっき鋼面	―	上塗り等級（　）級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・Ａ種　・Ｂ種 ・Ｃ種	上塗り等級（　）級
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）	コンクリート面、せっこうボード面等	・Ａ種　※Ｂ種	―
	屋内の鉄鋼面	・Ａ種　※Ｂ種	―
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		・Ａ種　※Ｂ種	―
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP-T）		・Ａ種　※Ｂ種	―
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※Ａ種　・Ｂ種	―
・ラッカーエナメル塗り（LE）		・Ａ種　※Ｂ種	―
・オイルステン塗り（OS）		―	―
⊙木部保護塗料塗り（WP）（屋外）		・Ａ種　※Ｂ種	―
⊙木部保護塗料塗り（WP）（屋内）		・Ａ種　※Ｂ種	―

⑲ 内装工事

① ビニル床シート張り

種　類	JISの記号	厚さ（mm）	色　柄	備　考
※発泡層のないもの	※ＦＳ	※2.0	※無地　・マーブル柄	
・発泡層のあるもの	・	・	※柄物　・無地	

特殊機能（・ 帯電防止　・ 耐動荷重性　・ 防滑性　・ 耐薬品性 ）
工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　）

2 ビニル床タイル張り

種　類	JISの記号	厚さ（mm）	寸 法（mm）	備　考
・複層ビニル床タイル 〔接着形〕	ＦＴ	※ 2.0 ・	・300×300 ・450×450 ・500×500 ・	
・コンポジションビニル床タイル 〔接着形〕	ＫＴ			
・置敷きビニル床タイル 〔置敷形〕	ＦＯＡ			

特殊機能（・ 帯電防止　・ 耐動荷重性　・ 防滑性　・ 耐薬品性 ）

3 帯電防止床材張り

・帯電防止性能評価値（JIS A1455）1.2以上～3.2未満、
または、体積電気抵抗値（JIS A1454）1.0X10^7～10^10Ω程度

④ ビニル幅木

高さ（mm）　※60　・75　・100

⑤ カーペット敷き

防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、登録されているものとする。
・織じゅうたん

種　別	織り方	パイル形状	帯電性	色　柄
・Ａ種	・ウィルトンカーペット	・カットパイル	人体帯電圧 ※３kv以下 ・	※単一色（無地）
・Ｂ種	・ダブルフェースカーペット	・ループパイル		・柄物（標準品）
・Ｃ種	・アキスミンスターカーペット	・カット、ループ併用		・

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	帯電性
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	人体帯電圧 ※３kv以下 ・
・マルチレベルループ	※4～6　・		
・レベルループパイル	※4		
・カット、ループ併用	・		

⊙タイルカーペット

種　別	パイル形状	敷き方 平場	階段部分	施工箇所
※第一種	※ループパイル			
・第二種	・カットパイル			

見切金物及び押さえ金物の材質、種類及び形状は、図示による。

6 合成樹脂塗り床

種　別	仕上げの種類等
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床	※薄膜流し展べ仕上げ（・平滑　・防滑） ・厚膜流し展べ仕上げ（・平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（・平滑　・防滑）
・薄膜型塗床材	
・アクリル樹脂塗床 （JIS K5970）	塗布量（kg/m²）（　　） 表面仕上げ（・平滑　・防滑　） 溶剤（・水性色　・溶剤系　・無溶剤系　） 仕上色（・標準色　・　　）

⑦ フローリング張り

単層フローリング

品　名	工　法	厚さ	大きさ	樹　種	仕上塗装等
・フローリングボード １等	・釘どめ工法 （根太張り） ・釘どめ工法 （直張り） ・接着工法	・15 ・ ・12以上 ・	板幅75 板長500以上	※なら ・ひのき	・塗装品 ・無塗装品
・フローリングブロック １等	・接着工法	・15 ・	303×303		
・モザイクパーケット1等	・接着工法	・	・	・	

天然木化粧複合フローリング

品　名	工　法	種別	厚さ/大きさ（mm）	樹　種	仕上塗装等
・複合１種フローリング ・複合２種フローリング ・複合３種フローリング	・釘どめ工法 （根太張り） ⊙釘どめ工法 （直張り）	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	12	※なら ⊙ 県産スギ	⊙塗装品 ・無塗装品 ・防湿処理有 ・防湿処理無
	・接着工法		板厚　・8以上 板幅　・75以上 板長さ・900以上		

8 畳敷き

畳の種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種（畳床の記号　・　　）

⑨ ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ（mm）　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ（mm）　※80　・95
根太間　厚さ（mm）　⊙45　⊙30

⑩ せっこうボードその他のボード張り

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15　・20　⊙25
・普通木毛セメント板	NW	・15　・20　・25
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	MDF	・
・パーティクルボード		・
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ２（無石綿） ・
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ（※9　・12　・　　） ・凹凸タイプ（※12　・15　・　　）
⊙せっこうボード	GB-R	・9.5　・12.5(不燃)　・15.0(不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	・9.5(不燃)　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	GB-S	・9.5　・12.5（（個）不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	※12.5（不燃）・15.0（不燃）
⊙化粧せっこうボード	GB-D	・9.5　・12.5（不燃）　幅440mm程度、専用下地付 模様　※トラバーチン　・木柾目　・木板目
・メラミン樹脂化粧板		JIS K6903による　厚さ1.2
・難燃合板		
・		
・		

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材　※適用する　・適用しない
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類　⊙継目処理工法　・突付け工法　・目透し工法
エッジの種類　・テーパーエッジ　・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

⑪ 吸音板張り

種　類	記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード１号	RW-B	※25
※グラスウール吸音ボード２号32K	GW-B	※25　・30

12 壁紙張り

施工箇所	壁紙の種類						防火性能の級別	備　考
	紙製	繊維織物	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（ﾋﾞﾆｰﾙ）	無機質製	その他			
							※不燃　・準不燃　・難燃	
							※不燃　・準不燃　・難燃	
							※不燃　・準不燃　・難燃	

⑬ 断熱材

断熱材は、JIS A 9521、JIS A 9511、JIS A 9526によるものとする。
厚み・施工箇所は図示による

種　類	発泡材の種類	種　類	厚さ(mm)	施行箇所
⊙ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材	・	⊙3号	⊙45	⊙階床下(根太間)
⊙押出法ポリスチレンフォーム保温材（ｽｷﾝなし）	・ ・ ・ ・	⊙3種b ⊙3種b ⊙3種b ⊙3種b	⊙75 ⊙30 ⊙30 ⊙30	⊙屋根(垂木間) ⊙ﾎｰﾙ床下(根太間) ⊙風除室 ⊙ﾎｰﾙ土間下
⊙硬質ポリウレタンフォーム保温材	・	⊙2種2号	⊙15	⊙外壁(ALT壁)
・フェノールフォーム保温材（3種2号除く）	・	・	・	・
⊙グラスウール24K	・	・	⊙100	⊙外壁(間柱間)

⑳ ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロア

施工箇所	構　法	仕上寸法(mm)	仕上り高(mm)	許容水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
	・置数式 ・支柱 調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・置数式 ・支柱 調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット

寸法精度　※標仕20.2.2(b)(5)(i)～(iii)による　・
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様（ただし、構成材は共仕による）　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様　（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数　※10～15m に１箇所程度
配線取出しパネル　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※20～30%
※配線取り出し開口：　40mm×80mm 程度の開口　・
空調用吹き出しパネル　※無し　・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

2 可動間仕切

構造形式、構成基材、パネル表面仕上げ、パネル内建具形状については、建具表による。
遮音性能（db/500Hz）
・0　・12　・20　・28　・36
ホルムアルデヒド放散量
・F☆☆☆☆　・

3 移動間仕切

構造形式、操作方法、パネル表面材及び仕上げ、厚さについては、建具表による。
遮音性能（db/500Hz）
・36未満　・36以上
ハンガーレールの取付け下地補強
※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。

④ トイレブース

パネル表面材、金物（脚部、ドアエッジ、笠木形状）については、建具表による。
ホルムアルデヒド放散量
・F☆☆☆☆　・

5 階段滑止め

材　種　ステンレスSUS304
形　状　ピニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り（※ビニル製　・ステンレス製）　・無し
幅（mm）　約35
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

⑥ 階段手すり

種　別	施工箇所
※ウレタン樹脂ワニス塗り	
・ステンレスパイプ（ＨＬ仕上げ）	
・鋼製パイプ（　・　ＥＰ－Ｇ　・　ＳＯＰ）	
・ビニル製ハンドルレール	

⑦ 黒板及びホワイトボード

種　類		寸法（mm）	備　考
・黒板	※焼付け ・		※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
⊙ホワイトボード	※ほうろう		※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分

⑧ 表示

・衝突防止表示　※図示による　・SUS製　径30mm
・法令に基づく表示（非常用進入口等）　※消防法に適合する市販品による
・室名札、ピクトグラフ、案内板等　※図示による

9 煙突ライニング

適用安全使用温度　※400℃　・650℃

10 ブラインド

形　式	操作方法/種類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギア式　・コード式 ・操作棒式 ・電動	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・１本操作コード ※２本操作コード ・電動	・アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100

⑪ ブラインドボックス及びカーテンボックス

※市販品（アルミニウム製　押出し型材）　⊙図示

使用区分	溝幅×深さ（mm）
・横形ブラインド	※　120×150　・90×150　・
・縦形ブラインド	※　120×80　・150×80　・
・カーテン（又はレース共）	※　150×80　・180×80　・
・カーテン＋横形ブラインド	※　180×150

色彩　・Ｂ－１　・Ｂ－２（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

⑫ ロールスクリーン

操作方法	スクリーンの種類	品質等
・ブルコード式（ストッパー付）	・無地	
・ワンタッチチェーン式	・柄物	
・チェーン式	・遮光タイプ	
・電動式	・	
⊙図示	・	

13 カーテン及びカーテンレール

以下の事項は、図示による。
・施工箇所、形式、開閉操作方式
・きれ地の種別、品質、特殊加工等
・ひだの種類

⑭ ピクチャーレール

レール　材　質　⊙アルミニウム製（シルバー）
形　式　先付け天井埋込型（見切縁兼用）
ランナー　材　質　本体：真鍮性　フック：ステンレス製（可動式）
耐荷重　25kg程度/個
個　数　2個/レール1m

⑮ 天井点検口

目地形状	適用箇所	寸法（mm）
額縁タイプ	下記以外全て	⊙　450×450
目地タイプ	※図示 ・天井仕上げ材がＤＲの範囲	・　600×600 ・

⑯ 床点検口

材　質	形　式	寸法（mm）	備　考
⊙ アルミ製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 一般型 ※ 密閉型 ・ 結露防止型	※屋内外用 ・屋内用	※　600×600 ・　450×450 ・	※　鍵付き

17 収納家具、書架・物品棚

	主要構造部材の材料	備 考（品 質）
・収納家具	・ 鋼製 ・ 木製	JIS S1033（ｵﾌｨｽ用収納家具）による
・書架 ・物品棚	・ 鋼製 ・	JIS S 1039（書架物品棚）による種類 書架　（・ 1種　・ 2種　・ 3種） 物品棚（・ 5種　・ 6種　・ 7種）
・移動式 書架・物品棚	・ 図示 ・	

※形状、寸法は図示による

18 くつふきマット

材質（受枠共）、形状、寸法は図示による

19 流し台ユニット

種　類	寸法（Ｌ＝　mm）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き 天板ステンレス製	※優良住宅部品 （ｾｸｼｮﾅﾙｷｯﾁﾝ１型） ・
・コンロ台	※600　・700	ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ　※有り 天板ステンレス製	※市販品
・つり戸棚	※1200　・900　・600		
・水切り棚	※1200　・900	ｽﾃﾝﾚｽ製　※１段式	

その他寸法（Ｄ及びＨ）は、図示による

⑳ 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り

㉑ 洗面カウンター

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石（仕様は図示）
⊙県産スギ
奥行き（mm）　・約450　⊙約600

22 防煙垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備　考
※網入り磨板ガラス ・縁入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ（mm）	備　考
・垂直降下式 （巻取り型）	不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

23 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目　地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	・シーリング材（見え掛かりのみ） ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※20×10	※20×10

24 止水板

形　状　・差込式　・据置式　・壁張り式
施行箇所　※図示

25 敷地境界石標

※コンクリートブロック製の市販品程度　・かこう岩（文字記号等入り）

26 旗竿

材　質　※アルミニウム合金製
形　式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ（m）　・6　・8　・10　・12　・
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
受金物　材　種　ステンレス製SUS304

27 フェンス

・耐雪型　・一般型
・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・樹脂塗装メッシュフェンス　・鋼管フェンス
・アルミフェンス

28 屋外掲示板

照明器具（　※有り　・無し　）　施錠（　※有り　・無し　）

29 車止め支柱

・ステンレス製（上下式鎖内蔵型、反射テープ付き、φ114.3mm、 t2.5mm、 H=GL＋700mm）
※スプリング付　・スプリング無し
・図示

㉚ EXP.J金物

材　質	クリアランス	耐火性能	備　考
⊙ アルミニウム製 ・ ステンレス製	・50　⊙100 ・150	・有り（　　） ⊙無し	

31 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	JISによる種類	備　考
・ 鋼製書架 ・ 鋼製物品棚	JIS S1039の規格による ・	・１種　・２種　・３種 ・４種　・５種　・６種	

※形状、寸法は図示による

32 プレキャストコンクリート

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量最小値300kg/m3を満足する調合強度
・図示
配筋及び取付方法
※図示

33 間知石及びｺﾝｸﾘｰﾄ間知ブロック積み

材種　※花こう岩　・凝灰岩
質量区分　・Ａ　・Ｂ
積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　※図示　・伸縮目地（材種：　厚さ：　）

34 鏡

取付箇所、寸法及び取付方法
※図示
厚さ(mm)

35 誘導用、注意喚起用床材

視覚障害者用タイル

適用箇所	種　類	寸法（mm）	厚　さ	色　彩
屋　内	・塩化ビニル系	※300×300	・7	※黄色
	・磁器又はせっ器タイル	・	・	・
	・ＳＵＳ点字鋲	⊙300×300	・	・
屋　外	・コンクリート系			※黄色
	・レジンコンクリート系	※300×300		・
	⊙磁器又はせっ器タイル	・		

形状
※ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝはJIS T9251による

㉑ 排水工事

① 排水管

排水管用材料

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※１種　・２種）	B形（ゴム接合）
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	※ＶＰ　⊙ＶＵ　・RS-VU	接着接合

基床の厚さと及び種類　※図示　・
地業に用いる材料　※標仕(21.2.1)(g)(1)及び(2)　・　図示

② 側塊、排水桝等

形状及び寸法　※図示　・
地業に用いる材料　※標仕(21.2.1)(g)(1)及び(2)　・　図示

③ ふた

鋳鉄製ふた

種　類	適用荷重	鍵	備　考
・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパー・パッキン式） ・中ふた付密閉形	・Ｔ－　２用 ・Ｔ－　６用 ・Ｔ－２０用	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

グレーチングふた

材　質	形　式	種　類	適用荷重	ﾒﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
・鋼製 ⊙ステンレス製	※受枠付き ・ ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用 ・桝ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	⊙歩行用 ・Ｔ－　２用 ・Ｔ－　６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	※細目 ※普通目	・ ・	※平形 ※凹凸形

④ 街きょ、縁石、側溝

⊙縁石　・Ｌ型側溝　・Ｕ形側溝　・Ｕ形側溝ふた
形状及び寸法　※図示　・
地業の材料　※標仕(4.6.2)(a)による　・図示
砂利地業の厚さ　※100(mm)　・図示

⑤ 材料

コンクリート基礎等に用いる材料　※標仕(6.14)、設計基準強度18N/mm2とする。
ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）
セメント１：砂２：砂利４程度とする。
・図示
埋戻し土　※Ｂ種　・図示

22 舗装工事

1 路床

路床の材料

種別	形　式	厚さ(mm)
・盛土	・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土	※図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン　・クラッシャラン　・切込砂利 ・	※図示 ・
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下) ・	※図示 ・

路床安定処理の適用　※なし　・あり（※添加材による安定処理　・　　）
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・高炉セメントB種　・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
・固化材（・セメント系　・石灰系　）
添加量　kg/m3　（目標CBR　※3以上　・　　）
・ジオテキスタイルによる安定処理　・行う　・行わない
ジオテキスタイルの品質
単位面積質量　・60g/m2以上　・
厚さ（mm）　・0.5～1.0　・
引張り強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水計数　・1.5x10^-1　cm/sec以上　・

2 路床試験

・路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱さない土）　・行わない
・路床締固め度の試験　※行う　・行わない
・砂の粒度試験　※行う　・行わない
・現場ＣＢＲ試験　・行う　・行わない
・安定処理土のＣＢＲ試験　・行う　・行わない
・六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

3 路盤

材料　・砕石　（・クラッシャラン　・粒度調整砕石）
・再生材（・クラッシャラン　・粒度調整砕石）
・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
厚さ　※図示による
路盤の締め固め度試験　※行う　・行わない

4 アスファルト舗装

・アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による）
材料　アスファルト　※再生アスファルト　・ストレートアスファルト
骨材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材
配合（加熱アスファルト混合物の種類）

区分	地　域	種　類
表層	※一般地域	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）
	・寒冷地域	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	※一般地域　・寒冷地域	・粗粒度アスファルト混合物（20）

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　　）
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

5 コンクリート舗装

舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料　コンクリート　※標仕表22.5.2による　・
早強セメント　※使用しない　・使用する
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
コンクリート版厚さの試験　※行わない　・行う

6 カラー舗装

・カラー舗装（表層及び基層の厚さは図示による）

舗装の種類		部　位	車道部の基層
※加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道部 ・歩道部	※無し　・有り
・常温系	・		※無し　・有り

常温系カラー舗装の着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装
材料　加熱系混合物に添加する材料　・着色骨材（　　）　・自然石（　　）
配合　結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量　・
樹脂系混合物、ニート工法及び塗布工法の配合等　・

7 透水性及び排水性アスファルト舗装

・透水性アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による）
・排水性アスファルト舗装（表層及び基層の厚さは図示による）

区分	種　類	材　料
表層	・排水性舗装用アスファルト混合物	・ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型 ・
基層	・加熱アスファルト混合物等（密粒アスファルト混合物）	・再生アスファルト ・ストレートアスファルト

舗装の平坦性　※著しい不陸がないもの
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

8 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材	表面加工
※普通平板（N） ・透水平板（P）	※300角 ・	※60	※砂 ・モルタル	・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し
敷砂層　・砂　・空練りモルタル		・30		

仕上り面の平坦性　※歩行に支障となる段差がないものとし、ｺﾝｸﾘｰﾄ平板間の段差は3mm以内

・インターロッキングブロック舗装

種　類	曲げ強度	厚さ（mm）	横断面勾配	表面加工及び色彩等
※普通タイプ ・誘導、注意喚起用タイプ	5MPa以上	車道部　※80 歩道部　※60	２％ 1.5～２％	※標準タイプ ・表面化粧タイプ
・透水性タイプ	3MPa以上			誘導、注意喚起用は
・植生タイプ	4MPa以上	※100　・80		黄色とする

目地材　※砂

区　分	部位	厚さmm	種　類
敷砂層	・車路、駐車場	20	砂
	・歩行者用通路	30	
フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂 （75μmふるい通過量6%以下）

・ジオテキスタイルの敷設位置
※図示　・敷砂層と路盤の間　・フィルター層と路床の間
・ジオテキスタイルの敷設位置
ジオテキスタイルの品質
単位面積質量　・60g/m2以上　・
厚さ（mm）　・0.5～1.0　・
引張り強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水計数　・1.5x10^-1　cm/sec以上　・
舗装の割付　・ヘリンボンボンド　（・45°　・90°）
仕上り面の平坦性　※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内

・舗石舗装

種　類	厚さ（mm）	施工方法	基　層
※小舗石（花こう岩） ・	※80～100　・ ・	※うろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装

区　分	種類	厚さmm	備考
敷砂層	※砂　・空練りモルタル	30	
基層	・コンクリート版	70	
	・再生粗粒度アスファルト混合物（20）	50	

コンクリート版は、コンクリート舗装による。
加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による。
仕上り面の平坦性　※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内

9 砂利敷き

・Ａ種　・Ｂ種

10 区画線

路面表示用塗料

規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法（mm）		色彩
JIS K5665	・１種 ・２種 ※３種１号	常温 加熱 溶融	液状 ・ 粉体状	幅　※150 ・ 厚さ　※1.0		※白 ・黄

低揮発性有機溶剤型の路面表示用水性塗料

③ 土工事

① 埋戻し及び盛土の材料及び土法等

種別　・A種　※B種　・C種　・D種　・建設汚泥から再生した処理土
六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

② 建設発生土の処理

・ 現場内で処理
・ 構内指示の場所に堆積
・ 構内指示の場所に敷き均し
⊙ 場外に搬出し、関係法令に従い適切に処理する。
なお、処理にあたっては「建設発生土情報交換システム」を活用する。
構外指定場所に搬出後　※堆積　・敷き均し
受入場所：
受入時間帯：　時　分～　時　分
仮置き等：
搬出調書を監督職員に提出する

3 山留めの存置

範囲（※図示　・　）

④ 地業工事

① 支持地盤の確認

杭の支持力、支持地盤の位置及び種類、及びこれらの確認のための試験の方法は、構造特記仕様書及び構造図による。

2 既製コンクリート杭地業

施工法　・セメントミルク工法
・特定埋込杭工法
杭の種類　・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（ＰＨＣ杭）
・プレストレト鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭）
・外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭）（鋼管材料　・ＳＫＫ400　・ＳＫＫ490）
以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 杭の寸法、継手の箇所数と工法、杭先端部の形状、杭頭の処理等
2) 打込み工法における杭の設計支持力及び推定支持力の算定方法
3) 打込み工法におけるプレボーリングの掘削深さ及び径
4) セメントミルク工法におけるアースオーガーの掘削深さ及び杭の根入深さ
5) 杭の水平方向の位置ずれの精度

③ 鋼杭地業

施工法
・打込み工法　・特定埋込杭工法
⊙（鋼管杭回転埋設無残土工法）
種類
⊙鋼管ぐい　・Ｈ形鋼ぐい
杭の継手　・アーク溶接　⊙無溶接継手
杭頭の処理　※切断しない

4 場所打ちコンクリート杭地業

堀削工法　・アースドリル工法（安定液　・使用する　・使用しない）
・リバース工法
・オールケーシング工法
（・揺動式　・全周回転式）（孔内水張　・行う　・行わない）
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・拡底杭工法（※安定液使用　・　）
以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 鉄筋の種類及び加工組立
2) コンクリートの種別、設計基準強度(Fc)及び構造体強度補正値(S)の値
3) 支持地盤の位置及び種類
4) 杭の水平方向の位置ずれの精度
5) 孔壁測定の有無及び測定方法

⑤ 砂利地業に使用する砂利

※再生クラッシャラン　・切込砂利及び切込砕石

⑥ 床下防湿層

施工範囲　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
防湿工法　※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・

⑦ 特殊地業

・地盤改良　柱状改良-深層混合処理工法
設計基準強度 600kN/㎡
試験 ※行う（・室内配合試験　・一軸圧縮強度試験）　・行わない
六価クロムの溶出試験　※行う（検体数1個）　・行わない

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類

種類の記号	呼び径 (mm)
⊙ＳＤ２９５Ａ	※Ｄ１６以下
⊙ＳＤ３４５	※Ｄ１９以上
・	

2 溶接金網

種類の記号、網目の形状、寸法及び鉄線の径は、構造特記仕様書及び図示による。

③ 鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接継手　・機械式継手　・重ね継手

④ 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	標仕表5.3.6の値に加える寸法 (mm)
柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※１０

5 機械式継手

適用箇所、性能、種類、工法、品質の確認方法及び不良となった継手の修正方法等は図示による。

⑥ 各部配筋

※構造特記仕様書及び構造図による。　・各部配筋参考図による。

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの種類

コンクリートの使用骨材による種類
※普通コンクリート　・軽量コンクリート

2 コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類

コンクリートの使用材料、施工条件、要求性能等による種類

適用	種　類	適用箇所	特記事項
・	寒中コンクリート		適用期間（　）
・	暑中コンクリート		構造体強度補正値(S)の値　※6N/mm2　・
・	マスコンクリート		セメントの種類（　） 混和材料（　） スランプ（　）
・	無筋コンクリート		スランプ（　）
・	流動化コンクリート		

③ コンクリートの設計基準強度

コンクリートの設計基準強度は、構造特記仕様書及び構造図による。

④ コンクリートの類別

※Ⅰ類　・Ⅱ類

⑤ 気乾単位容積質量

※2.3t/m3程度　・

⑥ 打放し仕上げ

種別　・A種　※B種　・C種

⑦ セメントの種類

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、水和熱が７日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
・高炉セメントＢ種
・シリカセメント
・フライアッシュセメントＢ種
・普通エコセメント

⑧ 骨材の種類

アルカリシリカ反応性による区分
・Ａ
・Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量Rt＝3.0kg/m3 以下）
※監督職員との協議による。

⑨ 混和材料

国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「標仕」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版」（以下「改修標仕」という。）による。

⑩ 構造体強度補正値

構造体強度補正値(S)　※標仕表(6.3.2)による。
ただし、普通ポルトランドセメントを用いるコンクリートでは、以下の補正値適用期間を使用することができる。

打設日	７月18日～９月２日	３月13日～７月17日 ９月３日～11月17日	11月18日～３月12日
補正値	6N/mm2	3N/mm2	6N/mm2

⑪ 養生期間

※セメントの種類が普通エコセメントの場合は、次による。　・（　）日以上

⑫ 型枠

以下の事項は、図示による。
1) 外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ
2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法
せき板の材料は、次による。
※合板（※12mm　・　mm）　・床型枠用鋼製デッキプレート　・メッシュ型枠
・断熱材兼用型枠（適用個所及び品質等は標仕19章９節断熱・防露による）
・ＭＣＲ工法用シートの使用（打増し厚さ　・20mm　打増し範囲　・図示による）
せき板、支柱の存置期間は、標仕表(6.8.2)、標仕表(6.8.3)による。
なお、セメントの種類が普通エコセメントの場合は、次による。

	存置期間中の平均気温	せき板の存置期間	支柱の存置期間	
		基礎、梁側、柱、壁	スラブ下	梁下
コンクリートの材齢による場合(日)	15℃以上	・（　）以上	・（　）以上	・（　）以上
	5℃以上	・（　）以上	・（　）以上	・（　）以上
	0℃以上	・（　）以上	・（　）以上	・（　）以上
コンクリートの圧縮強度による場合	―	圧縮強度がS6N/m2以上となるまで	圧縮強度が設計基準強度(Fc)の85%以上又は12N/mm 以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで	圧縮強度が設計基準強度以上であり、かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全であることが確認されるまで

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

⊙監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の45第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び㈱全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準に定める「　グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

② 施工管理技術者

※適用する

③ 鋼材

鋼材の材質、形状及び寸法は、構造特記仕様書及び構造図による。

④ 高力ボルト

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) ボルトの区分及び径
2) すべり係数試験の実施、試験方法等

⑤ 普通ボルト

ボルト及びナットの材料等は、構造特記仕様書及び構造図による。

⑥ 緑端距離、ボルト間隔、ゲージ等

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの緑端距離、ボルト間隔、ボルト径、ゲージ等

7 溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類　・１種（F8T相当）
摩擦面の処理
※　ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
摩擦面の確認方法
・　図示　・　試験片によるすべり耐力試験

⑧ アンカーボルト

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) ﾎﾞﾙﾄの材質・種類、ねじの公差域ｸﾗｽ、仕上げの程度、緑短距離、ﾎﾞﾙﾄ間隔、ｹﾞｰｼﾞ等
2) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法
3) 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法

9 デッキプレート

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 工法の種別
2) デッキプレートの材質、形状及び寸法
3) 鉄骨部材への溶接方法
4) 耐火認定の有無

⑩ 工作図

増築工事等を含め、既存建築物と取合う箇所がある場合は、現場実測の上作成を行う。

11 鉄骨の仮組

・　行わない　・　行う
仮組を行う範囲及び確認方法等は、図示による。

12 溶接接合

以下の事項は、構造特記仕様書及び構造図による。
1) 開先の形状
2) スカラップの形状
3) エンドタブの切除の有無及び適用箇所

13 溶接条件

入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所　・図　示
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入　熱 (KJ/cm)	パス間温度 (℃)
400 N 級鋼	JIS Z 3211 YGW－11, 15 YGW－18, 19 JIS Z 3214 YGA－50W, 50P	40 以下	350 以下
490 N 級鋼	JIS Z 3211 YGW－11, 15 YGW－18, 19 JIS Z 3214 YGA－50W, 50P	40 以下 30 以下 40 以下	350 以下 250 以下 350 以下
520 N 級鋼	YGW－18, 19	30 以下	250 以下

ただし、
・400N級鋼のSTKR・BCR及びBCPの作業条件は、YGW-11, 15で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下、YGW-18, 19での作業条件は入熱40KJ/cm以下、パス間温度350℃以下とする。
・490N級鋼のSTKR・BCPの作業条件は、YGW-18, 19で入熱30KJ/cm以下、パス間温度250℃以下とする。
上記の溶接条件以外による場合は、監督職員と協議する。

14 溶接部の試験

完全溶込み部の超音波探傷試験　※行う　・行わない
・工場溶接の場合
AOQL　※4.0%　・2.5%
検査水準　※第６水準　・図示
・工事現場溶接の場合
AOQL　※4.0%　・2.5%

⑮ 鉄面錆止め塗料塗り

塗料　屋外　※A種（JISK5674 １種）　・B種
屋内　※A種（JISK5674 １種）　・B種
工程　見掛かり（※A種　・B種）　見隠れ（・A種　※B種）

16 耐火被覆

種　別		適用箇所	所要性能
・ラス張りモルタル塗り			
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸ｶﾙｼｳﾑ板		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
・耐火塗料		渡廊下	

17 軽量形鋼構造

ボルトの接合方法は構造特記仕様書及び構造図による。

18 溶融亜鉛めっき

亜鉛めっきの種別	材　料	適用部位
A種（HDZ55）	最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
B種（HDZ45）	最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
C種（HDZ35）	最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト、ナット類、アンカーボルト類	

外観検査　※行う　・行わない
めっき付着量の検査　※行う　・行わない

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

※空洞ブロック１６　・空洞ブロック１６－Ｗ
各部の配筋は、構造特記仕様書及び構造図による。

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

※標仕表8.3.1及び下表による。

適　用　箇　所	ブロックの種類	厚さ (mm)
・	・	
・	・	

※各部の配筋は、構造特記仕様書及び構造図による。

3 ＡＬＣパネル

種　類	単位荷重（N/m2）	厚さ (mm)	構造の種別
・外壁パネル ※平　・意匠		・100 ・120	・Ａ種　・Ｂ種
・間仕切壁パネル ※平パネル	―	・80　・100 ・	・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種
・屋根パネル		・100	※F種
・床パネル		・100　・150	

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・１　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐火性能　・有り（・０．５時間　・１時間　・２時間）
パネル幅の最小限度（mm）
※300　・図示による
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅（mm）
※20　・図示による
伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない
※20　・図示による

4 押出成形セメント板

種　類	表面形状	厚さ (mm)	ﾛｯｸｳｰﾙ充てん	取付工法・種別	備　考
・外壁パネル	※Ｆ ・Ｄ ・Ｔ	・50　・60 ・50　・60 ・60	・有　・無 ・有　・無 ・有　・無	・Ａ種 ・Ｂ種	
・間仕切パネル	※Ｆ ・Ｄ ・Ｔ			・Ｂ種 ・Ｃ種	

建築基準法に基づき定まる風圧力の（・１　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
目地幅：パネル相互（※長辺8、短辺15　・図示　）
出隅及び入隅のパネル接合目地（※15mm　・図示　）

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水

種類・種別	施　工　箇　所
・Ａ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・Ｂ－２	
・	

屋根保護防水断熱工法の断熱材　・材質　※JIS A 9521(建築用断熱材)による押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bＡ（スキン層付き）
・JIS A 9511(発砲ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ保温材)によるA種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板3種b（スキンあり）
・（　）
・厚さ (mm)（※25　・　）
屋根露出防水断熱工法の断熱材　・材質　・JIS A 9521による硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの
・JIS A 9511による A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの
・（　）
・厚さ (mm)（※25　・　）

乾式保護材の材料

種　類	寸法(mm)：厚さ×幅	適　用
・窯業系パネル	・約15×300 ・約26×600 ・	※無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。
・金属複合版	※約12×900	※金属板と樹脂を積層一体化したもの。

乾式保護材の品質・性能、試験方法は、図示による。
防水層の下地のモルタル塗り　・適用する（施工範囲　※防水下地全て　・　）　・適用しない

2 改質アスファルトシート防水

種　別	施工箇所
・ＡＳ－Ｔ３	
・ＡＳ－Ｔ４	
・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ熱工法(複層・絶縁工法) ｱｽﾌｧﾙﾄは低煙・低臭ﾀｲﾌﾟとし、改良型無煙釜を使用する。	
・	

押え金物　※製造所の仕様による　・
屋根露出防水絶縁断熱工法の断熱材　・材質　・JIS A 9521(建築用断熱材)による硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの
・JIS A 9511(発砲ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ保温材)によるA種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの
・（　）
・厚さ (mm)（※25　・　）
仕上塗料の種類、使用量（・　※製造所の指定による）

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

種　別	ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの厚さ (mm)	施工箇所	仕上塗料・モルタル塗り	
			種類	使用量・厚み
・ＳＰＦ１	※1.2		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	
・ＳＰＦ２	※2.0		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	
・ＳＰＭ１	※1.5		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	
・ＳＰＭ２	※1.5		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	
・ＳＰＭ３	※1.2		・ｼﾙﾊﾞｰ　・ｶﾗｰ	

4 塗膜防水

屋内防水

種　別	施工箇所	保　護　層			
		平場のモルタル塗り			立上り部の保護
		塗り厚さ	床塗り工法	下地モルタル塗り	モルタル塗り厚さ
・Ｓ－Ｃ1	・	・	※標準仕様書 15.2.5(b)(2)及び(3)に準ずる ・	※標準仕様書 15.2.5(c)(1)に準ずる	※7mm以下 ・

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ　・
固定金具の材質及び寸法形状
※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面又は両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの

種　別	施　工　箇　所	備　考
・Ｘ－１		仕上げ塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー　・カラー
・Ｙ－１	※地下外壁防水　・	Ｙ－２工法の保護シート
・Ｙ－２	※屋内防水　・	※適用する　・適用しない

5 脱気装置

※設ける　・設けない

種　類	材　質	設置数量
・平面脱気型	※ 製造所標準仕様(立上がり型) ・ｽﾃﾝﾚｽ製　・ｱﾙﾐ製又はｱﾙﾐ鋳物	※ 製造所指定数量 ・１箇所／約50m2当たり
・立上がり部脱気型	※ 製造所標準仕様 ・	※ 製造所指定数量 ・１箇所／約10m間隔

⑥ シーリング

下表以外は、標仕表9.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験　（施工対象部位　）

⑩ 石工事

① 天然石張り

石の種類・表面仕上げ

施工箇所	品質・種類	形状・寸法	厚さ (mm)	仕上げの種類
便所汚垂	花崗岩・並	800×600	20	ＪＢ

2 テラゾ張り

種石の種類　※大理石
表面仕上げ　※本磨き
テラゾブロックの形状、仕上げ面及び寸法、並びにテラゾタイルの寸法は、図示による。

3 壁の石張り工法

外壁石張り
工法
・外壁湿式工法（※流し筋工法　・　）
・乾式工法　（・スライド方式　・ロッキング方式）
石裏面処理　・行う　・行わない
裏打ち処理　・行う　・行わない
ドレインパイプ　※樹脂ネット製パイプ　（クロスメッシュ巻き）　・ステンレスSUS304
内壁石張り
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法　（・スライド方式　・ロッキング方式）
石裏面処理　・行う　・行わない
裏打ち処理　・行う　・行わない

4 床及び階段の石張り

床石張りの石裏面処理　・行う
階段張りの石裏面処理　・行う

⑪ タイル工事

① タイルの形状、寸法等

形状寸法 (mm)	再生材の適用	吸水性による区分			うわぐすり		役物		色			耐凍害性		耐滑り性
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	あり	なし	標準	特注	あり	なし	
点字タイル	○	○				○		○	○		○		
段鼻タイル		○				○		○	○		○		

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）
タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）

2 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　※ＭＣＲ工法　・目荒し工法（高圧洗浄）
壁タイル張りの工法
外装タイル　・密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
・既製調合モルタル（モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

3 接着剤による陶磁器質タイル張り

外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング
ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング
伸縮調整目地　※変成シリコーン系シーリング
その他の目地　※変成シリコーン系シーリング
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理　・ＭＣＲ工法　・目荒し工法（高圧洗浄）

4 陶磁器質タイル型枠先付け

タイル型枠先付けの種類

種　類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類
・タイルシート法	・小口タイル	※標仕6.8.3(b)(2)
・目地樹法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付け用パネル
・桟木法	・大形タイル	・

⑫ 木工事

① 表面仕上げ

表面仕上げの種別［適用箇所］（・Ａ種［　］　※Ｂ種［※全て・　］　・Ｃ種［　］）

② 製材

・「製材の日本農林規格」による製材　構造図による

	樹種	寸法	等級	形状	含水率
⊙下地用針葉樹製材	ベイツガ		※２級　・		※A種　・B種
⊙造作用針葉樹製材	県産スギ				※A種　・B種
・広葉樹製材			※１等　・		※10%以下

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率
						※A種　・B種

・代用樹種を適用しない箇所（　）

3 造作用集成材

造作用集成材、化粧ばり造作用集成材、化粧ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の等級	含水率
	県産スギ		※１等　・	※A種　・B種

4 造作用単板積層材

施工箇所	厚さ	寸法	表面の品質	防虫処理
			・化粧加工（・天然木・塗装）	・する　・しない

⑤ 床張り用合板等

表面の樹種名	接着の程度	防虫処理		
	※１類　・２類	・する　・しない		

⊙t=24,15,12 構造用合板は、県産スギ合板を使用すること。　）

⑥ 接着剤

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・

⑦ 防腐・防蟻

⊙防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材　適用部位（土台、柱）
⊙薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理　適用部位（横木、大引）保存処理性能区分（・K2 ⊙K3 ・K4）
⊙薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理　適用部位（GL-1.0m以下の柱・間柱、土台、1階床下地合板の下面
・ボード原料接着材への薬剤混入による防腐、防蟻処理　適用部位（　　）

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
・心木なし瓦棒葺　⊙立平葺	※塗装ステンレス鋼板　・	※0.4
・鎧掛葺　⊙横葺　・	⊙塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯	・

下葺材料（　・　ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940　⊙　改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺材　）
建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3　）倍の風圧力に対応した工法

2 折板葺

形　式	・重ね形　※はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　　）　山ピッチ（　　）　板厚※0.6　・0.8
材　料（規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断　熱　材	※有り（種別：　　厚さ：　　mm）・無し
耐火性能	※30分耐火　・無し

建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3　）倍の風圧力に対応した工法

3 粘土瓦葺

形状による区分	寸法による区分	製法による区分	備　考
※J形	※53A	・ゆう薬がわら	色調（　　）
・S形	・49A　・49B	・いぶしがわら	
・F形	・40	・無ゆうがわら	役物瓦（図示）

建築基準法に基づき定まる風圧力の（　・　1　・　1.15　・　1.3　）倍の風圧力に対応した工法

④ とい

・配管用鋼管　※硬質着色塩化ビニル管　⊙VP　・RF-VP　）

⑭ 金属工事

1 あと施工アンカー

引抜き耐力試験　※適用する　・適用しない

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

種　別	色　合　い	施　工　箇　所
・A－1種	無着色	
・A－2種	・ブラウン系	
・B－1種	・ブラック	
⊙B－2種	・ステンカラー	
・		

③ 鉄鋼の亜鉛めっき

表面処理方法	種　別	施　工　箇　所
溶融亜鉛めっき	⊙A種	外部手摺
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

④ 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法　※下表以外は、標仕14.4.3及び標仕表14.4.2による

施　工　箇　所	下地材の間隔（mm）		
	野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ		野　縁
	中央部	周辺部	

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
天井下地材における耐震性・耐風圧を考慮した補強　・行う（補強箇所　※図示）
天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強　※標仕14.4.4(h)(1)及び(2)による　・図示
天井のふところが３ｍを超える場合の補強　※図示
内部軽量鉄骨下地受　C-100×50×20×2.3 @900

5 金属成形板張り（天井）

※アルミニウム製　・

形　状	製　法	板幅（mm）	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理	被膜等の種類
・ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形	・押出し				・B-1種	※B
	・ロール				・B-2種（・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	※B
・パネル形	※プレス ・				・C-1種	※AA6
					・C-2種（・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	※AA6
					・D種	

6 軽量鉄骨壁下地

取付用下地	※標準仕様書による　・設ける（施工箇所は図示）
伸縮調整継手	※設けない　・設ける（施工箇所は図示）
種類	・50型　・65型　・90型　・100型
スタットの高さが３ｍを超える場合	※図示

⑦ アルミニウム製笠木

オーブン形式アルミニウム製笠木の種類

種　類	呼称肉厚（mm）	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
・100形	1.5以上	種別（　B-2　）種	建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重の(・1　・1.15　・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法
・250形	1.6以上	被膜等の種類 （※標仕表14.2.1による ・　　）	
・300形	1.8以上		
・350形	2.0以上		
⊙水切		着色・ｱﾝﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ	

隅角部及び突当り部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

⑧ 手すり及びタラップ

種　類	材料の種別	表　面　処　理
手すり	※ステンレスSUS304	※ＨＬ程度　・鏡面程度
	⊙鋼製	⊙亜鉛メッキ
タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨無し　・
	・鋼製	亜鉛めっき　内外部　※Ｃ種

⑮ 左官工事

① モルタル塗り材料

既製目地材の適用　※図示

2 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.5及び標仕15.3.2による

施　工　箇　所	平たんさ（mm）	備　考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ（支柱調整式）範囲	1mにつき10以下	

3 セルフレベリング材　・せっこう系　・セメント系

4 ロックウール付け　厚さ　mm

5 仕上塗材仕上げ

種　類	呼　び　名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	・砂壁状　・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・ゆず肌状（・吹付け　・ローラー塗り）
	・外装薄塗材Ｅ	・平坦状
	⊙可とう形外装薄塗材Ｅ	・凸凹状（・吹付け　・こて塗り）
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り）
	・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材Ｃ	・京壁状じゅらく
	・内装薄塗材Ｌ	・
	・内装薄塗材Ｓｉ	・
	・内装薄塗材Ｅ	吸放湿性　・適用する　・適用しない
	⊙内装薄塗材W	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ	・吹放し　・凸部処理　・平坦状
	・外装厚塗材Ｓｉ	・凸凹状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材Ｅ	・
	・内装厚塗材Ｃ	吸放湿性　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材Ｌ	上塗材　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材Ｇ	
	・内装厚塗材Ｓｉ	
	・内装厚塗材Ｅ	
・複層仕上塗材	・可とう形複層塗材ＣＥ	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
	・複層塗材Ｓｉ	・
	・複層塗材Ｅ	耐候性　・１種　・２種　※３種
	・複層塗材ＲＥ	上塗材
	・防水形複層塗材ＣＥ	溶媒　※水系　・溶剤系
	・防水形複層塗材Ｅ	樹脂　※アクリル系　・ポリウレタン系
	・防水形複層塗材Ｅ（透湿型）	外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック
	・防水形複層塗材ＲＥ	防水形複層塗材Ｅ（透湿型）を使用する場合の所要量
	・	※メーカー推奨塗布量による
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

⑯ 建具工事

1 見本の製作等

・建具見本の製作　（建具番号：　　）
・特殊な建具の仮組（建具番号：　　）
※防火戸の指定及び防犯建物部品の適用は、建具表による。

② アルミニウム製建具

外部に面する建具の性能値等
種別　・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種
枠見込み（mm）　※建具表による　（・　mm）
防音ドアセット、断熱ドアセット、耐震ドアセットの適用及び等級は、建具表による。
結露水の処理方法、水切り板、ぜん板等　※図示
表面処理

施工箇所	種　別	色　合　い　等
外部建具	※ B-1種	無着色
	⊙B-2種	※標準色（・ｱﾝﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　⊙ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
	・	・
内部建具	※ C-1種	無着色
	・ C-2種	※標準色（・ｱﾝﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
	・	・

③ 網戸

防虫網
網の種別　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）

④ 合成樹脂製建具

外部に面する建具の性能値等
種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
枠見込み（mm）　※建具表による　（・　mm）
防音ドアセット、断熱ドアセット、耐震ドアセットの適用及び等級は、建具表による。
結露水の処理方法、水切り板、ぜん板等　※図示
表面色　※ 標準色　・ 特注色（　　）

5 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６）
鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効開口幅950mm、又は 有効高さ2,400mmを越える場合）
鋼板

材　料	メッキ付着量	厚　さ
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）	※Z12又はF12	・
・JIS G 3317（溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板	※Y08	・

※　下表以外は標仕表16.4.2による

区　分		使　用　箇　所	厚さ（mm）
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

6 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による
鋼板　※ 亜鉛めっき鋼板　・ ビニル被膜鋼板　・ カラー鋼板
鋼板の厚さ　・標仕表16.5.1による。
召合せ、縦小口色み板の材質　※鋼板　・ ステンレス鋼板　・ アルミニウム合金

7 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの性能の適用は建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６）
表面仕上げ　※ HL仕上げ　・ 鏡面仕上げ
曲げ加工　※ 普通曲げ　・ 角出し曲げ（補強あり）

⑧ 木製建具

フラッシュ戸の表面材の種類　※天然木化粧合板　⊙建具表による
かまち戸の樹種　かまち（　県産スギ　）　鏡板（　県産スギ　）
ふすまの上張り（押入等の裏側以外）　※新鳥の子又はビニル紙程度　・ 鳥の子
縁仕上　・塗縁　・生地縁　・素地　・ウレタンクリア塗装　）
枠の材料　※ 木製　・ 鋼製
靴ずりの材料　・ 木製　⊙ ステンレス製
防虫処理　・行う

⑨ 建具用金物

建具用金物は、下記以外については、建具表による。
マスターキー　※製作する　・製作しない
その他の鍵　※各室3本1組　・
鍵箱　※有り　・無し

⑩ 自動ドア開閉装置

自動ドアの開閉機構
※スライディングドア　・スイングドア
自動ドアの開閉方式、質量、センサーの種類については、建具表による。
凍結防止措置　※行わない　・行う（　　）

11 重量シャッター

外部に面するシャッターの耐風圧強度　耐風圧性能（　　）N/m2
開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式
防火シャッター、及び防煙シャッターには、危害防止機構を設ける。
シャッターケース　※設ける　・設けない
スラット及びシャッターケースのめっき付着量　※Z12又はF12　・

12 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）
外部に面するシャッターの耐風圧強度　耐風圧性能（　　）N/m2
スラット　厚さ（mm）　・0.5　※0.8　・1.0
形状　・ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形

13 オーバーヘッドドア

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板（SUS304）
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	
		・バーチカル形	

耐風圧性能（　　）N/m2

⑭ ガラス

ガラスの種類、品質、厚さ等は、建具表による
ガラス留め材

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による
板ガラスをはめ込む溝の大きさ
※標仕表16.14.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。
熱線反射ガラスの映像調整　※行わない　・行う（建具表による）

15 ガラスブロック積み

ガラスブロック

寸法（mm）		色　調	目地幅（mm）		防火性能等
呼び寸法	厚さ		平積み	曲面積み	
・	・	※クリア	※8～15	外側（　　）	※無し
		・	・15～25	内側（　　）	・

伸縮調整目地(mm)　※6m以下ごとに10～25　・図示
壁用金属補強材　・設ける（形状及び材質等　※図示）　・設けない
化粧目地モルタルの色　※モルタル色
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑯ ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
・日射遮へい・ガラス飛散防止フィルム	第１種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
⊙ガラス飛散防止フィルム	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・日射遮へいフィルム	第３種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1

品質　JIS A5759による

17 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

耐震性、水密性、気密性、耐火性、耐温度差性、遮音性、断熱性等は図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
層間変位追従性

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	変位後の状態
S造	・±(1/200)×h以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。
	・	
RC及びSRC造	・±(1/300)×h以上	シーリングは補修程度の損傷であること。

2 メタルカーテンウォール

カーテンウォール材料の種類

種　類	規　格　等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
⊙方立方式
・バックマリオン方式　（・単純２辺支持構法　・ＳＳＧ構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式　（・ノックダウン方式　・ユニット方式）
シーリング材及びガラス取付け材料
下表以外は標仕表9.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

構造ガスケット　※適用しない
・適用する（施工箇所：　　）
断熱材　※適用しない
・適用する（種類、厚さ、施工箇所は、図示による）
製品の寸法許容差　※標仕表17.2.1による
・製造所標準製作規定寸法許容差による
アルミニウムの表面処理

種　別	色合い等
・Ａ－１種　・Ｂ－１種	無着色
・Ａ－２種　⊙Ｂ－２種	※ブラウン系　⊙ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜　塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク	

3 ＰＣカーテンウォール

コンクリートの種類及び品質
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Ｆｃ）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A（・D13　・D10）　・
補強鉄線の径(mm)　※3.2　・
配筋　※図示　・
取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質
下表以外はカーテンウォール製作所の仕様による

金物種類及び部位	内　部	外　部
ＰＣ版打込み金物	※E種	※Ａ種　・
ＰＣ版打込み取付けボルト	※E種	※ステンレスボルト
２次ファスナー	※E種	※Ａ種　・
取付けボルト	※E種	※Ａ種　・
レベル調整ボルト	※E種	※Ａ種　・
	・	・

シーリング材料
下表以外は標仕表9.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
カーテンウォール板間目地	

耐火目地材　※適用しない
・適用する（種類、施工箇所は図示による。）
断熱材　※適用しない
・適用する（種類、厚さ、施工箇所は図示による。）
製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による　・製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ　（　　）

⑱ 塗装工事

① 材料

防火材料　※屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
・次の箇所を除き、防火材料とする。（箇所：　　）

下　地　面　等		種　別
木部	木透明塗料塗りの場合	・Ａ種　※Ｂ種
	透明塗りの場合	・Ａ種　※Ｂ種
鉄鋼面		・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種
亜鉛めっき面		・Ａ種　・Ｂ種
モルタル面、プラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
コンクリート面、ALCパネル面、押出成形セメント板面		・Ａ種　※Ｂ種
せっこうボード面及び	目地：継ぎ目処理工法	※Ａ種　・Ｂ種
その他ボード面	目地：継ぎ目処理工法以外	・Ａ種　※Ｂ種

② 素地ごしらえ

③ 錆止め塗料塗り

錆止め塗料の種類　※JIS K 5674　・

下　地　面		工程の種別		塗料の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	※Ａ種	・Ｂ種	
	見え隠れ部分	・Ａ種	※Ｂ種	
亜鉛めっき面	鋼製建具	※Ａ種	・Ｂ種	・Ａ種　・Ｂ種
	鋼製建具以外	・Ａ種	※Ｂ種	・Ｃ種

④ 塗装

塗装の種類		種　別	塗料の種類
・合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り（SOP）	木部屋外	※Ａ種　・Ｂ種	※1種　・2種
	木部屋内	・Ａ種　※Ｂ種	※1種　・2種
	鉄鋼面	・Ａ種　※Ｂ種	※1種　・2種
	亜鉛めっき鋼面	―	※1種　・2種
・クリヤラッカー塗り(CL)		・Ａ種　※Ｂ種	―
・アクリル樹脂非水分散型塗料塗り(NAD)		・Ａ種　※Ｂ種	―
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	―	上塗り等級（　）級
	亜鉛めっき鋼面	―	上塗り等級（　）級
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・Ａ種　・Ｂ種 ・Ｃ種	上塗り等級（　）級
⊙つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面、せっこうボード面等	・Ａ種　※Ｂ種	―
	屋内の鉄鋼面	・Ａ種　※Ｂ種	―
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		・Ａ種　※Ｂ種	―
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		・Ａ種　※Ｂ種	―
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※Ａ種　・Ｂ種	―
・ラッカーエナメル塗り(LE)		・Ａ種　※Ｂ種	―
・オイルステン塗り(OS)		―	―
⊙木部保護塗料塗り(WP)（屋外）		・Ａ種　※Ｂ種	―
⊙木部保護塗料塗り(WP)（屋内）		・Ａ種　※Ｂ種	―

⑲ 内装工事

① ビニル床シート張り

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	色　柄	備　考
※発泡層のないもの	※ＦＳ	※2.0	※無地　・マーブル柄	
・発泡層のあるもの	・	・	※柄物　・無地	

特殊機能（・ 帯電防止　・ 耐動荷重性　・ 防滑性　・ 耐薬品性 ）
工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　）

2 ビニル床タイル張り

種　類	JISの記号	厚さ(mm)	寸 法(mm)	備　考
・複層ビニル床タイル〔接着形〕	ＦＴ	※ 2.0 ・	・300×300 ・450×450 ・500×500 ・	
・コンポジションビニル床タイル〔接着形〕	ＫＴ			
・置敷きビニル床タイル〔置敷形〕	ＦＯＡ			

特殊機能（・ 帯電防止　・ 耐動荷重性　・ 防滑性　・ 耐薬品性 ）

3 帯電防止床材張り

・帯電防止性能評価値（JIS A1455）1.2以上～3.2未満、
または、体積電気抵抗値（JIS A1454）1.0X10^7～10^10Ω程度

④ ビニル幅木

高さ（mm）　※60　・75　・100

⑤ カーペット敷き

防炎性能は、消防法で定める防炎性能を有し、登録されているものとする。
・織じゅうたん

種　別	織り方	パイル形状	帯電性	色　柄
・Ａ種	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ	・カットパイル	人体帯電圧 ※３kv以下 ・	※単一色（無地）
・Ｂ種	・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ	・ループパイル		・柄物（標準品）
・Ｃ種	・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・カット、ループ併用		・

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	帯電性
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	人体帯電圧 ※３kv以下 ・
・マルチレベルループ	※4～6　・		
・レベルループパイル	※4		
・カット、ループ併用	・		

⊙タイルカーペット

種　別	パイル形状	敷き方		施工箇所
		平場	階段部分	
※第一種	※ループパイル			
・第二種	・カットパイル			

見切金物及び押さえ金物の材質、種類及び形状は、図示による。

6 合成樹脂塗り床

種　別	仕上げの種類等
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床	※薄膜流し展べ仕上げ（・平滑　・防滑） ・厚膜流し展べ仕上げ（・平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（・平滑　・防滑）
・薄膜型塗床材	
・アクリル樹脂塗床（JIS K5970）	塗布量（kg/m²）（　　） 表面仕上げ（・ 平滑　・ 防滑　） 溶剤（・ 水性色　・ 溶剤系　・ 無溶剤系 ） 仕上色（・ 標準色　・　　）

⑦ フローリング張り

単層フローリング

品　名	工　法	厚さ	大きさ	樹　種	仕上塗装等
・フローリングボード１等	・釘どめ工法（根太張り）	・15 ・	板幅75 板長500以上	※なら ・ひのき	・塗装品 ・無塗装品
	・釘どめ工法（直張り）	・12以上 ・			
	・接着工法				
・フローリングブロック１等	・接着工法	・15 ・	303×303		
・モザイクパーケット1等	・接着工法	・	・	・	

天然木化粧複合フローリング

品　名	工　法	種別	厚さ/大きさ(mm)	樹　種	仕上塗装等
・複合１種フローリング ・複合２種フローリング ・複合３種フローリング	・釘どめ工法（根太張り）	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	12	※なら ⊙ 県産スギ	⊙塗装品 ・無塗装品 ・防湿処理有 ・防湿処理無
	⊙釘どめ工法（直張り）				
	・接着工法		板厚　・8以上 板幅　・75以上 板長さ・900以上		

8 畳敷き

畳の種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種（畳床の記号　・　　）

⑨ ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地	厚さ（mm）	※40　・65　・80
フローリング類	厚さ（mm）	※80　・95
根太間	厚さ（mm）	⊙45　⊙30

項		工事施工区分	建築	電気	空調	衛生			外構	別途	備考
共通	1	工事上の各種申請届出(費用を含む)	○	○	○	○			○	○	
	2	工事用電気･上下水道・ガス・電話引込工事(負担金含む)	○	○	○	○					
	3	工事用電気･上下水道・ガス・電話料金(基本料金含む)	○	○	○	○					
	4	~~本設電力引込工事~~									
	5	~~本設上水引込工事~~									
	6	~~本設下水引込工事~~									
	7	~~本設ガス引込工事~~									
	8	受電通水後竣工引渡し迄の電気・ガス・上下水道使用料金	○	○	○	○					
	9	同上の基本料金	○	○	○	○					
	10	~~電話本設引込工事~~									
	11	電波障害対策工事								○	
	12	~~電波障害近隣対策用配管工事~~									
仮設	1	仮囲い、出入口ゲート等	○								
	2	資材・工事車両置場	○								
	3	外部足場および安全設備	○								
	4	内部足場および安全設備	○								
	5	仮設電源設備・同保守	○								
躯体貫通	1	地中梁の連通管・通気管・人通孔・補強	○								
	2	スリーブ等貫通部の墨出し	○	○	○	○					
	3	~~鉄骨貫通スリーブ(溶接一体)~~	○								
	4	コンクリート躯体貫通スリーブ	○	○	○	○					
	5	同上補強(構造仕様により必要なもの)	○								
	6	各貫通部の穴埋め・補修(仕上げは建築)	○	○	○	○					
躯体以外の開口・貫通等	1	開口・貫通等の墨出し	○	○	○	○					
	2	床・壁の開口、取付枠	○								
	3	同上開口補強、壁フカシ	○								
	4	各貫通部の穴埋め・補修(仕上げは建築)	○	○	○	○					
	5	天井切り込み(天井下地を含む)	○	○	○	○					
	6	同上開口補強	○								
点検口・ガラリ	1	天井点検口用ハッチ(蓋、枠、縁上部仕上共)	○								
	2	床下点検口用ハッチ(蓋、枠、縁上部仕上共)	○								
	3	パイプシャフト点検口用ハッチ(蓋、枠、縁上部仕上共)	○								
	4	~~外部に面する給排気ガラリ~~	○								
	5	~~同上接続用アングル、防鳥(虫)網~~	○								
	6	~~同上ﾀｰｹﾄ接続用金具(ガラリボックス)~~	○		○						ガラリ一体のものは建築工事
	7	外部に面する給気口			○						24h換気の給気口
	8	外部に面するｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ、ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ			○						
	9	壁付け換気扇類			○						
	10	同上取付枠			○						ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ設置の開口は建築工事
	11	外部に面する設備工事設置後の防水シーリング	○								
	12	内部に面する給気ガラリ、ランマ、ドアガラリ	○								
	13	~~一般ﾌｰﾄﾞ(厨房、調理室、その他)~~			○						
排水工事	1	雨水樋及び養生管、ルーフドレーン	○								
	2	内部雨水配管用ねじ込みドレーン	○								
	3	内部雨水配管、防露巻、化粧カバー	○								

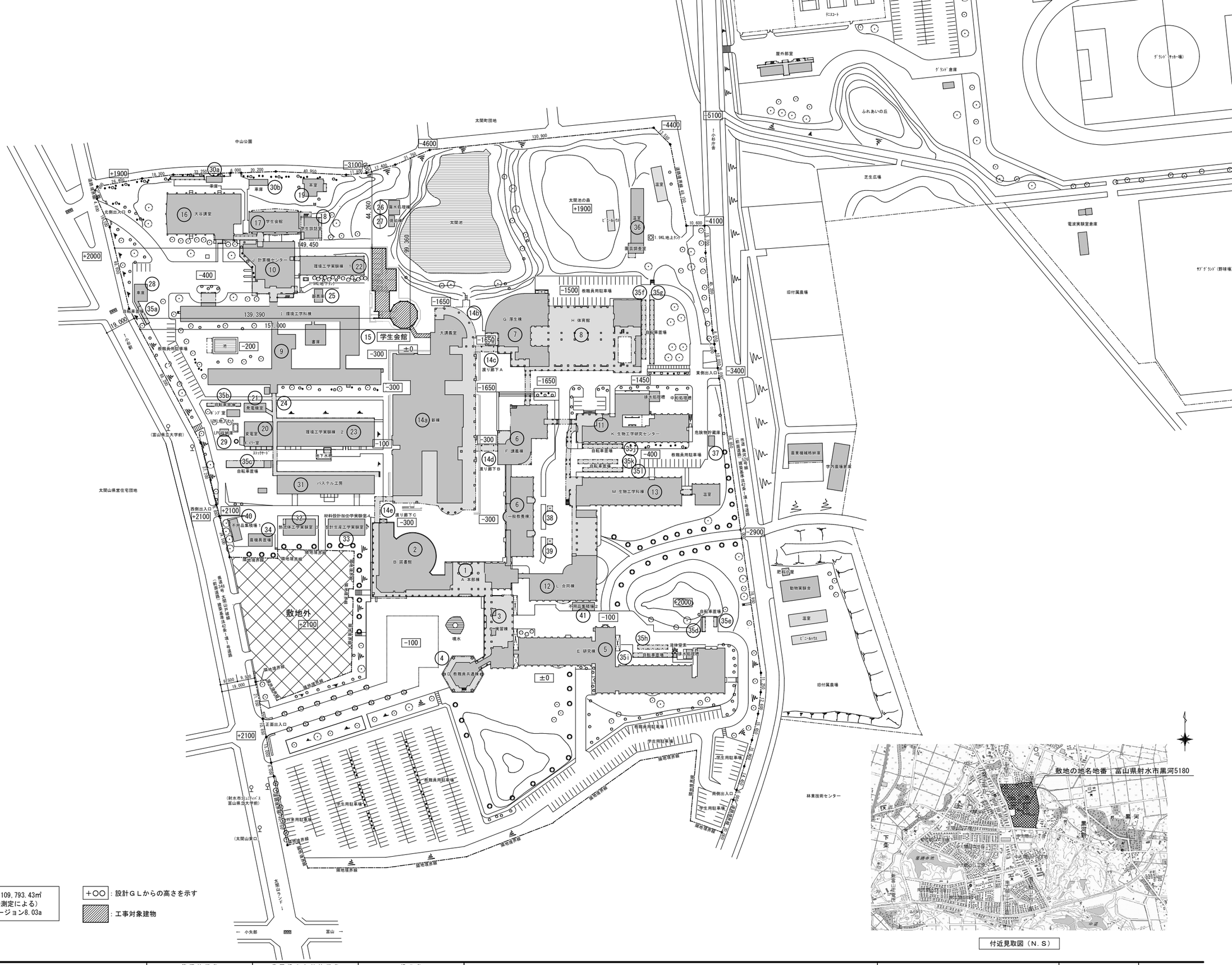
項		工事施工区分	建築	電気	空調	衛生			外構	別途	備考
	4	雨水縦樋末端又は側溝と雨水桝(第一桝)との接続工事	○								
	5	敷地内雨水排水工事(敷地全体に係るもの)	○						○		
	6	雨水側溝、集水桝、暗渠	○						○		
	7	雨水桝、雨水管	○								
	8	同上の集水桝、暗渠、側溝への接続工事	○								
	9	雨水側溝最終桝と会所桝との接続工事	○								
	10	屋内及び敷地内の汚水排水、雑排水工事				○					
	11	汚水桝、雑排水桝及び雑排水接続工事				○					
	12	~~ｸﾞﾘｰｽﾄﾗｯﾌﾟ、ｵｲﾙﾄﾗｯﾌﾟ~~									
便所、浴槽、その他の水廻り	1	~~ｽﾃﾝﾚｽ製流し(ﾄﾗｯﾌﾟ共)、ガス台~~	○								
	2	キッチン、ミニキッチン(レンジフード・換気扇含む)	○								
	3	洗面化粧台	○								
	4	ユニットバス、ユニットシャワー	○								
	5	一般陶器製流し台				○					
	6	洗面カウンター	○								陶器部分は衛生設備工事
	7	~~吊戸棚~~									
	8	タオル掛、雑布掛	○								
	9	紙巻器、トイレ内の補助手摺				○					補強下地は建築工事
	10	ベビーチェア、ベビーシート、多目的シート、フィッテイングボード	○								
	11	特殊鏡	○								
機械室・電気室・マンホール、水槽等	1	~~床下トレンチ及びピット、タラップ、マンホール~~	○								
	2	~~同上換気(通気程度)~~	○								
	3	~~湧水槽、汚水槽、消火設備水源等のRC躯体利用の水槽~~	○								
	4	~~同上オーバフロー管、通気管取付~~				○					
	5	~~発電機及びキュービクル基礎工事(補強筋共)~~	○								
	6	~~同上アンカーボルト箱入れ、穴明け~~		○							
	7	~~機械設備各機器基礎工事(補強筋共)~~	○								
	8	~~同上アンカーボルト箱入れ、穴明け~~			○	○					
	9	~~機械室内消音断熱仕上~~	○								
設備工事等	1	各種機器への電源		○							
	2	各種機器の接地工事		○							
	3	接地極と設備機器との接続	○	○	○	○					
	4	避雷針及び同接地工事		○							
	5	動力制御盤の1次電気配管・配線		○							
	6	動力制御盤の2次側電気配管・配線	○	○	○	○					
	7	中央監視システム			○						
	8	各種機器と中央監視システムとの接続	○		○	○					
	9	LAN機器類								○	
	10	同上用配線、配管工事		○							
	11	入退管理、セキュリティ設備								○	
	12	同上用配線、配管工事		○							
	13	電話交換器，試験台，ＭＤＦ類								○	
	14	同上用直流電源装置，充電器，蓄電池類								○	
	15	同上用配管入線接続工事		○							
	16	電話機及び接続								○	
	17	通信情報設備機器								○	

項		工事施工区分	建築	電気	空調	衛生			外構	別途	備考
ドア等	1	自動ドア(操作盤、スイッチ、感知器、接続共)	○								
	2	同上電源供給及びスイッチへの配管配線		○							
	3	シャッター(操作盤、スイッチ、操作線共)	○								
	4	同上電源供給及び操作盤への接続工事		○							
	5	電気錠(本体)	○								
	6	同上電源供給及び接続工事								○	
	7	カーテンボックス，ブラインドボックス	○								
	8	~~カーテンレール~~									
	9	カーテン及びブラインド								○	
防火戸等	1	防火戸、防火ｼｬｯﾀｰ、防火防煙ｼｬｯﾀｰ、可動式防煙壁、自動閉鎖(開放)装置、動作確認ｽｲｯﾁ、操作ｽｲｯﾁ、ｼｬｯﾀｰ操作ﾎﾞﾀﾝ、ﾏｸﾞﾈｯﾄｽｲｯﾁ間の2次側配管配線結線	○								
	2	同上連動制御盤、電源、予備電源、煙感知器、上記の機器間と防災盤までの電気配管配線		○							
	3	区画貫通処理(防火区画・114条区画等)	○	○	○	○					
防災設備等	1	屋内消火栓箱、連結送水管箱				○					
	2	同上表示ランプ、組込ベル、発信機とその取付工事		○							
	3	消火器ボックス	○								
	4	消火器本体								○	施主にて設置
	5	~~避難器具~~									
エレベータ	1	エレベーター(扉共)	○								
	2	同上用三方枠	○								
	3	同上電源供給及び操作盤との接続工事		○							
	4	同上用インターホン及び入線エレベーター内配管配線		○							
	5	シャフト内の換気設備若しくは空調設備			○						
	6	シャフト内のガラリ、開口	○								
	7	エレベーター監視盤との配管配線	○								
その他	1	床暖房パネル				○					
	2	同上周辺の捨て板	○								

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE
富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体

管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事
矢後 勝 一級建築士登録第186429号	西野 靖仁 一級建築士登録第247715号	島崎 勉 一級建築士登録第344838号	

工事名称 富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号	A-007
図面名称 工事区分表	縮尺 [A1] [A3]	意匠	



・設計GL±0＝ 標高16.43m

敷地面積	109,793.43㎡ （CAD測定による） ※使用CAD:JWWCADバージョン8.03a

＋○○ : 設計ＧＬからの高さを示す

: 工事対象建物

付近見取図（N.S）

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事	工事名称 富山県立大学新棟新築工事	日付	図面番号		
					図面名称 付近見取図・配置図	縮尺 [A1] 1：1000 [A3] 1：2000	意匠	A-008	

□ ２階床面積算定表

■容積算定対象床面積

記号	計算式	㎡
201	12.600 × 6.000	75.600
202	22.050 × 8.000	176.400
203	2.550 × 2.000	5.100
204	2.550 × 3.000	7.650
	合計	264.750
	２階容積算定対象床面積(㎡) ∴	264.75

■容積算定対象外床面積

記号	計算式	㎡
E02	2.550 × 3.000	7.650
	合計	7.650
	２階容積算定対象外床面積(㎡) ∴	7.65

２階延床面積(㎡)	272.4

■構造棟番号別１階床面積

構造棟番号	計(㎡)
構造棟番号０１ 101～104、E01	272.40
構造棟番号０２ 105,106	121.32
構造棟番号０３ 107,108	193.76

■構造棟番号別２階床面積

構造棟番号	計(㎡)
構造棟番号０１ 201～204、E01	272.40

■構造棟番号別床面積

構造棟番号	計(㎡)
構造棟番号０１	544.80
構造棟番号０２	121.32
構造棟番号０３	193.76

□ １階床面積算定表

■容積算定対象床面積

記号	計算式	㎡
101	12.600 × 6.000	75.600
102	22.050 × 8.000	176.400
103	2.550 × 2.000	5.100
104	2.550 × 3.000	7.650
105	12.000 × 8.000	96.000
106	4.000 × 6.330	25.320
107	4.141 × 7.727 × 0.500 × 12.000	191.985
108	4.000 × 0.443	1.772
	合計	579.827
	１階容積算定対象床面積(㎡) ∴	579.83

■容積算定対象外床面積

記号	計算式	㎡
E01	2.550 × 3.000	7.650
	合計	7.650
	１階容積算定対象外床面積(㎡) ∴	7.65

１階延床面積(㎡)	587.48

□ 建築面積算定表

記号	計算式	㎡
101	12.600 × 6.000	75.600
102	22.050 × 8.000	176.400
103	2.550 × 2.000	5.100
104	2.550 × 3.000	7.650
105	12.000 × 8.000	96.000
106	4.000 × 6.330	25.320
107	4.141 × 7.727 × 0.500 × 12.000	191.985
108	4.000 × 0.443	1.772
E01	2.550 × 3.000	7.650
K01	24.600 × 0.200	4.920
K02	12.000 × 0.200	2.400
K03	12.600 × 0.200	2.520
K04	16.000 × 0.900	14.400
K05	4.000 × 2.000	8.000
K06	(4.141 ＋ 4.623) × 0.900 × 0.5×10	39.438
K07	(0.070 ＋ 0.311) × 0.900 × 0.500	0.171
K08	(0.070 ＋ 0.532) × 0.773 × 0.500	0.233
K09	(4.141 ＋ 4.368) × 0.900 × 0.500	3.829
	合計	663.388
	学生会館棟　建築面積(㎡) ∴	663.39

記号	計算式	㎡
K10	(4.200 ＋ 5.430) × 2.130 × 0.500	10.256
K11	(7.400 ＋ 8.630) × 2.130 × 0.500	17.072
	合計	27.328
	渡り廊下棟　建築面積(㎡) ∴	27.33

建築面積　計(㎡)	690.72

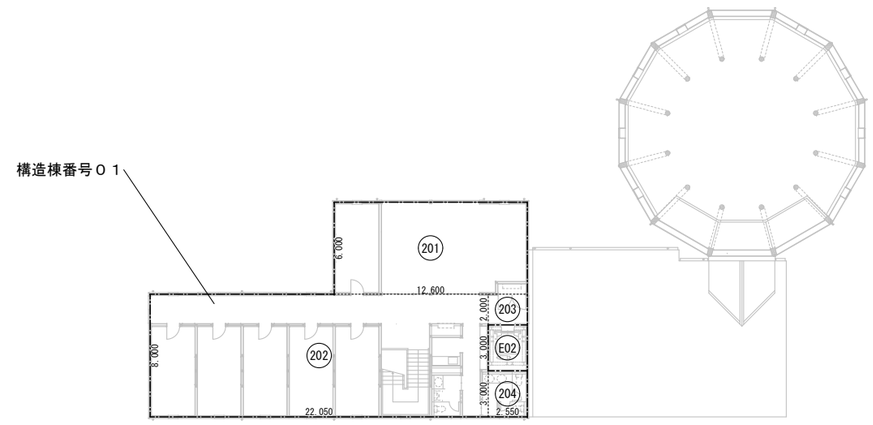
□ 集計表

建築面積　計(㎡)	690.72

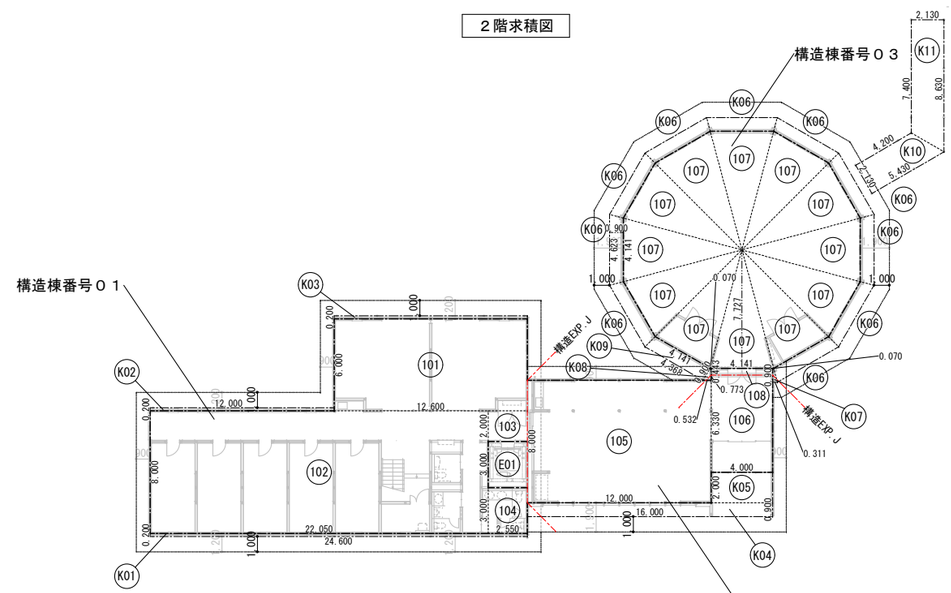
a：容積算定対象床面積		
階		㎡
2		264.75
1		579.83
	容積算定対象床面積(㎡)	844.58

b：容積算定対象外床面積		
階		㎡
2		7.65
1		7.65
	容積算定対象外床面積(㎡)	15.30

a+b：延べ面積
㎡
272.40
587.48
859.88



２階求積図



１階求積図

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事	工事名称　富山県立大学学生会館新築工事 図面名称　面積表、１階・２階 求積図	日付 縮尺 [A1] 1：200 [A3] 1：400	図面番号 意 匠 A-009

■外部仕上表

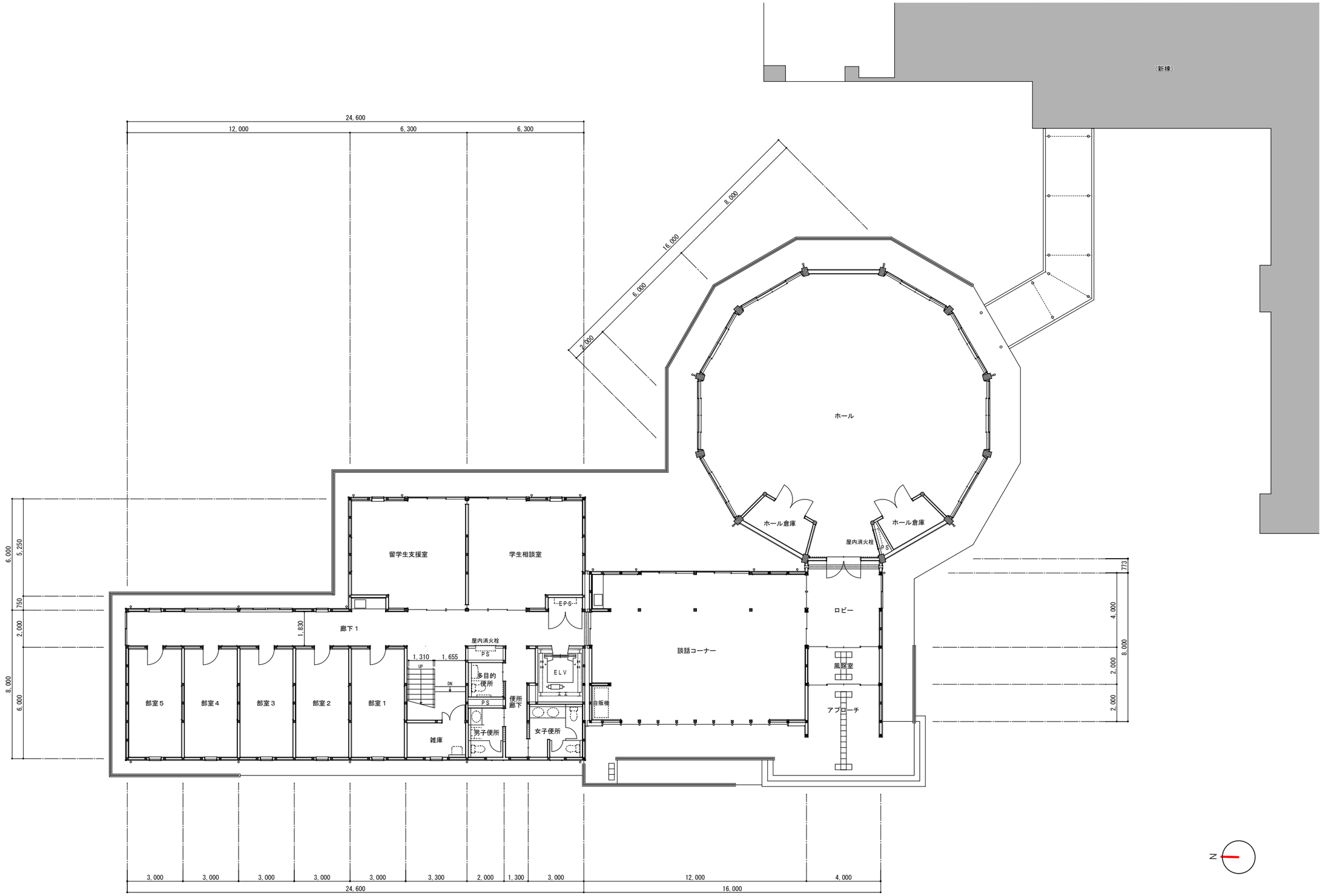
屋根		軒裏		外壁		その他	
ホール棟	t=0.4 耐磨カラーＧＬ鋼板 一文字葺、ＳＵＳ製雪止金具	ホール棟	ＬＧＳ下地、t=6 ケイカル板目透シ ＥＰ	羽目板部	t=15 H=150 県産スギ羽目板（本実加工） 外部用木材保護塗料	小庇	D=900 アルミ複合板パネル庇（耐雪型、サポートポール付）
	t=1.5 改質アスファルトルーフィング、t=15 構造用合板特類		鼻隠・破風：木製 木材保護塗料		通気胴縁、透湿防水シート		D=150 アルミ庇
	垂木（t=75 ポリスチレンフォーム敷込）、t=24 構造用合板特類	部室棟	ＬＧＳ下地、t=6 ケイカル板目透シ ＥＰ		各種水切：t=0.35 耐磨カラーＧＬ鋼板 曲ゲ加工	外構	床：コンクリート洗出シ仕上、コンクリート金ゴテ仕上
部室棟	t=0.4 耐磨カラーＧＬ鋼板 一文字葺、ＳＵＳ製雪止金具		鼻隠・破風：木製 木材保護塗料	サイディング部			段鼻タイル、点字タイル
	t=1.5 改質アスファルトルーフィング、t=15 構造用合板特類	談話棟	ＬＧＳ下地、t=6 ケイカル板目透シ ＥＰ		弾性塗材、t=14 塗壁用サイディング、通気胴縁、透湿防水シート		立上り：コンクリート打放補修、造膜浸透型撥水材
	垂木（t=75 ポリスチレンフォーム敷込）、t=24 構造用合板特類		鼻隠・破風：木製 木材保護塗料		各種水切：t=0.35 耐磨カラーＧＬ鋼板 曲ゲ加工		手スリ：亜鉛メッキ製（スロープ）、亜鉛メッキ製（一般）
談話棟	t=0.4 耐磨カラーＧＬ鋼板 立平葺、亜鉛メッキアングル雪止メ	軒先	軒先換気口	開口部	アルミ製サッシュ（鉄骨用半外、ＲＣ用）		
	t=1.5 改質アスファルトルーフィング、t=15 構造用合板特類	樋	軒樋：塩ビ製	ルーバー	県産スギ 外部用木材保護塗料		
	垂木（t=75 ポリスチレンフォーム敷込）、t=24 構造用合板特類		竪樋：ＶＰ７５、支持金物 @1,200内外	木部表シ	外部用木材保護塗料		
その他	耐磨カラーＧＬ鋼板は、遮熱・耐汚染機能付とする。	その他	構造材表シ部は、木材保護塗料塗とする。	根廻	モルタル刷毛引キ仕上		
	取合役物は、厚み t=0.35とし、屋根材と同材とする。				犬走下：コンクリート打放補修、造膜浸透型撥水材		

■仕上共通事項

断熱・防湿・遮音・その他		使用材料	
断熱	屋根：t=75 押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ敷込（垂木間）	防火上主要間仕切・小屋裏隔壁	
	外壁：t=100 グラスウール24Ｋ建込（間柱間）	木下地 t=9.5+12.5 石膏ボード 両面張	
	t=15 硬質ポリウレタンフォーム２種２号建込（ＣＬＴ壁）		
	１階床下：t=45 ビーズ法ポリスチレンフォーム３号敷込（根太間）	防火認定	t=9.5 石膏ボード QM-9828 t=9.0 岩綿吸音板 NM-8599
	ホール床下：t=30 押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ敷込（根太間）		t=12.5 石膏ボード NM-8619 t=8.0 ケイカル板 NM-8578
	風除室・ホール土間下：t=30 押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ		t=9.5 化粧石膏ボード NM-1864 t=8.0 化粧ケイカル板 NM-8579
防湿	屋根：t=1.5 改質アスファルトルーフィング		t=12.5 耐水石膏ボード QM-9826 t=25 ガラスクロス NM-8606
	外壁：透湿防水シート		
	土間下：t=0.15 ポリエチレンフィルム	参考品番	複合フローリング：ダイケン コミュニケーションタフ ＤＷ
吸音	ホール上部：t=30 ガラスクロス32Ｋ吸音材		ナイロン繊維露出ゴム床タイル：タジマ コントラックＥＣＯ
遮音	天井：t=100 グラスウール24Ｋ敷込（天井上）		床下断熱材：フクビ フクフォーム
	内壁：t=50 グラスウール24Ｋ建込（間柱間）		外装用弾性塗材：アイカ ジョリパット ＪＱ－６５０
その他	屋根野地板、屋根水平構面、２階床水平構面、１階床下地板		内装用珪藻土仕上塗材：フジワラ シルタッチ
	：t=24,15,12 構造用合板は、県産スギ合板を使用すること。		軒樋：クリアールＣＲ１０５

■内部仕上表

区分	室名	床仕上高	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	壁内遮音	廻り縁	天井 下地	天井 仕上	天井 CH	天井遮音	造作材塗装	備考
１階	ホール	±0	t=12 構造用合板特類（床暖パネル：設備工事） t=15 構造用合板特類、鋼製床組（軽運動用）	t=12 ＷＰＣ加工複合フローリング（県産スギ単板、土足仕様、床暖房対応）	木製	110	上部：t=9.5 石膏ボード 下部：木製胴縁	上部：t=25 ガラスクロス吸音材 木製ルーバー 木材保護塗料 下部：t=12 県産スギ羽目板 木材保護塗料	遮音Ｇ	木製	LGS製	t=9.0 岩綿吸音板（t=9.5 石膏ボード捨張） ホール入口：t=9 県産スギ羽目板 木材保護塗料	---		県産スギ 木材保護塗料	木製ルーバー、木製ガラリ
	同上 倉庫	±0	t=15 構造用合板特類、鋼製床組（軽運動用）	t=2.0 ビニル床シート（t=12+9 構造用合板特類捨張）	塩ビ製	60	t=12.5 耐水石膏ボード	t=8.0 ケイカル板 ＥＰ－Ｇ		塩ビ製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,200		県産スギ 木材保護塗料	
	風除室	-20～±0	モルタル金ゴテ	t=11 ナイロン繊維露出ゴム床タイル	木製	110	木製胴縁	t=12 県産スギ羽目板 木材保護塗料		木製	LGS製	t=9 県産スギ羽目板 木材保護塗料	2,500		県産スギ 木材保護塗料	ＳＵＳグレーチング、点字鋲
	ロビー	±0	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束）	t=12 ＷＰＣ加工複合フローリング（県産スギ単板、土足仕様）	木製	110	木製胴縁	t=12 県産スギ羽目板 木材保護塗料		木製	LGS製	t=9 県産スギ羽目板 木材保護塗料	2,500		県産スギ 木材保護塗料	ＥＸＰＪ
	談話コーナー	±0	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束）	t=15 ＷＰＣ加工複合フローリング（県産スギ単板、土足仕様）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード 内装用珪藻土仕上塗材		木製	LGS製	t=9.0 岩綿吸音板（t=9.5 石膏ボード捨張）	2,650		県産スギ 木材保護塗料	木製カウンター（ＳＵＳシンク共）
	学生相談室	±0	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束）	t=6.8 タイルカーペット（t=9 構造用合板特類捨張）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.0 岩綿吸音板（t=9.5 石膏ボード捨張）	2,500		県産スギ 木材保護塗料	
	留学生支援室	±0	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束）	t=6.8 タイルカーペット（t=9 構造用合板特類捨張）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.0 岩綿吸音板（t=9.5 石膏ボード捨張）	2,500		県産スギ 木材保護塗料	
	部室１～５	±0	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束）	t=2.0 ビニル床シート（t=9 構造用合板特類捨張）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,500		県産スギ 木材保護塗料	
	男子便所	±0	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束）	t=2.0 超防汚性ビニル床シート（t=9 構造用合板特類捨張）	塩ビ製	60	t=12.5 耐水石膏ボード	t=8.0 化粧ケイカル板	遮音Ｇ	塩ビ製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,400	遮音Ｇ	県産スギ 木材保護塗料	木製カウンター、木製面台、汚垂石
	女子便所	±0	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束）	t=2.0 超防汚性ビニル床シート（t=9 構造用合板特類捨張）	塩ビ製	60	t=12.5 耐水石膏ボード	t=8.0 化粧ケイカル板	遮音Ｇ	塩ビ製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,400	遮音Ｇ	県産スギ 木材保護塗料	木製カウンター、木製面台
	身障者便所	±0	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束）	t=2.0 超防汚性ビニル床シート（t=9 構造用合板特類捨張）	塩ビ製	60	t=12.5 耐水石膏ボード	t=8.0 化粧ケイカル板	遮音Ｇ	塩ビ製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,400	遮音Ｇ	県産スギ 木材保護塗料	木製面台
	便所前通路	±0	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束）	t=12 ＷＰＣ加工複合フローリング（県産スギ単板、土足仕様）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.0 岩綿吸音板（t=9.5 石膏ボード捨張）	2,500		県産スギ 木材保護塗料	
	雑庫	-360	モルタル金ゴテ	t=2.0 ビニル床シート	モルタル	160	t=12.5 耐水石膏ボード	t=8.0 ケイカル板 ＥＰ－Ｇ		塩ビ製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,060		県産スギ 木材保護塗料	
	ＥＰＳ	±0	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束）	t=2.0 ビニル床シート（t=9 構造用合板特類捨張）	塩ビ製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード		塩ビ製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,500		県産スギ 木材保護塗料	
	廊下	±0	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束）	t=12 ＷＰＣ加工複合フローリング（県産スギ単板、土足仕様）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,500		県産スギ 木材保護塗料	木製カウンター（ＳＵＳシンク共）
	階段	±0,-360	t=15 構造用合板特類、木軸床組（鋼製床束） モルタル金ゴテ	t=12 ＷＰＣ加工複合フローリング（県産スギ単板、土足仕様） t=2.0 ビニル床シート	木製 モルタル	60 160	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	3,000 2,500		県産スギ 木材保護塗料	木製階段、木製手スリ
	ＥＬＶシャフト	-1,250	―――――	防水モルタル金ゴテ仕上（立上り共）	―――	---	―――――	t=12.5 石膏ボード	遮音Ｇ	―――	―――	―――――	---			乗用ＥＬＶ
２階	学生会室	±0	t=24 構造用合板特類	t=6.8 タイルカーペット（t=9 構造用合板特類捨張）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.0 岩綿吸音板（t=9.5 石膏ボード捨張）	2,500		県産スギ 木材保護塗料	
	部室６～１０	±0	t=24 構造用合板特類	t=2.0 ビニル床シート（t=9 構造用合板特類捨張）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,500		県産スギ 木材保護塗料	
	倉庫	±0	t=24 構造用合板特類	t=2.0 ビニル床シート（t=9 構造用合板特類捨張）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,500		県産スギ 木材保護塗料	
	男子便所	±0	t=24 構造用合板特類	t=2.0 超防汚性ビニル床シート（t=9 構造用合板特類捨張）	塩ビ製	60	t=12.5 耐水石膏ボード	t=8.0 化粧ケイカル板	遮音Ｇ	塩ビ製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,400	遮音Ｇ	県産スギ 木材保護塗料	木製カウンター、木製面台、汚垂石
	女子便所	±0	t=24 構造用合板特類	t=2.0 超防汚性ビニル床シート（t=9 構造用合板特類捨張）	塩ビ製	60	t=12.5 耐水石膏ボード	t=8.0 化粧ケイカル板	遮音Ｇ	塩ビ製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,400	遮音Ｇ	県産スギ 木材保護塗料	木製カウンター、木製面台
	給湯室	±0	t=24 構造用合板特類	t=12 ＷＰＣ加工複合フローリング（県産スギ単板、土足仕様）	木製	60	t=12.5 耐水石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,400		県産スギ 木材保護塗料	木製カウンター（ＳＵＳシンク共）
	便所前通路	±0	t=24 構造用合板特類	t=12 ＷＰＣ加工複合フローリング（県産スギ単板、土足仕様）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.0 岩綿吸音板（t=9.5 石膏ボード捨張）	2,500		県産スギ 木材保護塗料	木製ベンチ
	ＥＰＳ	±0	t=24 構造用合板特類	t=2.0 ビニル床シート（t=9 構造用合板特類捨張）	塩ビ製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード		塩ビ製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,500		県産スギ 木材保護塗料	
	廊下	±0	t=24 構造用合板特類	t=12 ＷＰＣ加工複合フローリング（県産スギ単板、土足仕様）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,500		県産スギ 木材保護塗料	
	階段	±0	t=24 構造用合板特類	t=12 ＷＰＣ加工複合フローリング（県産スギ単板、土足仕様）	木製	60	t=9.5 石膏ボード	t=12.5 石膏ボード ＥＰ		木製	LGS製	t=9.5 化粧石膏ボード	2,500		県産スギ 木材保護塗料	木製階段、木製手スリ
	ＥＬＶシャフト	---	―――――	―――――	―――	---	―――――	t=12.5 石膏ボード	遮音Ｇ	―――	―――	―――――	---			乗用ＥＬＶ
その他																



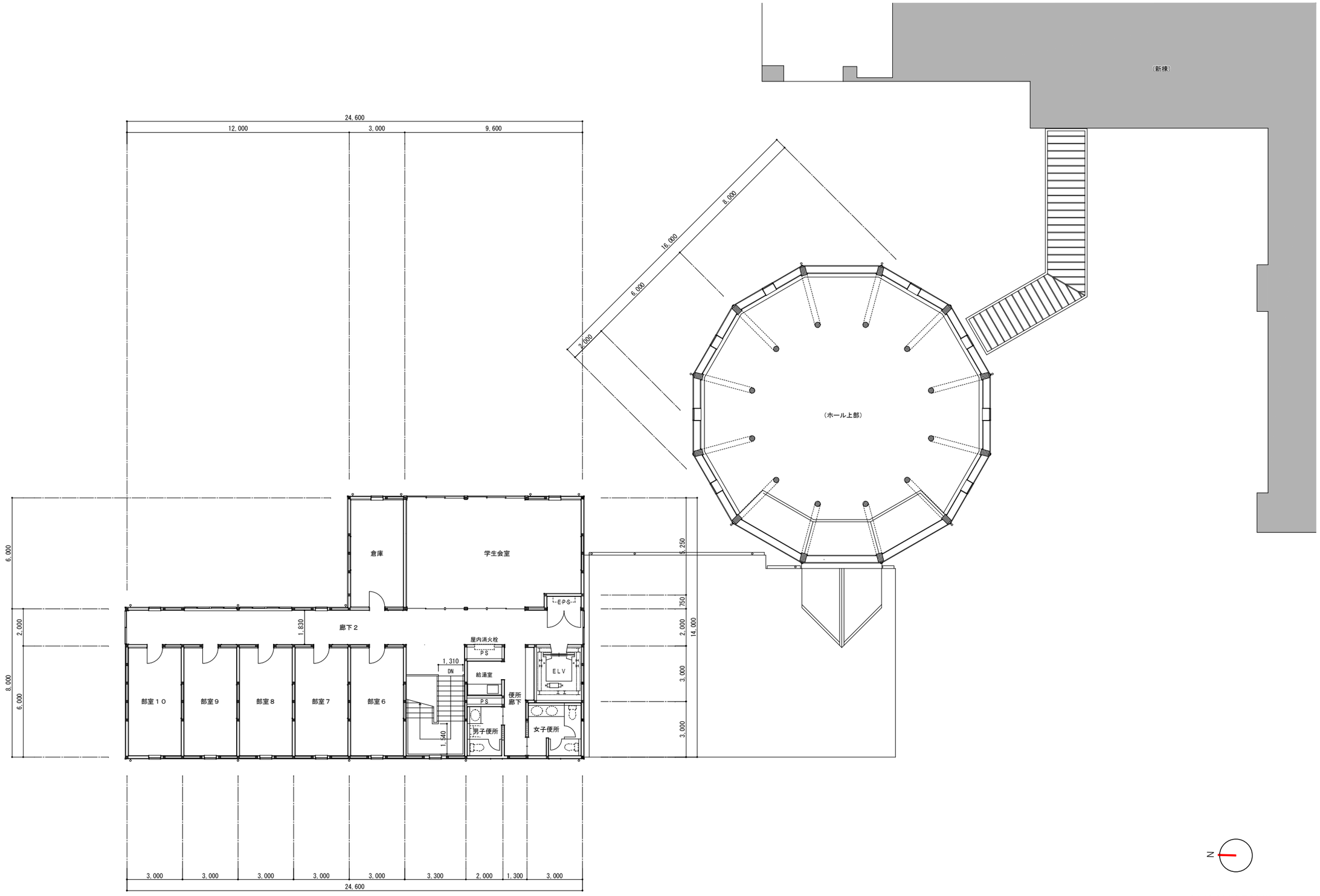
■室内空気中化学物質濃度測定

	室名	箇所数
1階	部室１	1
	廊下１	2
	留学生支援室	1
	談話コーナー	2
	ホール	2
2階	部室１０	2
	倉庫	2

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE
富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体

管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事
矢後 勝 一級建築士登録第186429号	西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	島崎 勉 一級建築士登録第344838号	

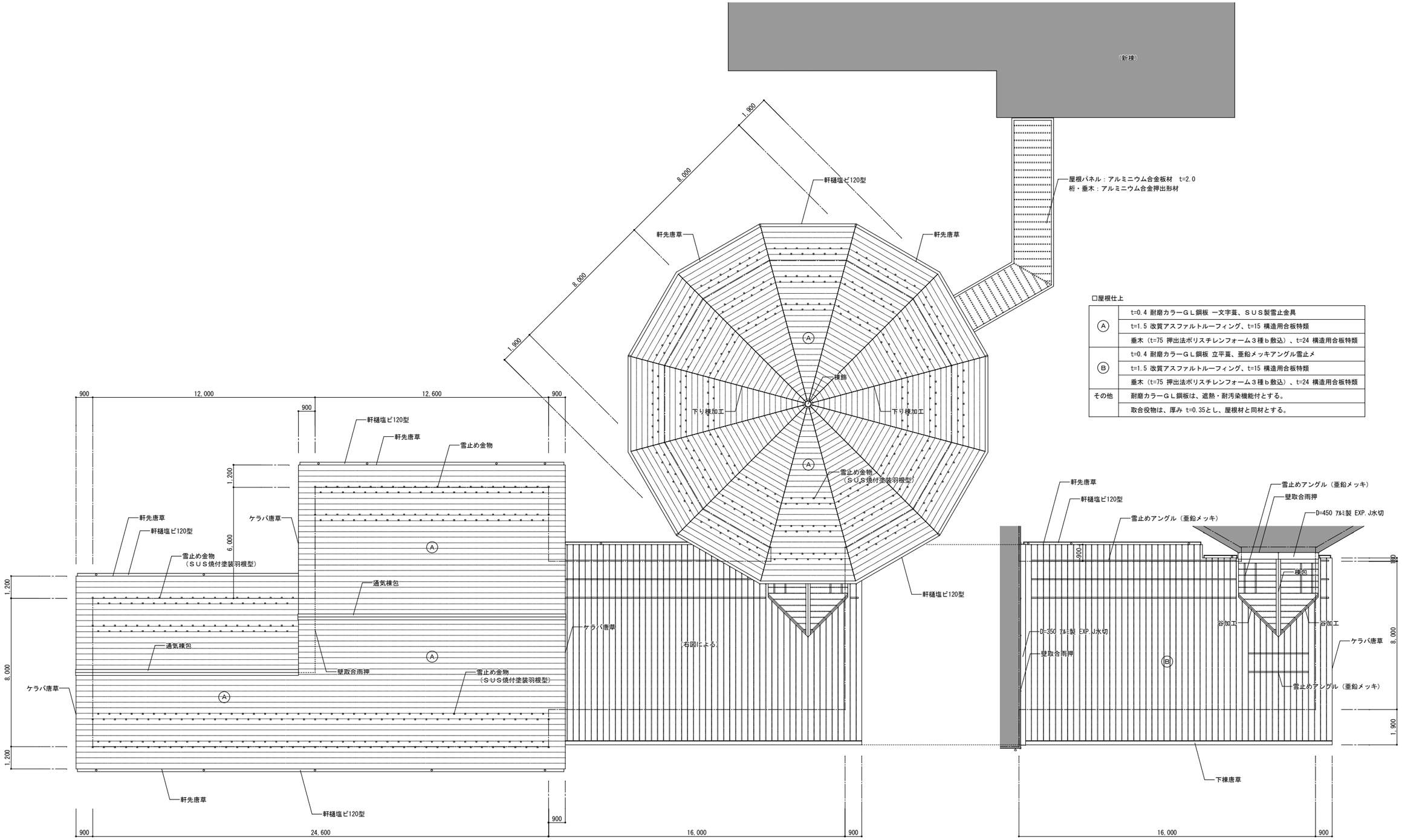
工事名称	富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
図面名称	１階平面図	縮尺 [A1] 1：100 [A3] 1：200	意匠 A-011



■室内空気中化学物質濃度測定

	室名	箇所数
1階	部室１	1
	廊下１	2
	留学生支援室	1
	談話コーナー	2
	ホール	2
2階	部室１０	2
	倉庫	2

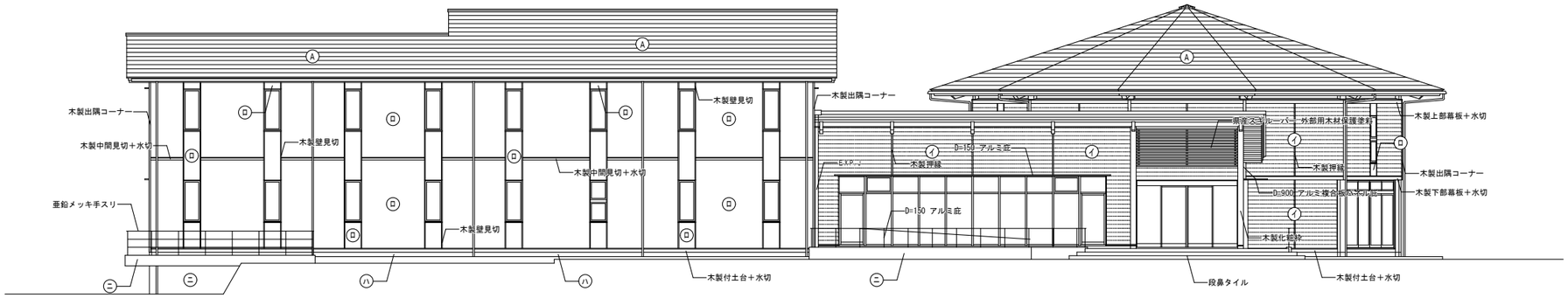
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事 図面名称 ２階平面図	日付 縮尺 [A1] 1：100 [A3] 1：200	図面番号 意匠	A-012

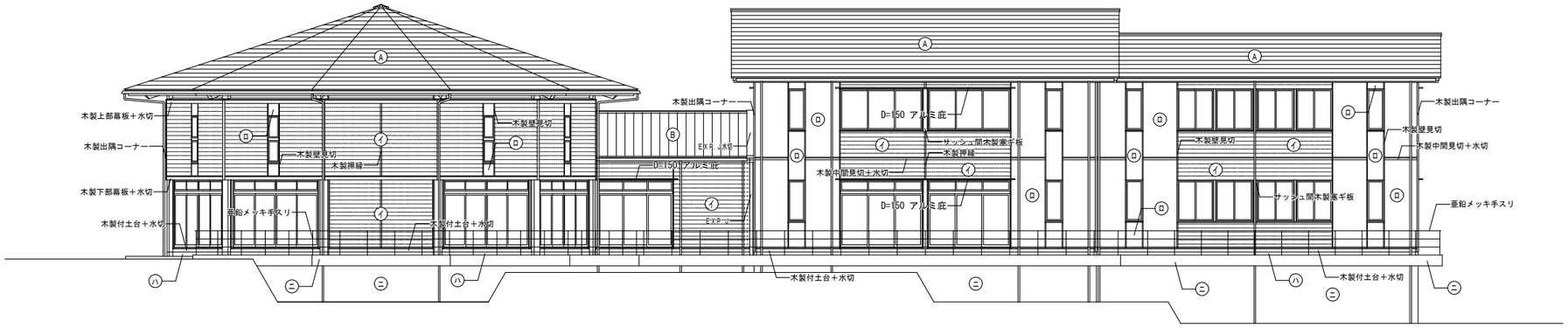


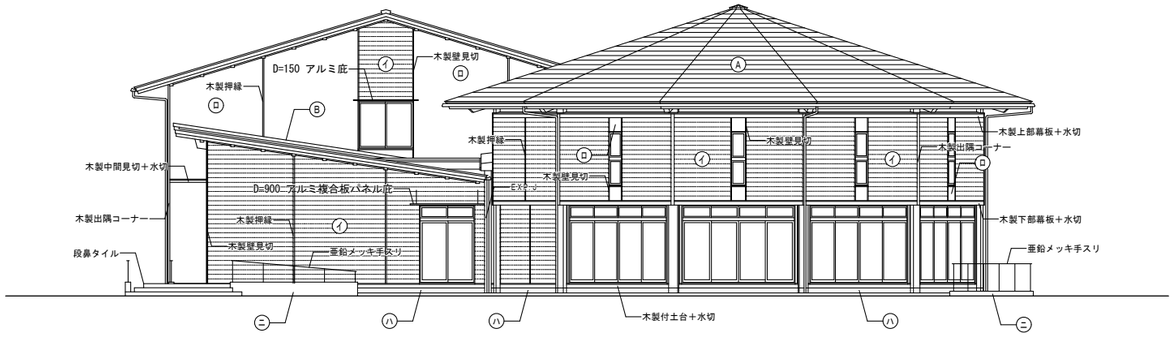
□屋根仕上

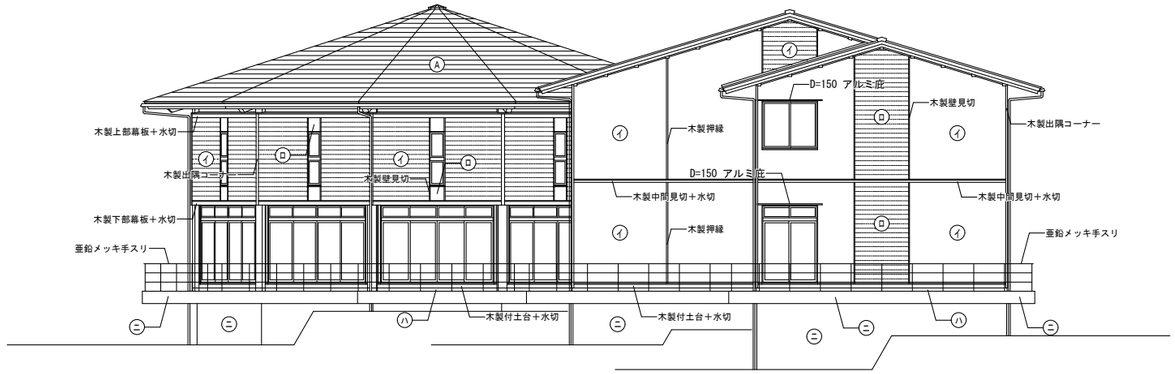
Ⓐ	t=0.4 耐磨カラーＧＬ鋼板 一文字葺、ＳＵＳ製雪止金具
	t=1.5 改質アスファルトルーフィング、t=15 構造用合板特類
	垂木（t=75 押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ敷込）、t=24 構造用合板特類
Ⓑ	t=0.4 耐磨カラーＧＬ鋼板 立平葺、亜鉛メッキアングル雪止メ
	t=1.5 改質アスファルトルーフィング、t=15 構造用合板特類
	垂木（t=75 押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ敷込）、t=24 構造用合板特類
その他	耐磨カラーＧＬ鋼板は、遮熱・耐汚染機能付とする。
	取合役物は、厚み t=0.35とし、屋根材と同材とする。

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事	工事名称　富山県立大学学生会館新築工事 図面名称　屋根伏図	日付 縮尺 [A1] 1：100 [A3] 1：200	図面番号 意匠 A-013







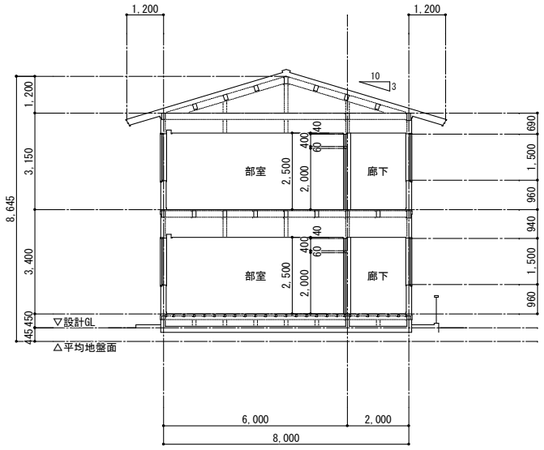


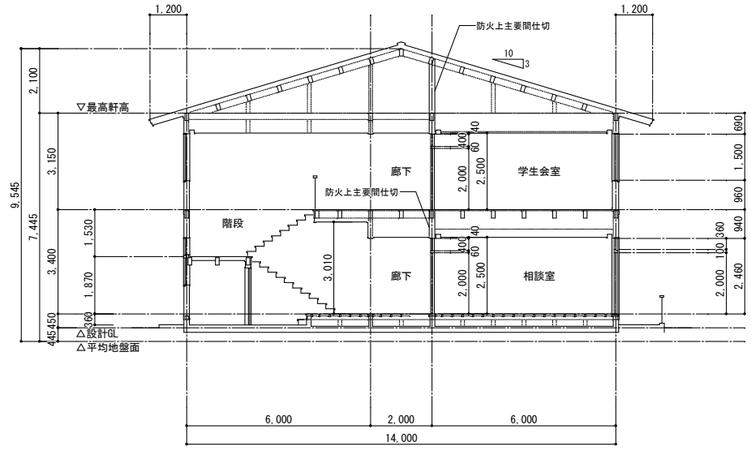
符　号	仕　　上
A	t=0.4 耐磨カラーＧＬ鋼板 一文字葺、ＳＵＳ製雪止金具
	t=1.5 改質アスファルトルーフィング、t=15 構造用合板特類
	垂木（t=75 ポリスチレンフォーム敷込）、t=24 構造用合板特類
B	t=0.4 耐磨カラーＧＬ鋼板 立平葺、亜鉛メッキアングル雪止メ
	t=1.5 改質アスファルトルーフィング、t=15 構造用合板特類
	垂木（t=75 ポリスチレンフォーム敷込）、t=24 構造用合板特類
屋根廻リ	鼻隠・破風：木製 木材保護塗料、軒先換気口
	軒樋：塩ビ製
	竪樋：ＶＰ７５、支持金物 @1,200内外
イ	t=15 H=150 県産スギ羽目板（本実加工） 外部用木材保護塗料
	通気胴縁、透湿防水シート
	各種水切：t=0.35 耐磨カラーＧＬ鋼板 曲ゲ加工
ロ	弾性塗材、t=14 塗壁用サイディング、通気胴縁、透湿防水シート
	各種水切：t=0.35 耐磨カラーＧＬ鋼板 曲ゲ加工
ハ	モルタル刷毛引キ仕上
ニ	コンクリート打放補修、造膜浸透型撥水材
外壁廻リ	木表シ部は、木材保護塗料塗とする。

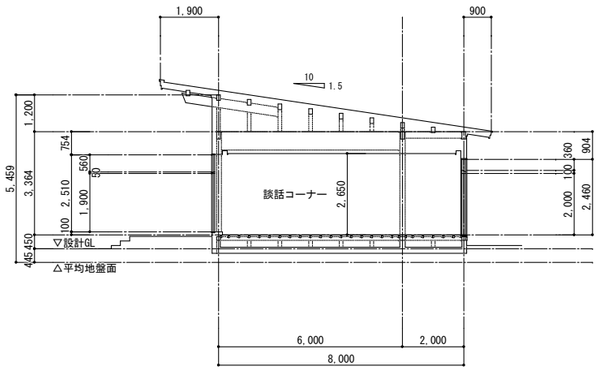
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE
富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体

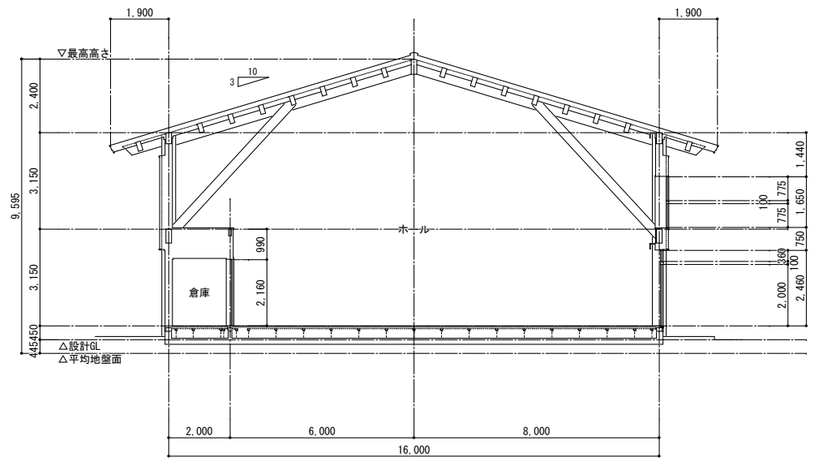
管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事
矢 後 勝 一級建築士登録第186429号	西 野 晴 仁 一級建築士登録第247715号	島 崎 勉 一級建築士登録第344838号	

工事名称	富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
図面名称	立面図	縮尺 [A1] 1：100 [A3] 1：200	意 匠 A-014









	管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	矢 後 勝 一級建築士登録第186429号	西 野 晴 仁 一級建築士登録第247715号	島 崎 勉 一級建築士登録第344838号		図面名称 断面図	縮尺 [A1] 1：100 [A3] 1：200	A-015 意 匠

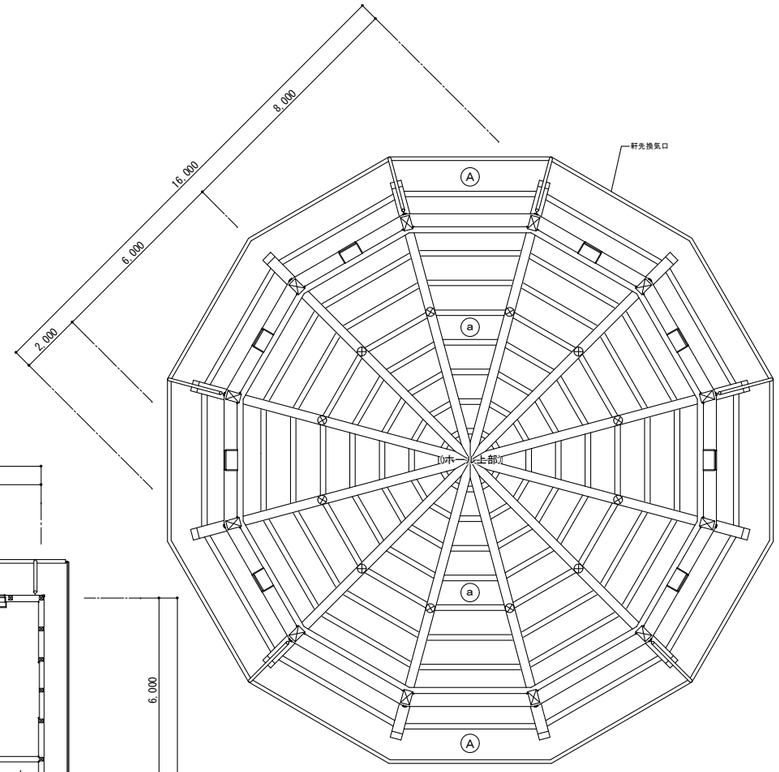
■天井仕上

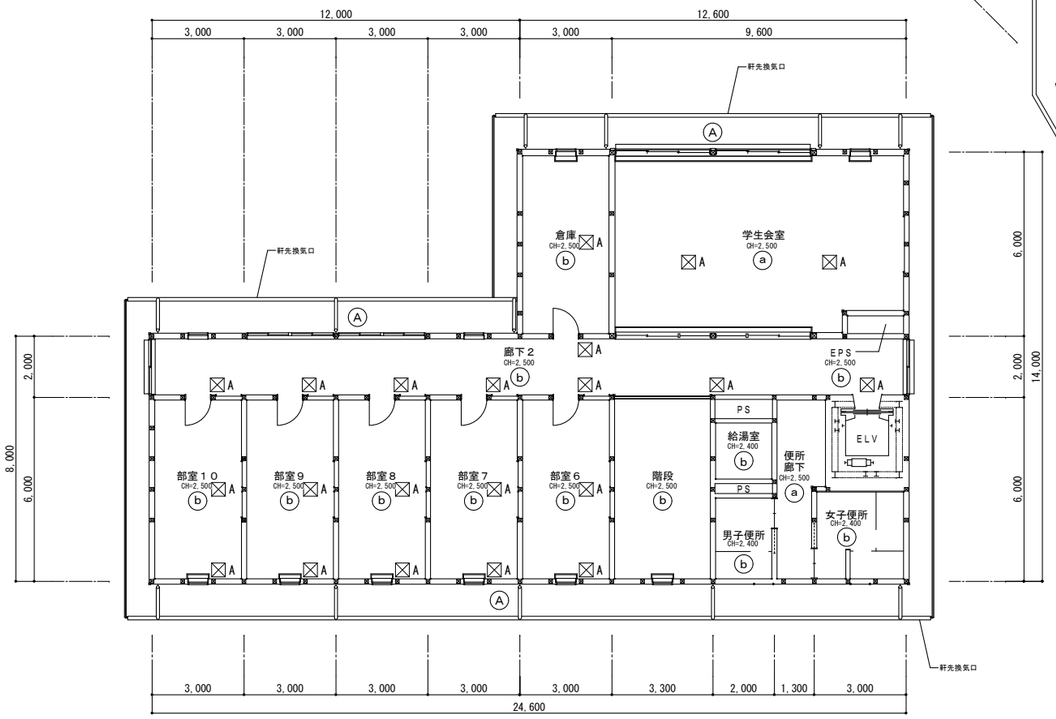
ⓐ	t=9.0 岩綿吸音板（t=9.5 石膏ボード捨張）
ⓑ	t=9.5 化粧石膏ボード
ⓒ	t=9.0 県産スギ羽目板 木材保護塗料
Ⓐ	t=6.0 ケイカル板目透シ ＥＰ－Ｇ
	※木部表し：外部用木材保護塗料

■天井開口

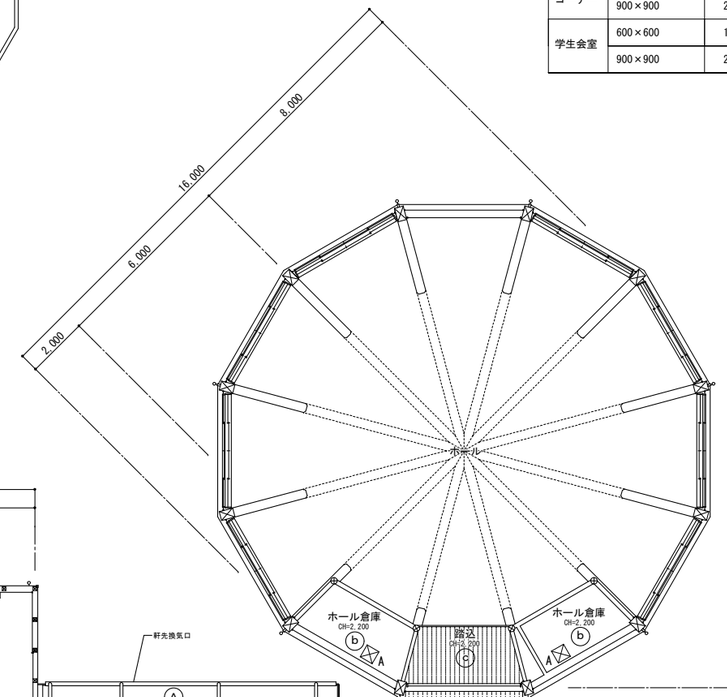
⊠A	450×450 天井点検口 目地タイプ

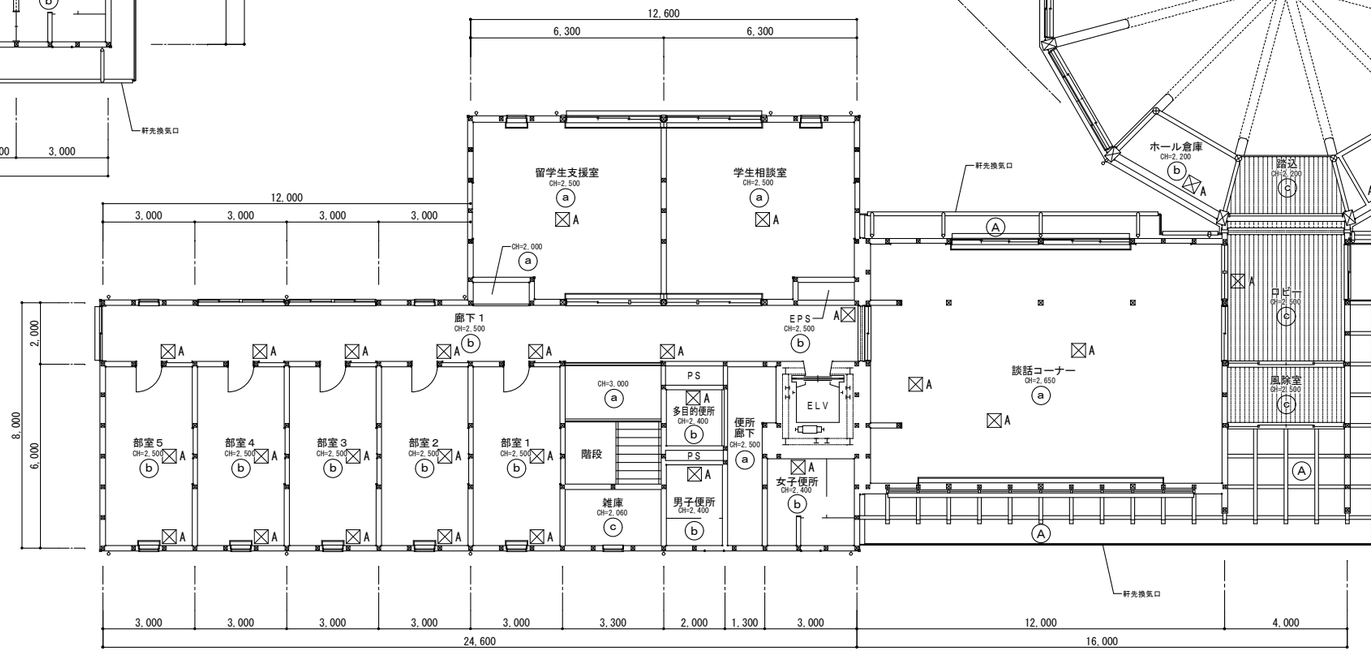
部室１	1,250×640	1箇所
部室２	1,250×640	1箇所
部室３	1,250×640	1箇所
部室４	1,250×640	1箇所
部室５	1,250×640	1箇所
部室６	1,250×640	1箇所
部室７	1,250×640	1箇所
部室８	1,250×640	1箇所
部室９	1,250×640	1箇所
部室１０	1,250×640	1箇所
留学生支援室	600×600	1箇所
	900×900	1箇所
学生相談室	600×600	1箇所
	900×900	1箇所
談話コーナー	1,100×280	2箇所
	900×900	2箇所
学生会室	600×600	1箇所
	900×900	2箇所





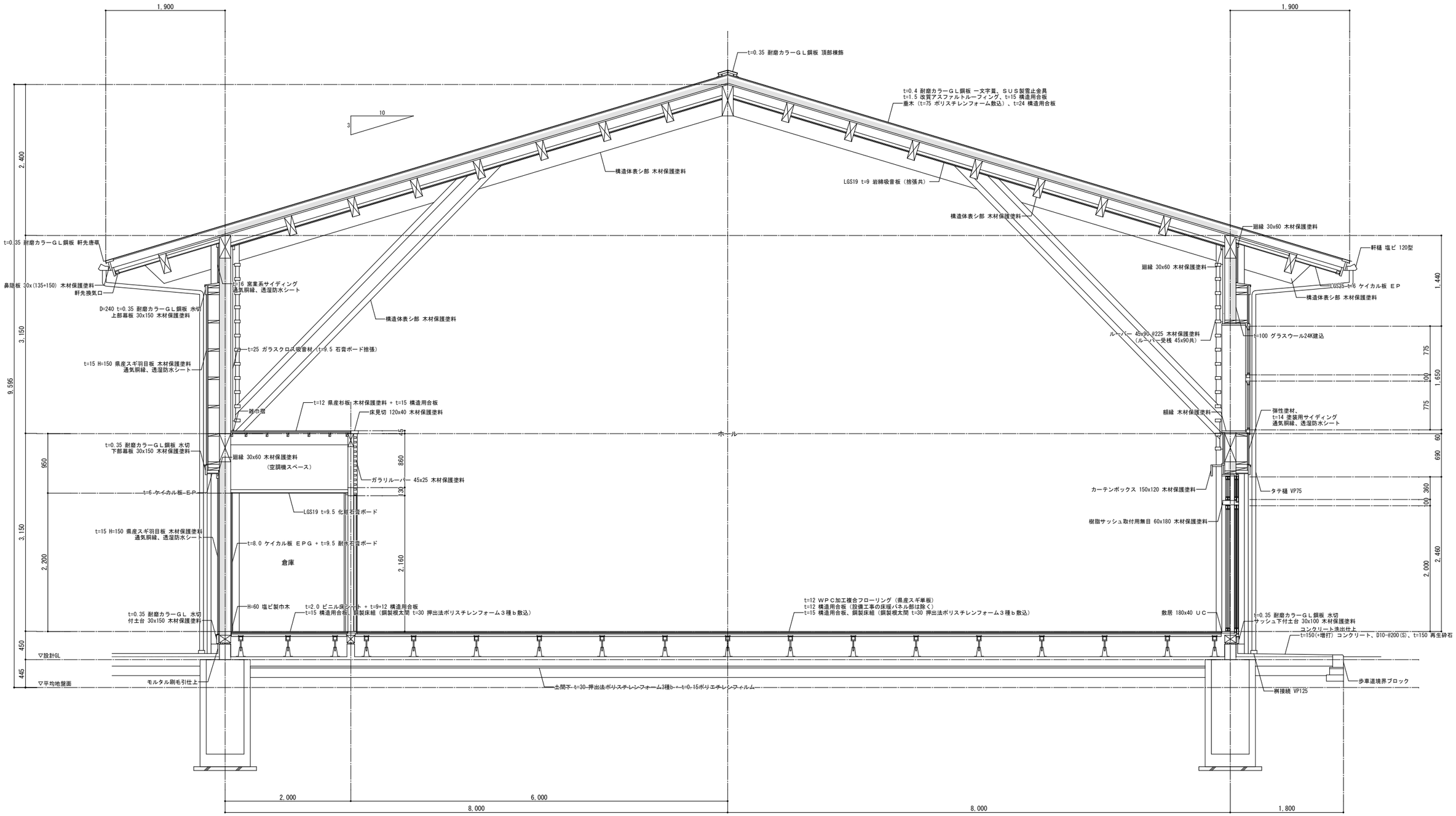
２階天井伏図　1：100



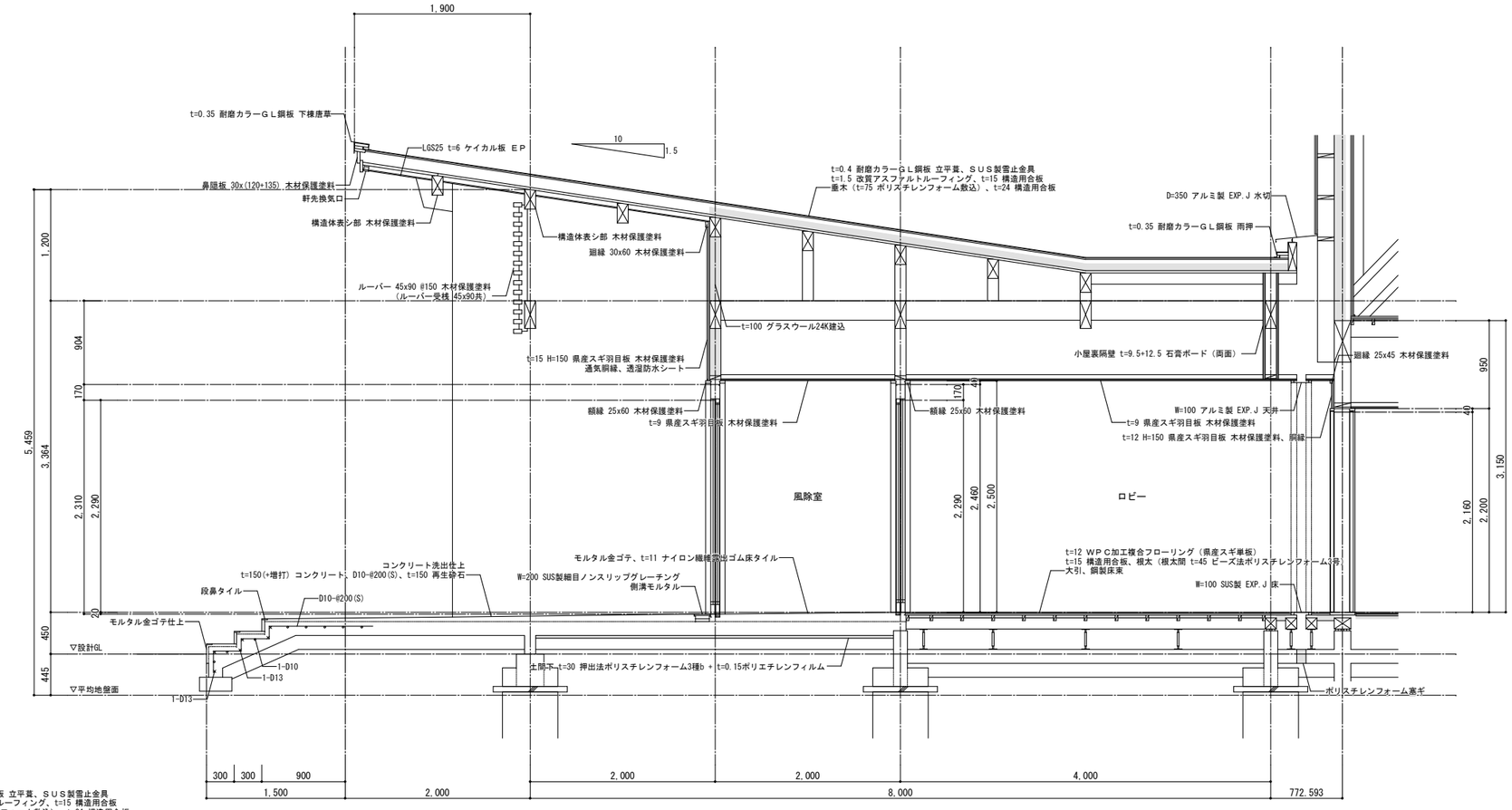


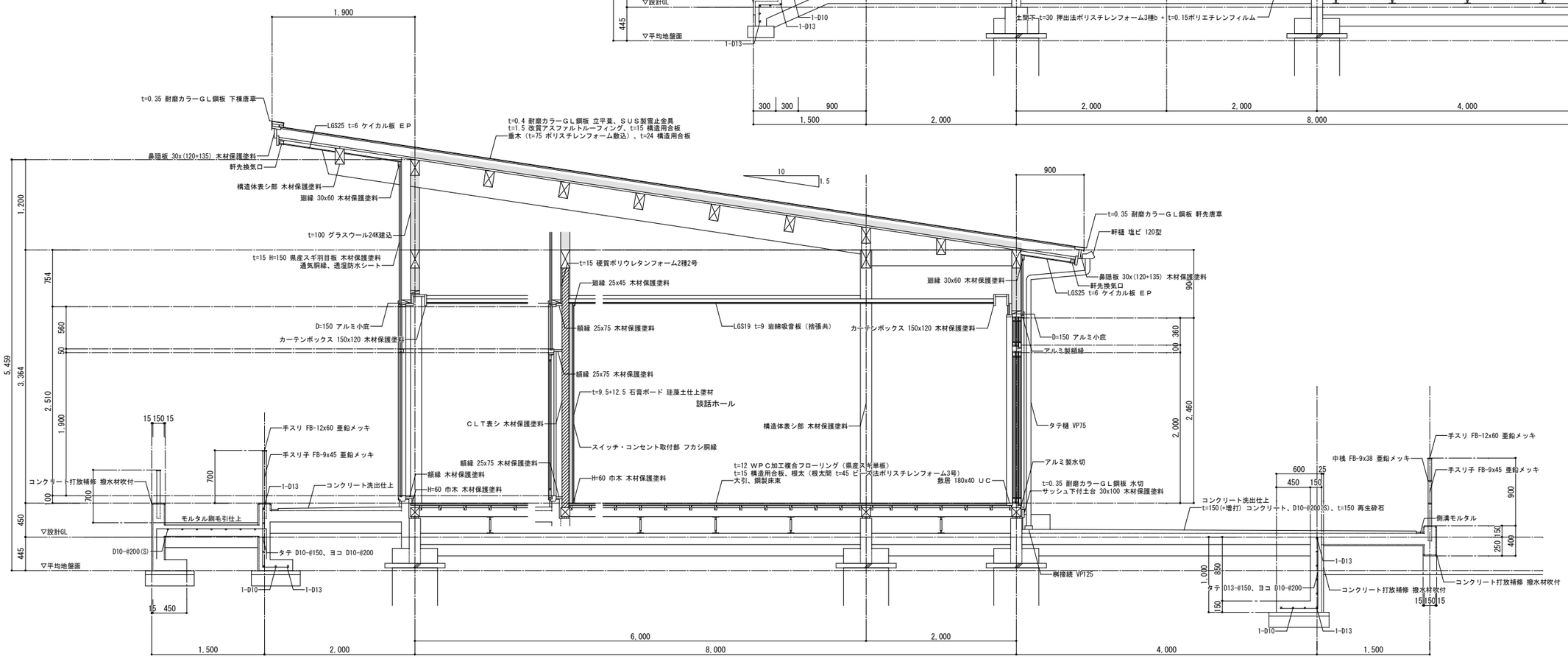
１階天井伏図　1：100

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 靖仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事	工事名称　富山県立大学学生会館新築工事 図面名称　天井伏図	日付 縮尺　[A1] 1=100 [A3] 1=200	図面番号 意匠　A-016

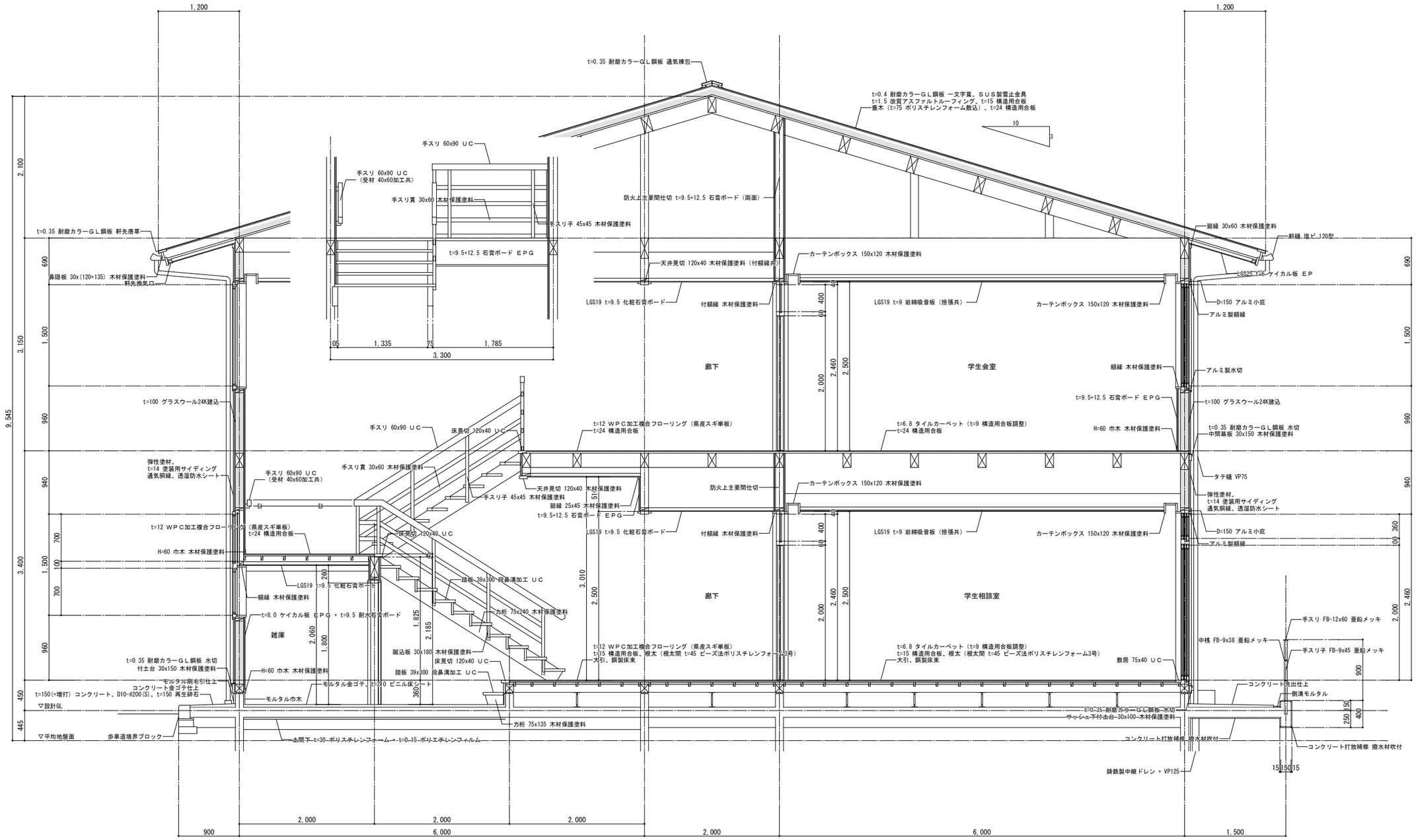


	管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	矢後 勝 一級建築士登録第186429号	西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	島崎 勉 一級建築士登録第344838号		図面名称 断面詳細図０１	縮尺 [A1] 1：30 [A3] 1：60	A-017 意匠

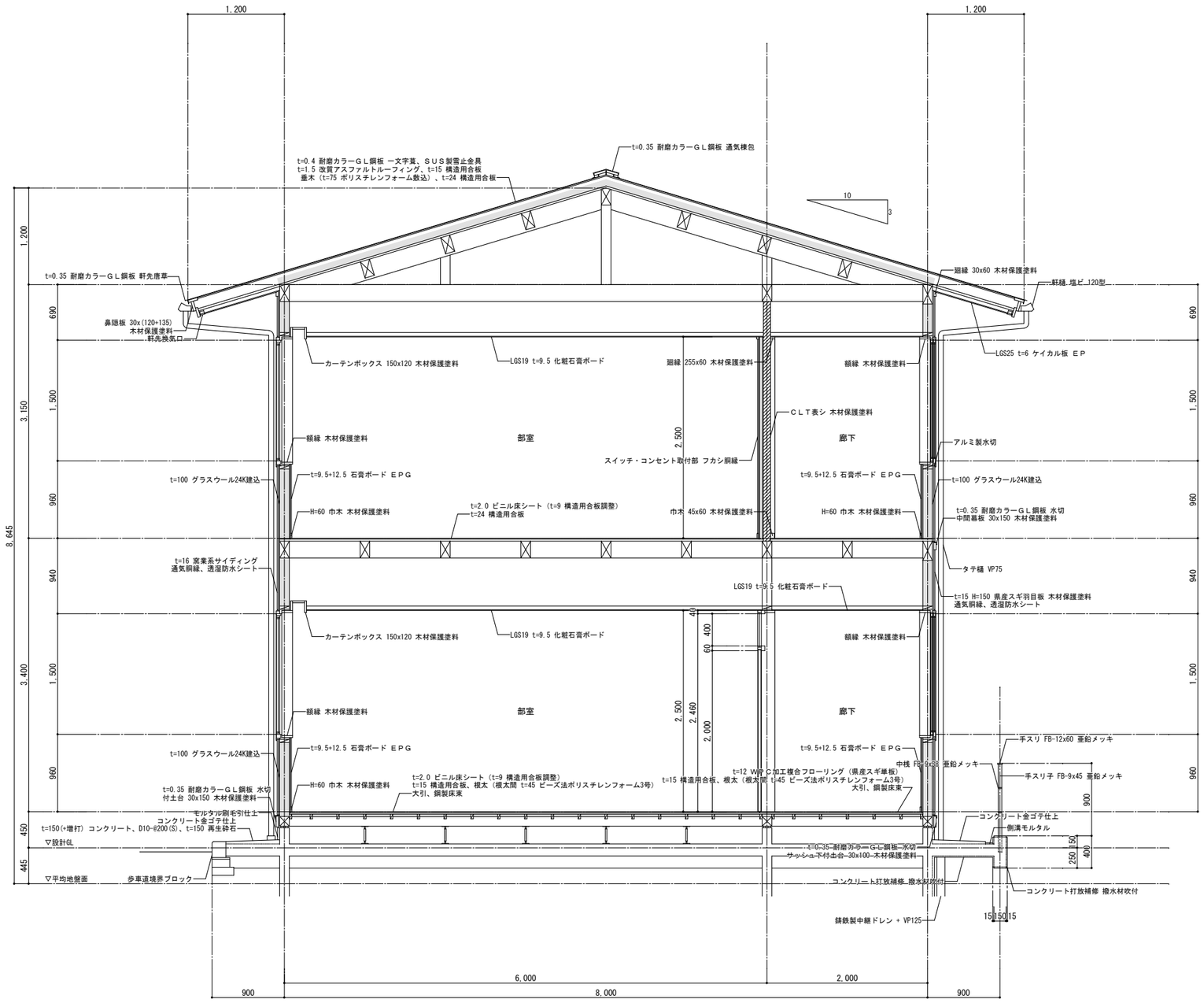


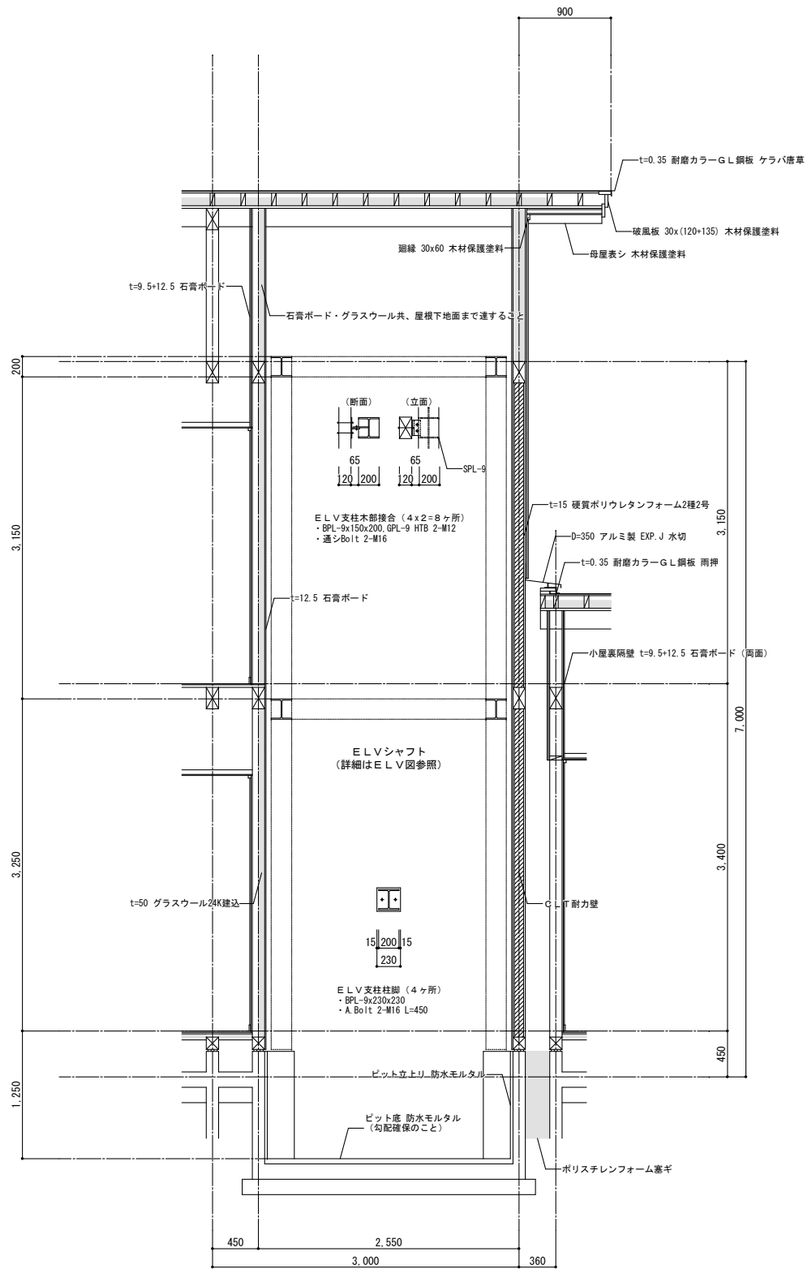


	管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	矢 後 勝 一級建築士登録第186429号	西 野 晴 仁 一級建築士登録第247715号	島 崎 勉 一級建築士登録第344838号		図面名称 断面詳細図０２	縮尺 [A1] 1：30 [A3] 1：60	A-018 意 匠

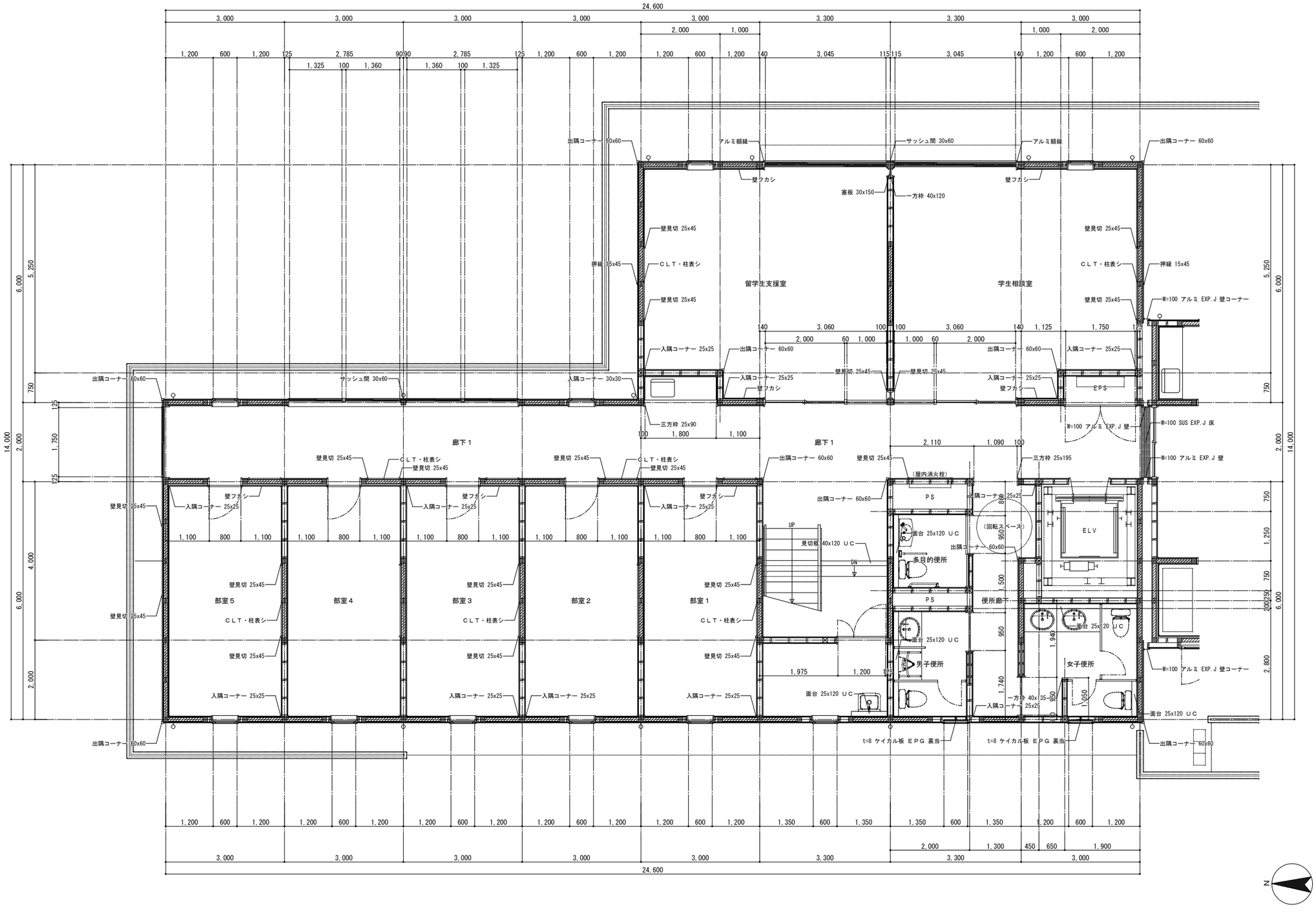


	管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	矢後 勝 一級建築士登録第186429号	西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	島崎 勉 一級建築士登録第344838号		図面名称 断面詳細図０３	縮尺 [A1] 1：30 [A3] 1：60	A-019 意匠



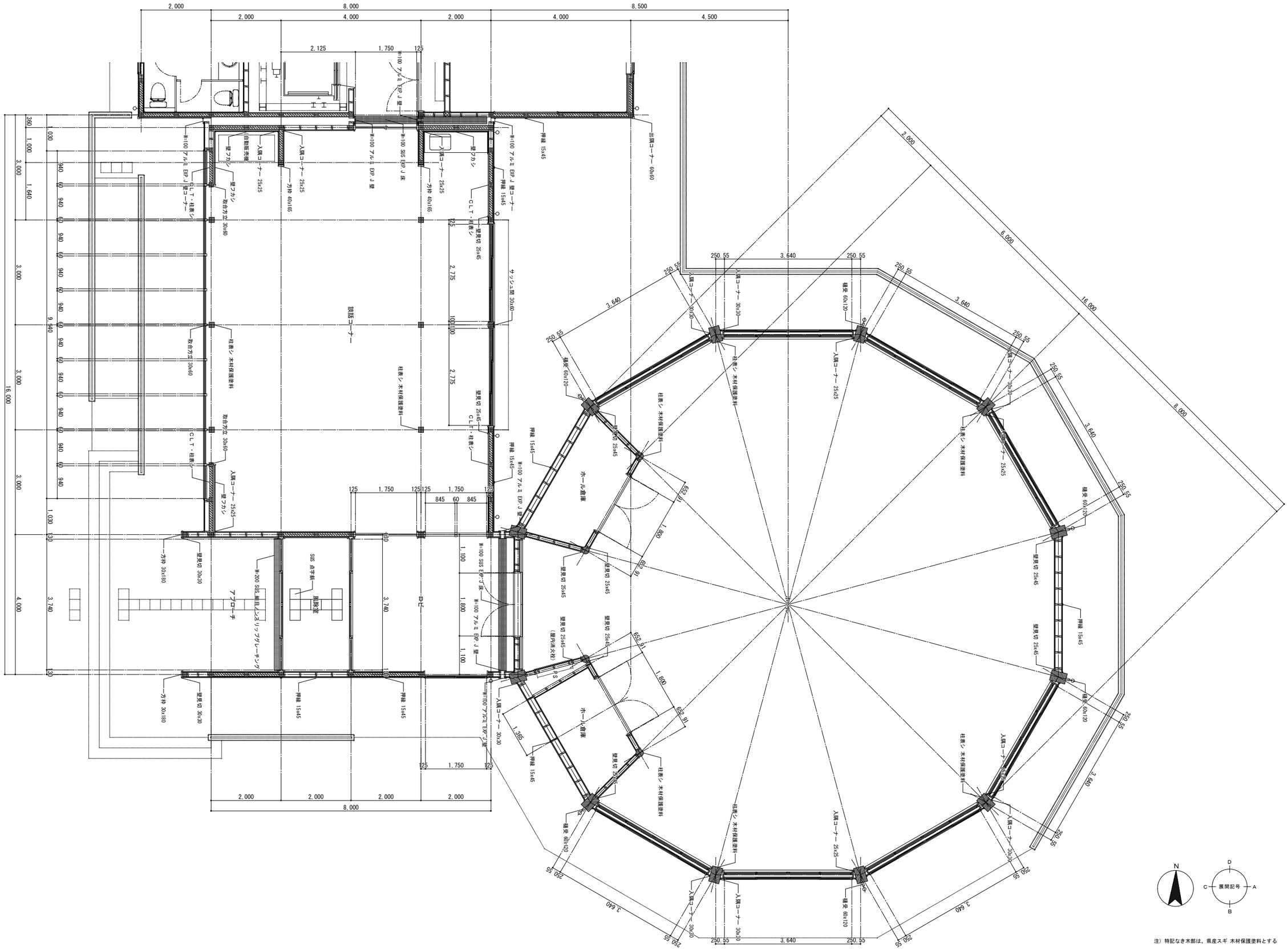


	管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	矢 後 勝 一級建築士登録第186429号	西 野 晴 仁 一級建築士登録第247715号	島 崎 勉 一級建築士登録第344838号		図面名称 断面詳細図０４	縮尺 [A1] 1：30 [A3] 1：60	A-020 意 匠



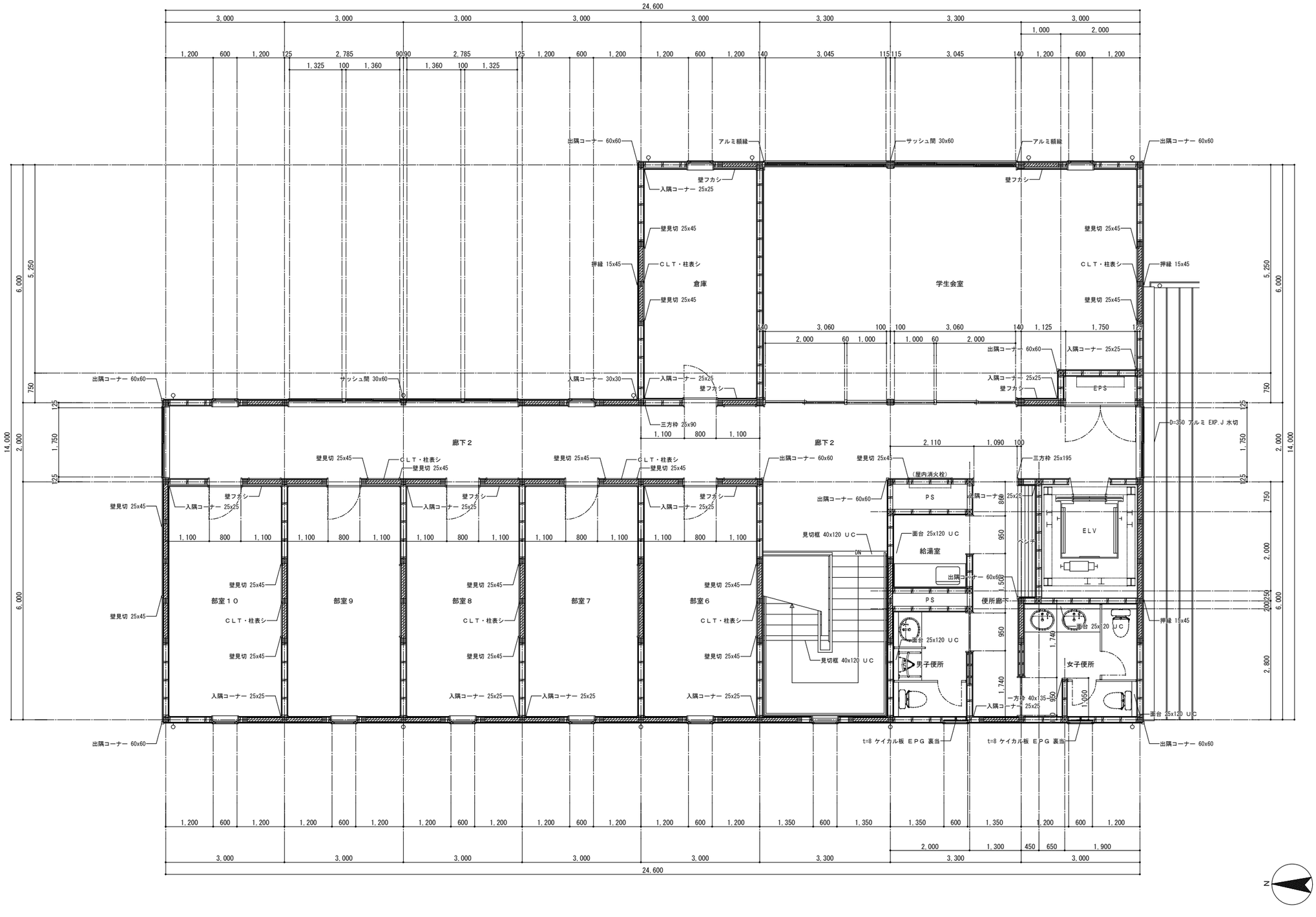
注）特記なき木部は、県産スギ 木材保護塗料とする

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事 図面名称 １階平面詳細図０１	日付 縮尺 [A1] 1：50 [A3] 1：100	図面番号 意匠 A-021



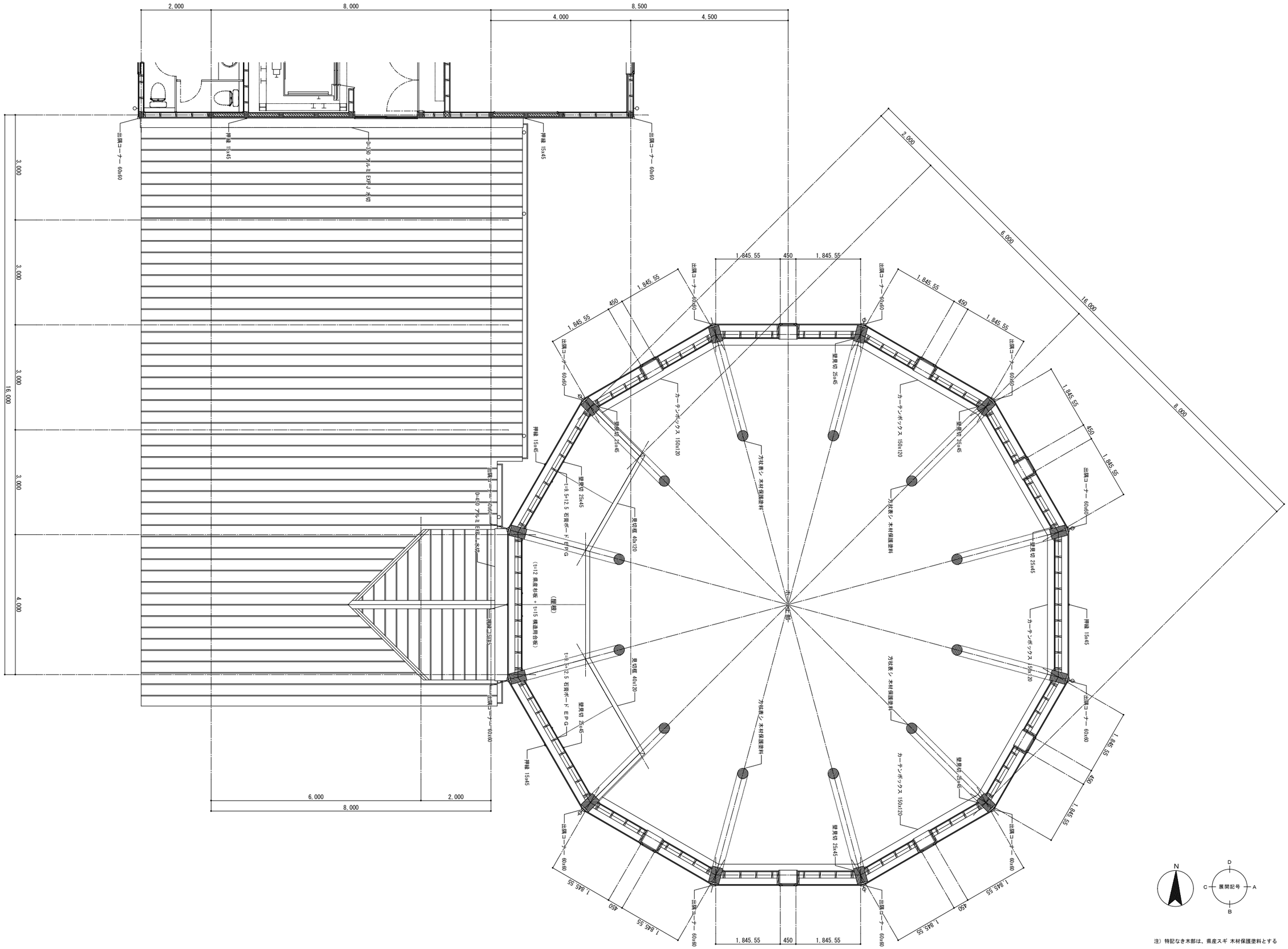
注）特記なき木部は、県産スギ 木材保護塗料とする

	管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	矢 後 勝 一級建築士登録第186429号	西 野 晴 仁 一級建築士登録第247715号	島 崎 勉 一級建築士登録第344838号		図面名称 １階平面詳細図０２	縮尺 [A1] 1：50 [A3] 1：100	A-022 意 匠



注）特記なき木部は、県産スギ 木材保護塗料とする

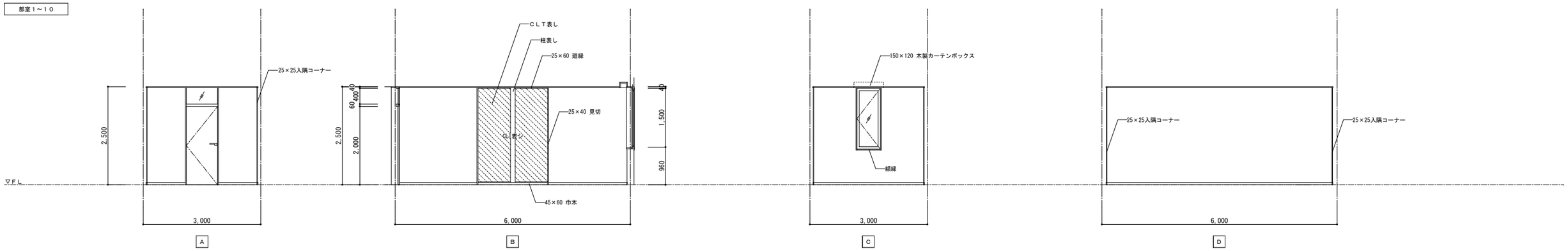
	管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	矢後 勝 一級建築士登録第186429号	西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	島崎 勉 一級建築士登録第344838号		図面名称 ２階平面詳細図０１	縮尺 [A1] 1：50 [A3] 1：100	A-023 意匠



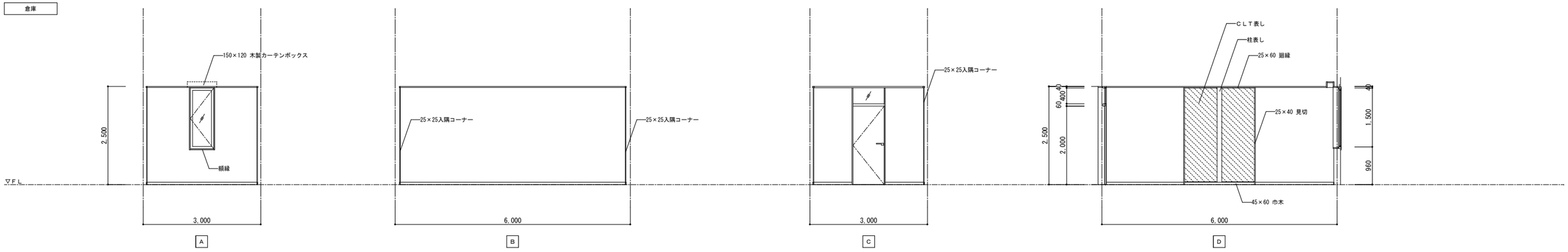
注）特記なき木部は、県産スギ 木材保護塗料とする

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事 図面名称 ２階平面詳細図０２	日付 縮尺 [A1] 1：50 [A3] 1：100	図面番号 意匠 A-024

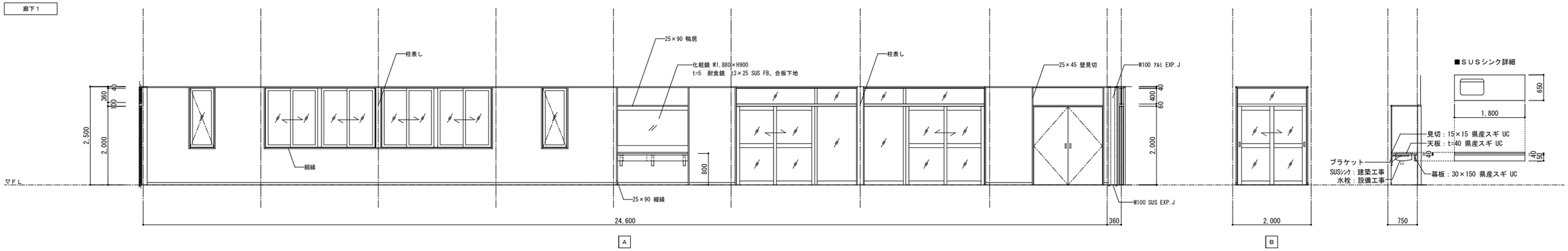
部室１～１０



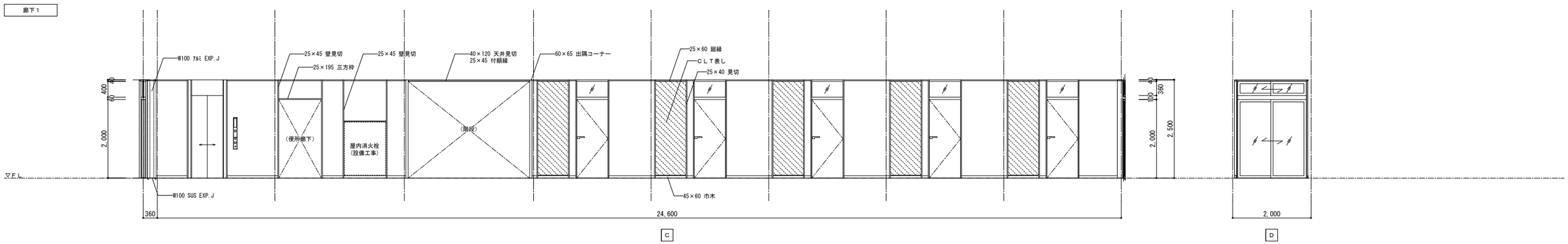
倉庫



廊下１

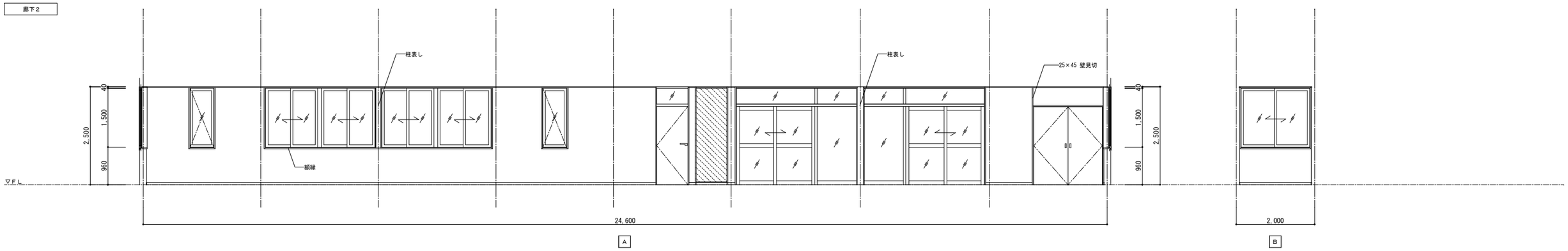


廊下１

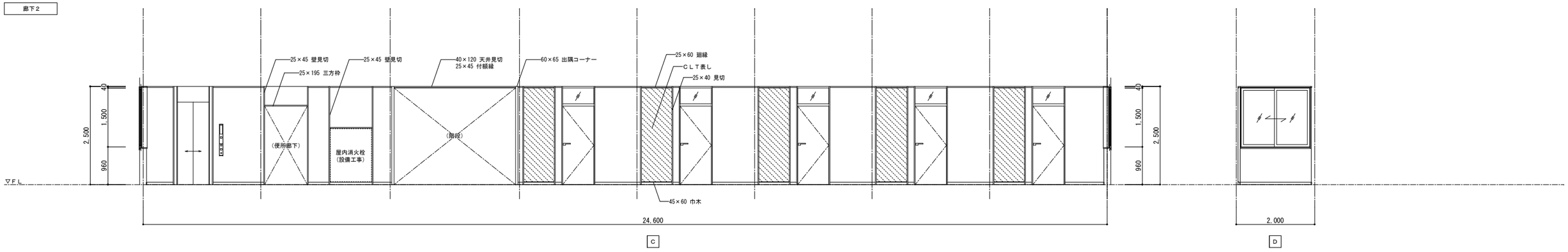


MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事 注）特記なき木部は、県産スギ 木材保護塗料とする	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事 図面名称 展開図Ｏ１
日付 縮尺 [A1] 1：50 [A3] 1：100	図面番号 A-025 意 匠				

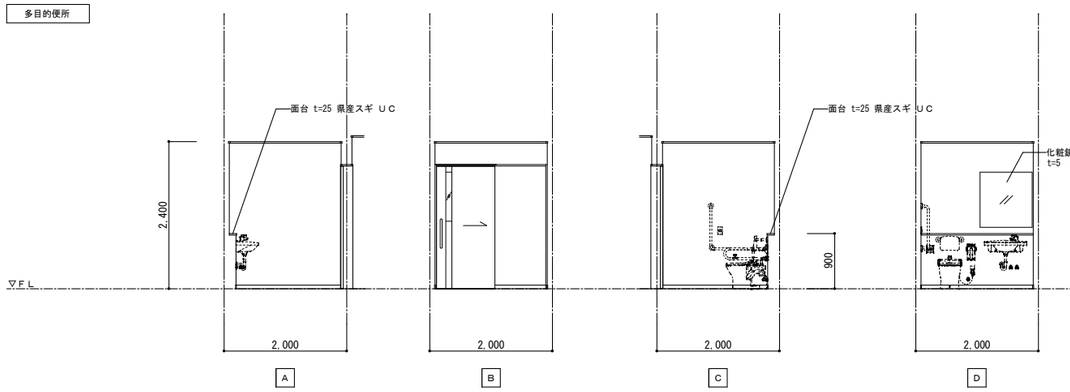
廊下２



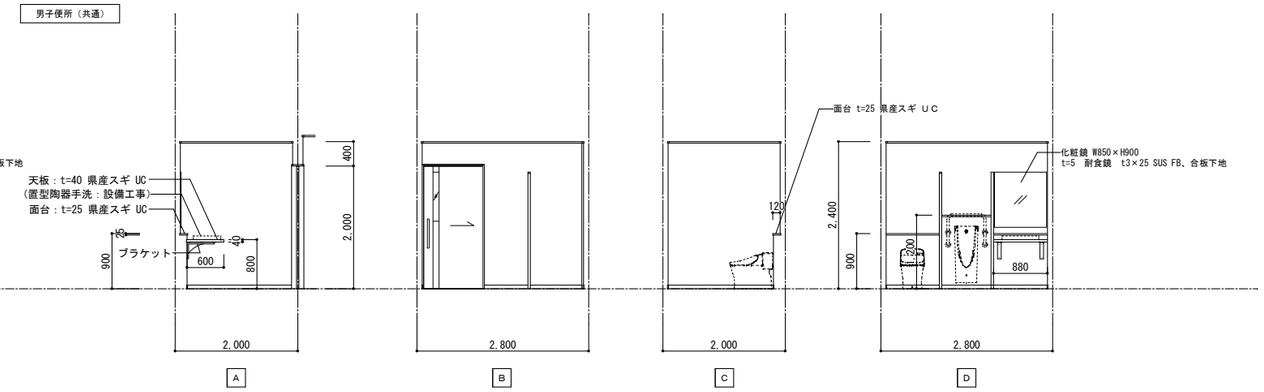
廊下２



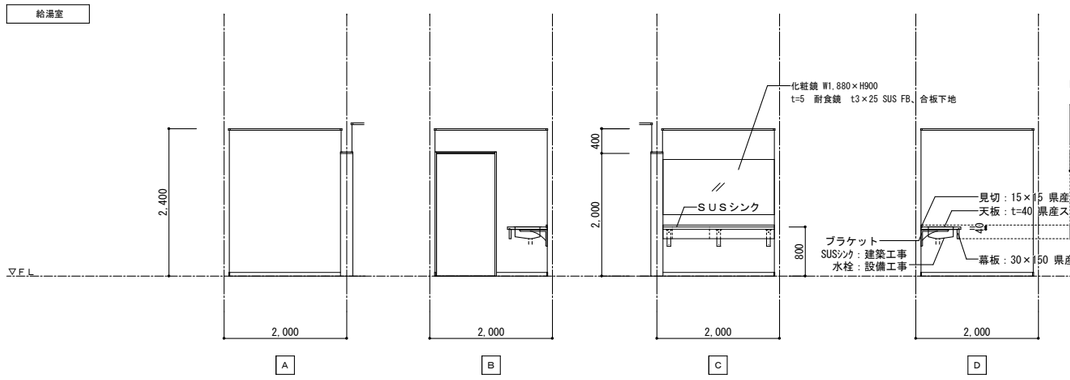
多目的便所



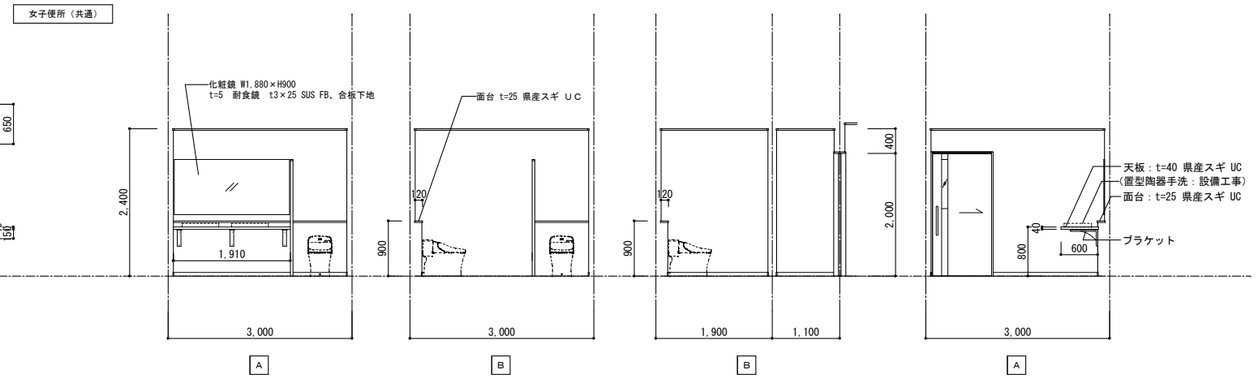
男子便所（共通）



給湯室



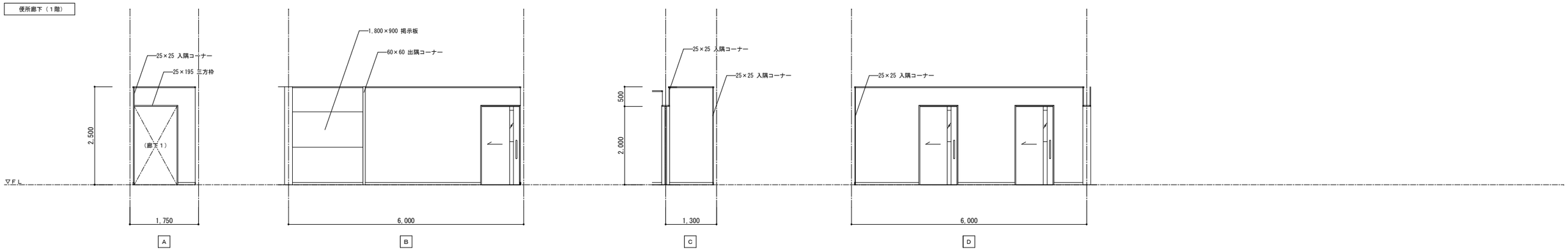
女子便所（共通）



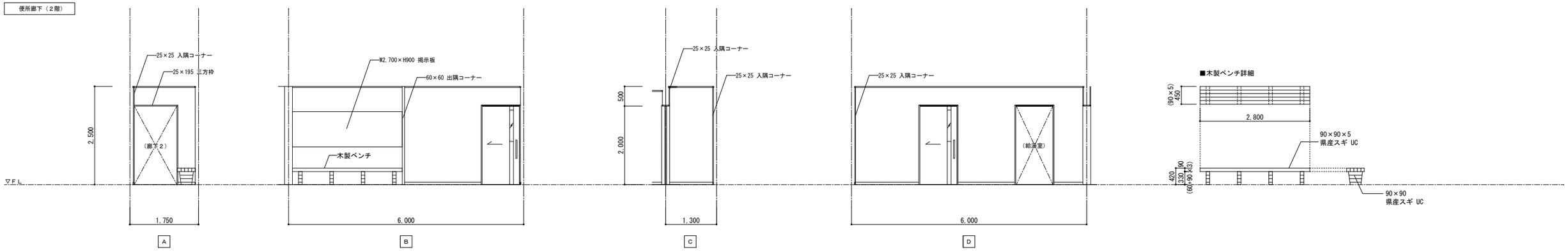
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事 注）特記なき木部は、県産スギ 木材保護塗料とする	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事 図面名称 展開図０２

日付	縮尺 [A1] 1：50 [A3] 1：100	図面番号 A-026
		意 匠

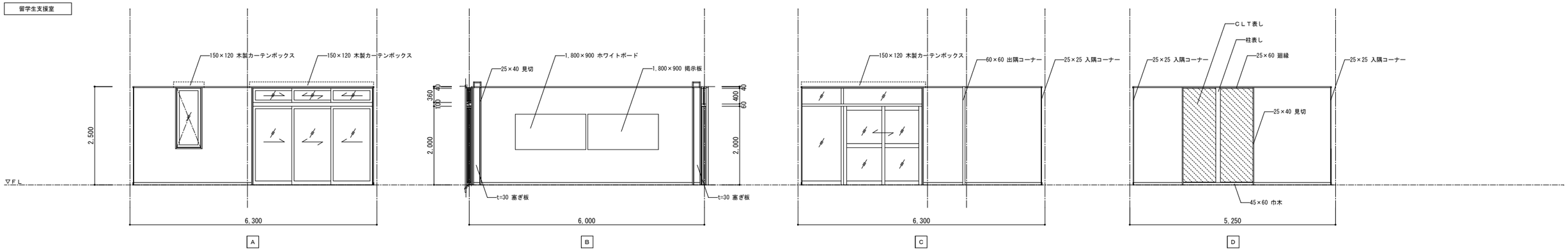
便所廊下（1階）



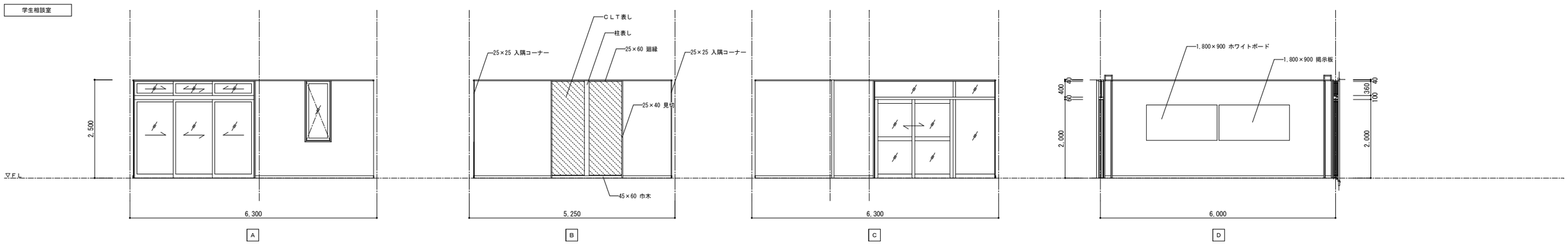
便所廊下（2階）



留学生支援室

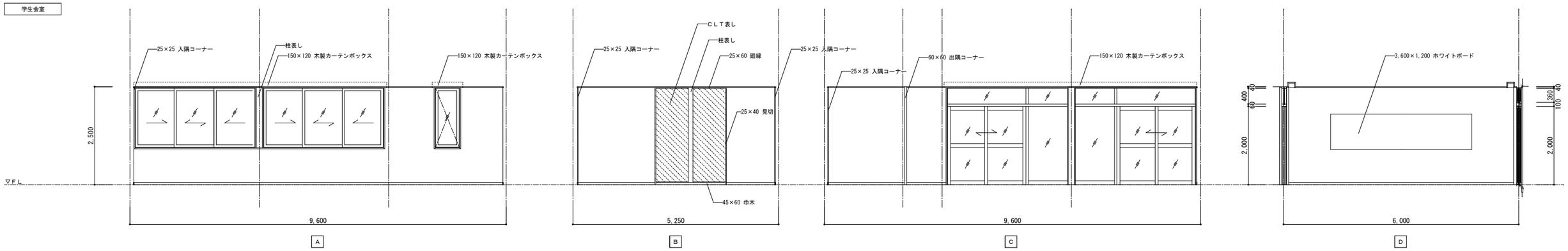


学生相談室

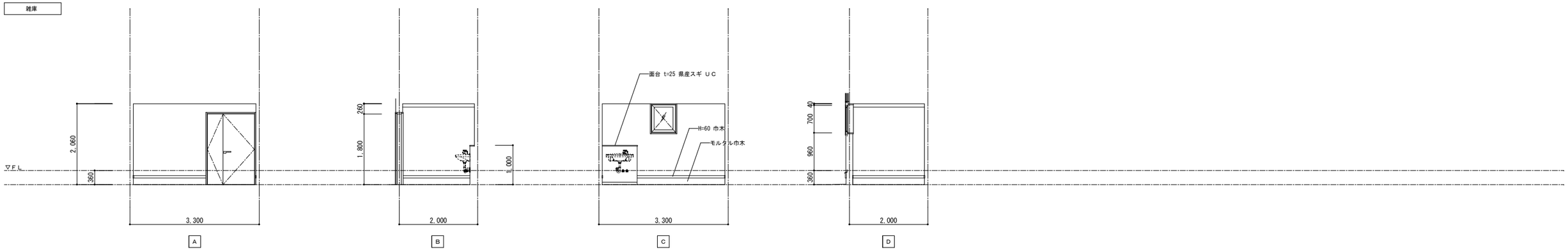


MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事 注）特記なき木部は、県産スギ 木材保護塗料とする	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事 図面名称 展開図０３	日付 縮尺 [A1] 1：50 [A3] 1：100	図面番号 A-027 意匠

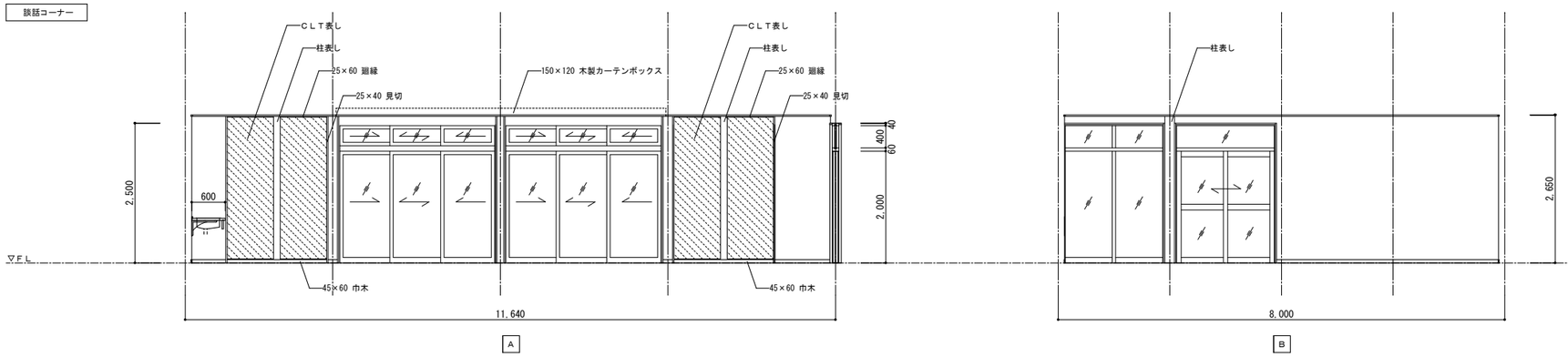
学生会室



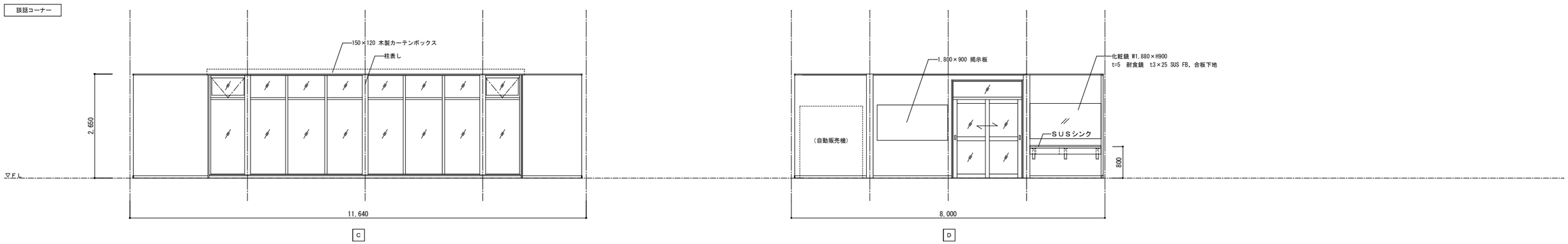
雑庫



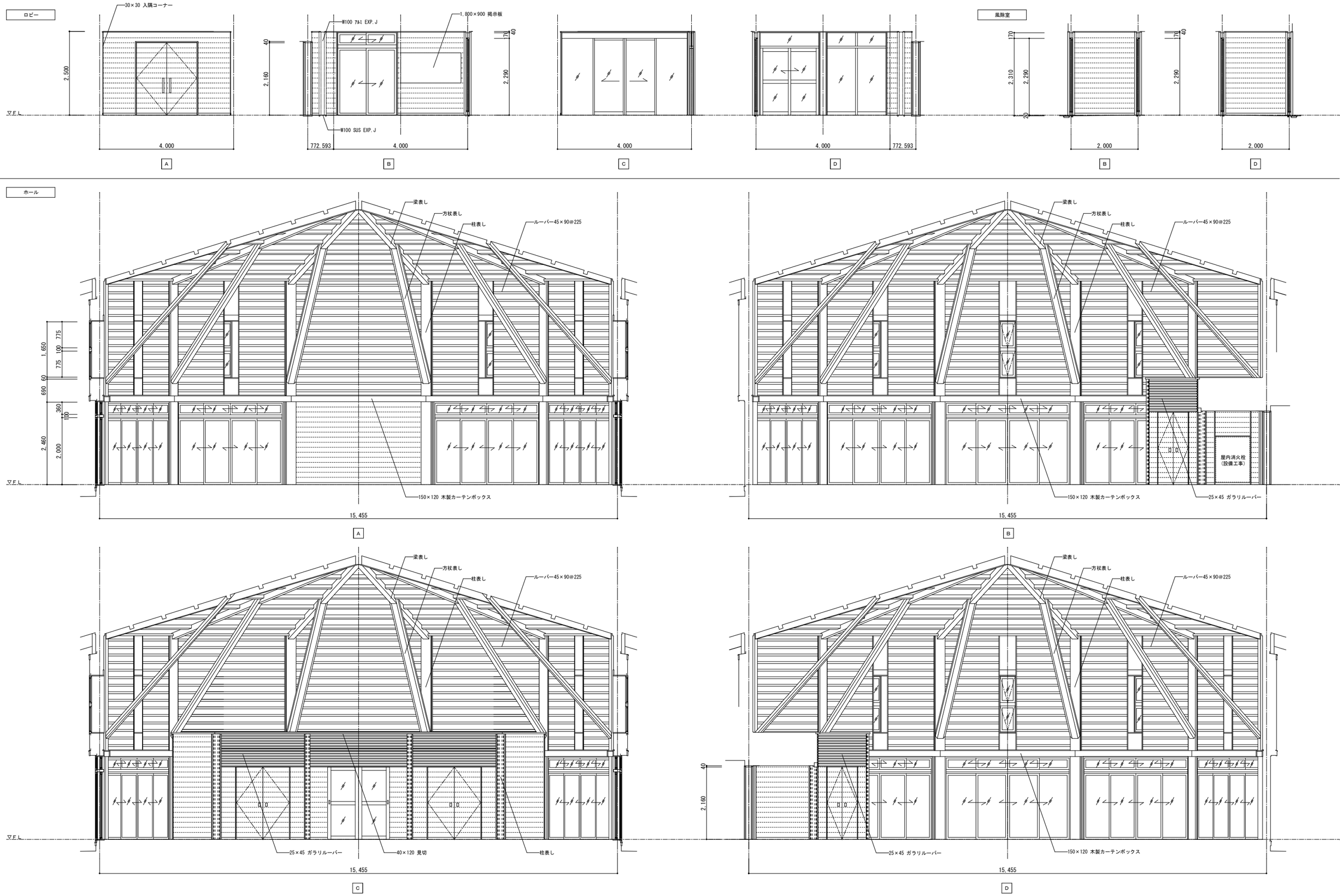
談話コーナー



談話コーナー



MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事 注）特記なき木部は、県産スギ 木材保護塗料とする	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事 図面名称 展開図０４	日付 縮尺 [A1] 1：50 [A3] 1：100	図面番号 A-028 意 匠

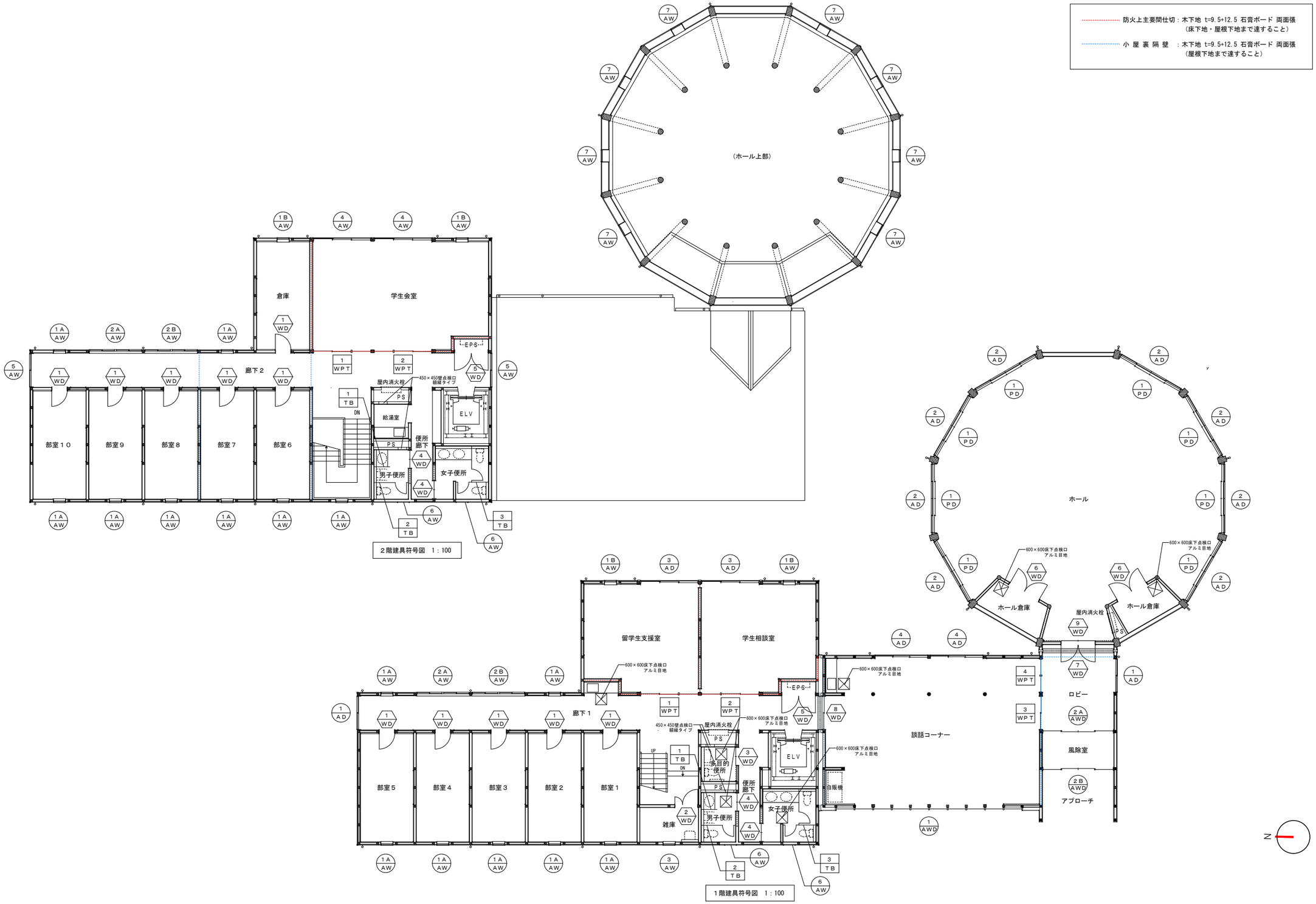


MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢 後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西 野 晴 仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島 崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事 注）特記なき木部は、県産スギ 木材保護塗料とする	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事 図面名称 展開図０５

日付	図面番号
縮尺 [A1] 1：50 [A3] 1：100	A-029
意 匠	

□凡例

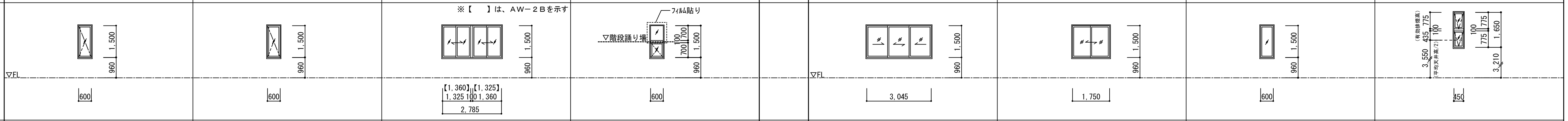
防火上主要間仕切	木下地 t=9.5+12.5 石膏ボード 両面張（床下地・屋根下地まで達すること）
小屋裏隔壁	木下地 t=9.5+12.5 石膏ボード 両面張（屋根下地まで達すること）



MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事	工事名称　富山県立大学学生会館新築工事 図面名称　建具符号図	日付 縮尺　[A1] 1：100 [A3] 1：200	図面番号 意匠	A-030

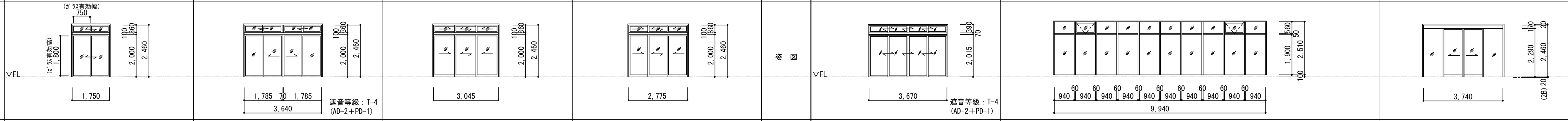
符号，場所	(1A/AW) 1階2階 廊下１・２、部室 2階 階段室 １５ヶ所	(1B/AW) 1階 留学生支援室、学生相談室 2階 倉庫、学生会室 ４ヶ所	(2A/AW) ２ヶ所 (2B/AW) ２ヶ所 1階 廊下１ 2階 廊下２ ４ヶ所	(3/AW) 1階 雑庫 １ヶ所
姿図			※【　】は、AW－2Bを示す	
種類	縦スベリ出シ窓	縦スベリ出シ窓	２連引違い窓	嵌殺し窓＋縦スベリ出シ窓
寸法	600×1,500	600×1,500	2,785×1,500	600×1,500
見込	枠 70 / 内額縁 135	枠 70 / 内額縁 165	枠 70 / 内額縁 135	枠 70 / 内額縁 135
材料・仕上	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / 木製 木材保護塗料	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / 木製 木材保護塗料	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / 木製 木材保護塗料	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / 木製 木材保護塗料
硝子	FL5＋A6＋FL5	FL5＋A6＋FL5	FL5＋A6＋FL5	FL5＋A6＋FL5 （階段踊り場上部：ﾌｨﾙﾑ貼）
金物	グレモンハンドル、網戸、ストッパー	グレモンハンドル、網戸、ストッパー	網戸、ｸﾚｾﾝﾄ	グレモンハンドル、網戸、ストッパー
	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	嵌殺し窓裏ケイカル板取付枠、付属金物一式
備考	鉄骨半外枠	鉄骨半外枠	鉄骨半外枠	鉄骨半外枠

符号，場所	(4/AW) 2階 学生会室 ２ヶ所	(5/AW) 2階 廊下２ ２ヶ所	(6/AW) 1階2階 男子・女子便所（外壁面） ４ヶ所	(7/AW) 2階 ホール ８ヶ所
姿図				
種類	３枚建引違い窓	引違い窓	嵌殺し窓	外倒し２連窓
寸法	3,045×1,500	1,750×1,500	600×1,500	450×1,650
見込	枠 120 / 外額縁 35 / 内額縁 75	枠 70 / 内額縁 135	枠 70	枠 70 / 内額縁 375
材料・仕上	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / アルミカラー / 木製 木材保護塗料	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / 木製 木材保護塗料	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ）	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / 木製 木材保護塗料
硝子	FL5＋A6＋FL5	FL5＋A6＋FL5	FL5＋A6＋FL5 ﾌｨﾙﾑ貼	FL5＋A6＋FL5
金物	網戸、ｸﾚｾﾝﾄ、二重水切	網戸、ｸﾚｾﾝﾄ	嵌殺し窓裏ケイカル板取付枠	網戸、排煙用オペレーター
	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	ＲＣ枠	鉄骨半外枠	鉄骨半外枠	鉄骨半外枠



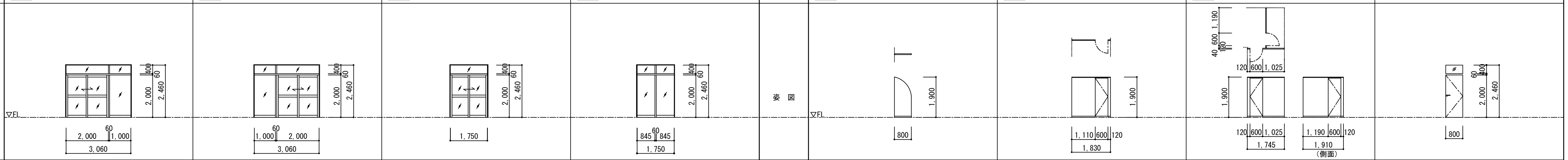
符号，場所	(1/AD) 1階 廊下１、ロビー ２ヶ所	(2/AD) 1階 ホール ８ヶ所	(3/AD) 1階 留学生支援室、学生相談室 ２ヶ所	(4/AD) 1階 談話コーナー ２ヶ所
姿図		遮音等級：T-4 (AD-2＋PD-1)		
種類	引違いランマ付引違い戸	引違い２連ランマ付引分け戸	３枚建引違いランマ付３枚建引違い戸	３枚建引違いランマ付３枚建引違い戸
寸法	1,750×2,460	3,640×2,460	3,045×2,460	2,775×2,460
見込	枠 70 / 内額縁 135	枠 70 / 内額縁 195	枠 120 / 外額縁 35 / 内額縁 75	枠 120 / 外額縁 35 / 内額縁 45
材料・仕上	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / 木製 木材保護塗料	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / 木製 木材保護塗料	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / アルミカラー / 木製 木材保護塗料	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / アルミカラー / 木製 木材保護塗料
硝子	T5＋A6＋FL5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼（ﾗﾝﾏ：FL5＋A6＋FL5）	T5＋A6＋FL5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼（ﾗﾝﾏ：FL5＋A6＋FL5）	T5＋A6＋FL5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼（ﾗﾝﾏ：FL5＋A6＋FL5）	T5＋A6＋FL5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼（ﾗﾝﾏ：FL5＋A6＋FL5）
金物	ｸﾚｾﾝﾄ、網戸	ｸﾚｾﾝﾄ、網戸	ｸﾚｾﾝﾄ、網戸、二重水切	ｸﾚｾﾝﾄ、網戸、二重水切
	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備考	鉄骨半外枠	鉄骨半外枠	ＲＣ枠	ＲＣ枠

符号，場所	(1/PD) 1階 ホール ８ヶ所	(1/AWD) 1階 談話コーナー １ヶ所		(2A/AWD) 1階 ロビー １ヶ所 (2B/AWD) 1階 風除室 １ヶ所 ２ヶ所
姿図	遮音等級：T-4 (AD-2＋PD-1)			
種類	引違い２連戸、引違い２連窓（内額縁取付）	嵌殺し・外倒しランマ付嵌殺し窓 連窓		両引分け自動扉（巻込防止型）
寸法	3,670×2,015 3,670×390	9,940×2,520		3,740×2,460
見込	枠 70	枠 100 / 内額縁 255		枠 100 / 外額縁 60 内額縁 60
材料・仕上	樹脂	陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / 木製 木材保護塗料		陽極酸化複合皮膜（ｶﾗｰ） / 木製 木材保護塗料
硝子	T5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼（ﾗﾝﾏ：FL5）	Low-E5＋A6＋FL5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼		T8 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼
金物	ｸﾚｾﾝﾄ	排煙用ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ		自動ﾄﾞｱ付属金物一式、SUS製ﾚｰﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ箱錠、ｻﾑﾀｰﾝ
	付属金物一式	付属金物一式		安全ｾﾝｻｰ
備考		参考品番：YKKap EXIMA 51e		参考品番：YKKap EXIMA 51e



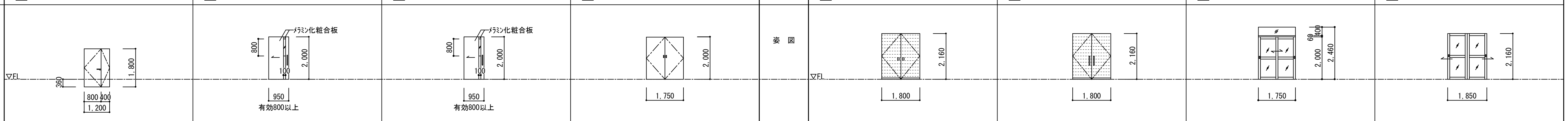
符号，場所	(1/WPT) 1階 留学生支援室 2階 学生会室 ２ヶ所	(2/WPT) 1階 学生相談室 2階 学生会室 ２ヶ所	(3/WPT) 1階 ロビー １ヶ所	(4/WPT) 1階 ロビー １ヶ所
姿図				
種類	木製パーテーション（ランマ付嵌殺し、引違い框戸）	木製パーテーション（ランマ付嵌殺し、引違い框戸）	木製パーテーション（ランマ付引違い框戸）	木製パーテーション（ランマ付嵌殺し窓）
寸法	3,060×2,460	3,060×2,460	1,750×2,460	1,750×2,460
見込	扉 36 / 枠 120 / 額縁 60	扉 36 / 枠 120 / 額縁 60	扉 36 / 枠 120 / 額縁 45	扉 36 / 枠 120 / 額縁 45
材料・仕上	木製 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料	木製 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料	木製 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料	木製 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料
硝子	T5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼（ﾗﾝﾏ：FL5）	T5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼（ﾗﾝﾏ：FL5）	T5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼（ﾗﾝﾏ：FL5）	T5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼（ﾗﾝﾏ：FL5）
金物	SUS埋込Vﾚｰﾙ、SUS戸車、引手、引違い錠	SUS埋込Vﾚｰﾙ、SUS戸車、引手、引違い錠	SUS埋込Vﾚｰﾙ、SUS戸車、引手、引違い錠	

符号，場所	(1/TB) 1階2階 男子便所 ２ヶ所	(2/TB) 1階2階 男子便所 ２ヶ所	(3/TB) 1階2階 女子便所 ２ヶ所	(1/WD) 1階2階 部室、倉庫 １１ヶ所
姿図			（側面）	
種類	隔板	トイレブース	トイレブース	嵌殺しランマ付片開きフラッシュ戸
寸法	800×1,900	1,830×1,900	1,745、1,910×1,900	800×2,460
見込	40	40	40	扉 36 / 枠+額縁 225
材料・仕上	表面材：高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板	表面材：高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板	表面材：高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 / 木製 木材保護塗料
硝子	芯材：ﾍﾟｰﾊﾟｰﾊﾆｶﾑｺｱ	芯材：ﾍﾟｰﾊﾟｰﾊﾆｶﾑｺｱ	芯材：ﾍﾟｰﾊﾟｰﾊﾆｶﾑｺｱ	ﾗﾝﾏ：FL5
金物	巾木SUS304t0.8、ｱﾙﾐｴｯｼﾞ	ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ（中心吊型）、戸当帽子掛け、取手	ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ（中心吊型）、戸当帽子掛け、取手	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、丁番、戸当りｺﾞﾑ、SUS沓ｽﾞﾘ
	付属金物一式	巾木SUS304t0.8、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ	巾木SUS304t0.8、表示付ｽﾗｲﾄﾞﾎﾞﾙﾄ	ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠、ｻﾑﾀｰﾝ
		ｱﾙﾐｴｯｼﾞ、SUS頭ﾂﾅｷﾞ（蓋付）、付属金物一式	ｱﾙﾐｴｯｼﾞ、SUS頭ﾂﾅｷﾞ（蓋付）、付属金物一式	



符号，場所	(2/WD) 1階 雑庫 １ヶ所	(3/WD) 1階 多目的便所 １ヶ所	(4/WD) 1階2階 男子便所 女子便所 ４ヶ所	(5/WD) 1階 廊下１ 2階 廊下２ ２ヶ所
姿図		有効800以上	有効800以上	
種類	親子開きフラッシュ戸	片引き額付フラッシュ戸	片引き額付フラッシュ戸（引込）	両開きフラッシュ戸
寸法	1,200×1,800	950×2,000	950×2,000	1,750×2,000
見込	扉 36 / 枠+額縁 195	扉 36 / 枠 195	扉 36 / 枠 195	扉 36 / 枠+額縁 195
材料・仕上	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 / 木製 木材保護塗料	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 / 木製 木材保護塗料	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 / 木製 木材保護塗料	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 / 木製
硝子		FL3 ﾌｨﾙﾑ貼	FL3 ﾌｨﾙﾑ貼	
金物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾌﾗﾝｽ落ｼ、丁番、戸当りｺﾞﾑ	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、SUS埋込Vﾚｰﾙ、SUS戸車	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、SUS埋込Vﾚｰﾙ、SUS戸車	ｹｰｽﾊﾝﾄﾞﾙ錠、丁番、ﾌﾗﾝｽ落ｼ、戸当りｺﾞﾑ
	ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠、ｻﾑﾀｰﾝ、SUS沓ｽﾞﾘ	表示錠（ｻﾑﾀｰﾝ）	戸当りｺﾞﾑ	

符号，場所	(6/WD) 1階 ホール倉庫 ２ヶ所	(7/WD) 1階 ホール １ヶ所	(8/WD) 1階 談話コーナー １ヶ所	(9/WD) 1階 ホール １ヶ所
姿図				
種類	両開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸（硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ 厚20入）	嵌殺しランマ付引違い框戸	両引分け框戸
寸法	1,800×2,160	1,800×2,160	1,750×2,460	1,850×2,160
見込	扉 36 / 枠+額縁 180	扉 36 / 枠+額縁 210	扉 36 / 枠 120 / 額縁 45	扉 36 / 枠 105
材料・仕上	県産杉練付合板 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料	県産杉練付合板 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料	木製 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料	木製 木材保護塗料 / 木製 木材保護塗料
硝子			T5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ （ﾗﾝﾏ：FL5）	T5 飛散防止ﾌｨﾙﾑ
金物	埋込ﾗｯﾁ式平面ﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番	ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番、戸当りｺﾞﾑ	引手、SUS埋込Vﾚｰﾙ、SUS戸車、戸当りｺﾞﾑ	引手、SUS埋込Vﾚｰﾙ、SUS戸車、戸当りｺﾞﾑ
	ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠、ﾌﾗﾝｽ落ｼ、SUS沓ｽﾞﾘ	ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠、ｻﾑﾀｰﾝ、ﾌﾗﾝｽ落ｼ、SUS沓ｽﾞﾘ		
	戸当りｺﾞﾑ	枠取合部分4周ｺﾞﾑﾊﾟｯｷﾝ、ﾃﾞﾙﾀｲﾄ（隙間塞ぎ）		

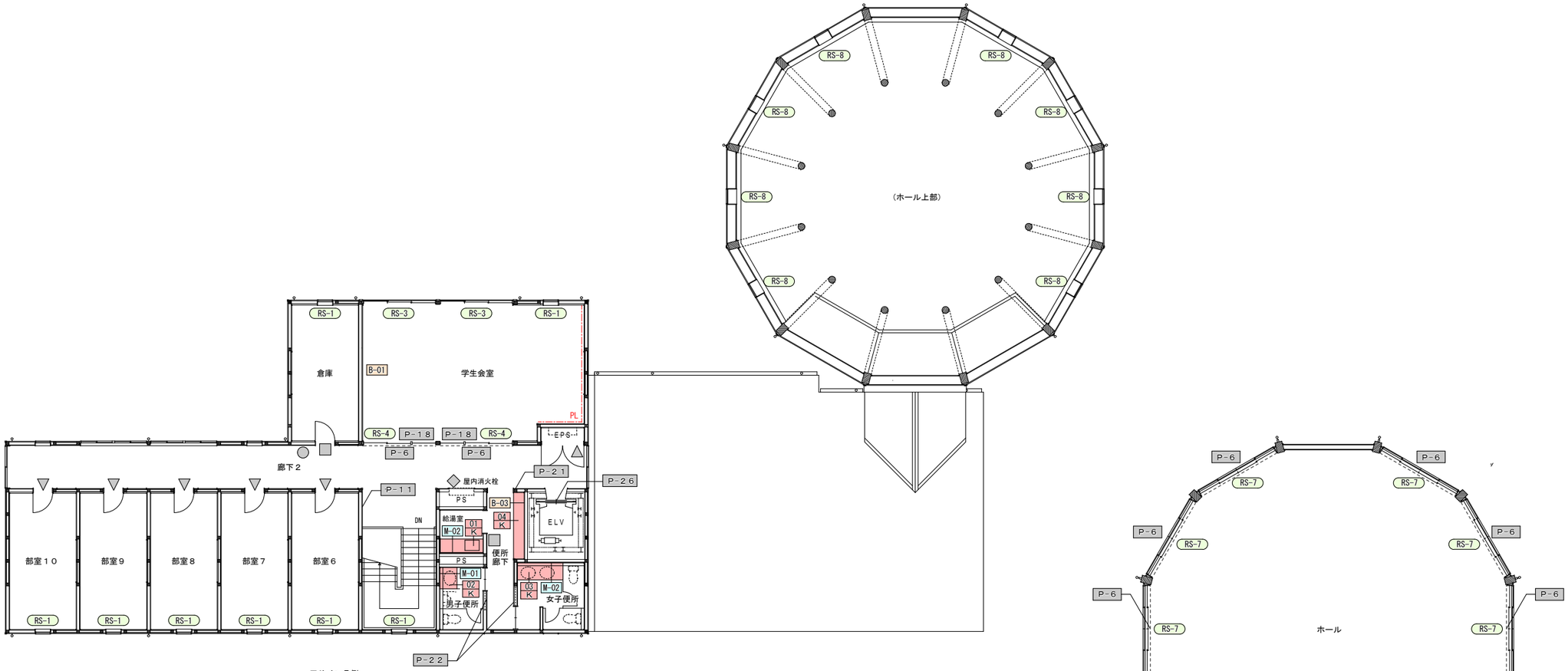


［ガラス記号］

ＦＬ フロートガラス	Ａ 空気層	ＦＷ 線入型板ガラス	Ｄ 複層ガラス	Ｆ 型板ガラス	ＡＧ アルミガラリ
ＰＷ 線入板ガラス	ＡＬＰ アルミパネル	Ｔ 強化ガラス	Ｌ 合わせガラス		

＊ クレセント、オペレータ、手動閉鎖装置は、ＦＬ＋１，３５０とする。
ＥＬは、非常時解錠とする。
外倒窓の回転角は、６０°とする。

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者：矢後勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者：西野晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者：島崎勉 一級建築士登録第344838号	記事
工事名称 富山県立大学学生会館新築工事	日付 2017.00.00	図面番号 A-031		
図面名称 建具表	縮尺 [A1] 1：100 [A3] 1：200	意匠		



２階符号図　1：100

１階符号図　1：100

■ロールスクリーンリスト

符号	種別	W	H	数	仕様
RS-1	ロールスクリーン	650	1,550	15	タチカワ ラルクシールド エブリ遮光 チェーン式 同等
RS-2	ロールスクリーン	1,030 2,060	2,490 2,490	2 2	タチカワ ラルクシールド エブリ遮光 チェーン式 同等
RS-3	ロールスクリーン	1,030 2,060	1,550 1,550	2 2	タチカワ ラルクシールド エブリ遮光 チェーン式 同等
RS-4	ロールスクリーン	1,030 2,060	2,490 2,490	2 2	タチカワ ラルクシールド エブリ遮光 チェーン式 同等
RS-5	ロールスクリーン	940 1,880	2,490 2,490	2 2	タチカワ ラルクシールド エブリ遮光 チェーン式 同等
RS-6	ロールスクリーン	1,250	2,550	8	タチカワ ラルクシールド エブリ遮光 チェーン式 同等
RS-7	ロールスクリーン	1,860	2,500	16	タチカワ ラルクシールド エブリ遮光 チェーン式 同等
RS-8	ロールスクリーン	500	1,700	8	タチカワ ラルクシールド エブリ遮光 チェーン式 同等

■サイン凡例

□：B-1
△：B-2
◇：B-4
○：B-5
▽：P-17
P-00：P-00
（仕様はサイン意匠図・詳細図による）

■化粧鏡リスト

M-01	３箇所	W850×H900　t=5 耐食鏡　t3×25 SUS FB、合板下地
M-02	５箇所	W1,880×H900　t=5 耐食鏡　t3×25 SUS FB、合板下地

■家具リスト

01 K	３箇所	W1,800×D600　シンク付木製カウンター（仕様は展開図による）
02 K	２箇所	W880×D600　手洗木製カウンター（仕様は展開図による）
03 K	２箇所	W1,910×D600　手洗木製カウンター（仕様は展開図による）
04 K	１箇所	木製ベンチ（仕様は展開図による）

■ホワイトボード・掲示板リスト

B-01	１箇所	W3,600×D30×H1,200　壁掛ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ ﾎｰﾛｰ板 ｱﾙﾐ枠 ﾏｰｶｰ ﾌﾞﾗｹｯﾄ付
B-02	２箇所	W1,800×D30×H900　壁掛ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ ﾎｰﾛｰ板 ｱﾙﾐ枠 ﾏｰｶｰ ﾌﾞﾗｹｯﾄ付
B-03	１箇所	W2,700×D25×H900　壁掛掲示板 発砲PVCｼｰﾄ ｱﾙﾐ枠
B-04	６箇所	W1,800×D30×H900　壁掛掲示板 発砲PVCｼｰﾄ ｱﾙﾐ枠

PL …ピクチャーレール

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事	工事名称　富山県立大学学生会館新築工事 図面名称　各種符号図	日付 縮尺　[A1] 1：100　[A3] 1：200	図面番号 意匠　A-032

サイン工事特記事項

1. 総記

本設計図書は、サインリスト・特記事項・サインキープラン・意匠図から成る。

2. 表示基準

サインキープラン・意匠図は、サインリスト中の Code記号 により示す。

書体　和文書体　欧文との文字組の容易さも考慮し、C4 ユニバーサルビュー DSP Dを使用する。
　　欧文書体　標準書体は Avenir Next Demi Bold・Mediumを使用する。

和文表記基準　固有の施設名称等は原則として正式名称を使用する。
例外 ： 表示面の繁雑化を防ぐために、明快に理解される範囲で、省略できる部分を省略してもよい。アルファベットによる名称が慣用化されている場合には、それを用いてもよい。

欧文表記基準　原則として、固有名詞の部分はローマ字で、普通名詞の部分は英訳によって表記する。
但し、慣用上固有名詞と普通名詞に切り離せない場合は、普通名詞の部分も含めてローマ字による表記とする。ローマ字の表記はヘボン式とする。

その他　棟名については国際化への対応を考慮し、和文・欧文併せて表記するものとする。

3. 表示要素のレイアウト

表示デザインは文字・ピクトグラム・フロア平面等の要素を下記の点を考慮して決定する。
1.視認性の良さ
2.表示板としての美しさ
具体的には＜文字の大きさ＞と＜余白の確保＞、＜表示板における表示要素のプロポーション＞を考慮し、指針を提示する。

文字の大きさ　サインに使用する文字の文字高については最低10mmとする。（サイン図面内の室名表示のみ、例外として3.5mmとする。）

文字高の最低基準寸法

情報の種類	文字高		左記の和文の判読距離
	和文	欧文	
案内図	10mm～	6mm～	1.7m～

4. 基本要求品質

1. サイン工事に用いる材料は、所定のものとする。
2. サインは、所定の形状及び寸法を有し、所定の位置に強固に取付ける。
3. サインは、設置する建築物の用途、設置場所に応じた視認性を有するように設置する。
4. サインに記載する文字などは、所定の大きさ及びデザインを有し、ゆがみなく、またバランスよく配置する。
5. サインは、所定の外力や建築物の変形、温度伸縮に対して破損、脱落、有害な振動などがなく安全なものとする。
6. 人が触れる可能性がある場所に設置するサインは、寄掛りや座りなど建築物の用途に応じた通常の使用に十分耐えうる強度を有し、倒用時または不慮の衝突などの際の傷害防止に配慮する。
7. 電照式のサインは光源の色のばらつきによる色むらがないものとする。また蛍光管などの光源の交換が、容易に行えるように設置する。

5. 性能

1. サイン工事の性能値は、耐風圧性能、耐震性能などの荷重条件対して、倒壊、脱落、破損などがないものとする。
2. その他の性能値は、設計図によるほか、定めのない規定は建築基準法ほか、関連法令、日本建築学会「建築工事標準仕様書（JASS14）」、日本建築学会制定各種指針の規定及び「建築設備耐震設計・施工指針（日本建築センター）」に準拠する。

6. 見本など

1. 仕上材は、工事に先立ち見本を提出して、監督員の承認を受ける。
2. 設計図書に基づき必要な製作図、施工図を作成し、監督員の承認を受ける。
3. 使用する材料及び、その仕上色彩などについては、実物見本やモックアップ等を製作し監督員の承認を受ける。

7. 関連法規、官公署その他への手続きなど

1. 工事の施工、サインの使用開始などに必要な官公署その他への手続は、請負者が速やかに行う。
2. 建築基準法、消防法、広告物条例その他関係する法令・指針を事前確認のうえ、必要に応じて請負者が官庁打ち合せを行いこれを厳守する。
3. サインは、「電気設備技術基準、内線規定及び配線規定」（資源エネルギー庁）に適合するように 施工する。
4. 電気用品取締法の適用を受けるものは、型式認定済のものを使用する。ただし制限外申請によって認可されたものはこれを厳守する
5. JIS/JEC(電気規格調査会標準規格)・JEM(日本電気工業会標準規格)に規定のあるものは、これに適合したものを使用する。電照式サインに用いる蛍光管などは、次による。※白色ラピットスタート、省電力型安定器付き

8. 材料及び工法

1. 材料は、全て形状正しく、有害なきず、錆びなどのない新品を使用すること。
2. 材料の種類、品質、形状、寸法、色調、仕上げなどは設計図による。設計図に記載がない場合は中等品とする。
3. 鋼材及び鋼板は、JIS規格品とし、構造部材は構造用材料を使用する。
4. 外部用に用いる鋼材で設計図に記載のない場合は、JIS H 8641（溶融亜鉛メッキ）2種HDZ35以上の表面処理を施す
5. 見え掛りとなる鋼材、鋼板類は原則として塗装を施す。外部はフッ素樹脂焼付塗装、屋内はアクリル樹脂焼付塗装またはポリエステル粉体塗装を標準とする。
6. アルミニウム合金板はJIS H 4000、アルミニウム押出し型材はJIS H 4100により、それぞれ強度及び表面処理に応じた材質のものとする。
7. 設計図に記載のないステンレスの種別は SUS304とする。
8. ガラスはJIS規格品とし、厚さ5mmを超える強化ガラスは、全数ヒートソークテスト合格品とする。
9. すべてのガラス取付け用材料は、見本を提出し監理者の承認を受ける。
10. 外部に用いる粘着シート類は、十分な耐候性能（5年間の暴露に対して色の変化、ひび割れ、剥れを生じない）を有するものとする。
11. 屋外に設置するサイン及び照明など設備類の取付け下地材は、ステンレス製とし、特記仕様書の設計条件を考慮して、十分な強度をもつ部材を見込む。

9. 表示方法

1. 書体及び絵文字（ピクトグラム）は設計図による。
2. 文字寸法及び間隔は設計図による。
3. 文字及び図形などの拡大または縮小は、データ・指定原版などは忠実に再現する。また拡大時の変形は入念に修正し監理者の承認を受ける。
4. 塗料または染料は製造者及びアッセンブルメーカーの仕様による。見本を提出し監理者の承認を受ける。
5. ラミネート処理は、熱による変形及び剥離が生じないよう適切な処理を行って圧着する。

10. その他

1. 全てのサインデザイン、学校情報デザインは、教育空間の情報改善を専門領域とする有識者によるデザイン調整・デザイン監修とし、その全ての費用を見込むこと。

● 一般書体

富山県立大学
Toyama Prefectural University

大講義室 教養ゼミ 研究室
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

● ピクトグラム

富山県立大学 Toyama Prefectural University

IN SIGN LIST サインリスト

CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE	LIGHT	新棟 TOTAL	B1F	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	RF	NOTE	学生会館 TOTAL	1F	2F	NOTE
P-1	シンボルサイン	外壁取付		1											1					
P-2	新棟館名サイン	外壁取付		2		2														
P-3	学生会館館名サイン	外壁取付+ガラス面シート貼															1	1		
P-4	館名文字サイン	ガラス面シート貼		3		3														
P-5	注意表示サイン	ガラス面シート貼		5		5														
P-6	衝突防止サイン	ガラス面シート貼		40		27	5	2	4	2							25	23	2	
P-7	情報ボードサイン（TYPE-A）	壁付		1		1														
P-8	新棟総合案内サイン	壁付		1		1														
P-9	学生会館総合案内サイン	壁付															1	1		
P-10	フロア案内サイン（TYPE-A）	壁付+壁面シート貼		9		1	1	1	1	1	1	1	1	1						
P-11	フロア案内サイン（TYPE-B）	壁付		10		1	4				2	2	2	1			2		2	
P-12	誘導サイン（TYPE-A）	自立		4		1	2	1												
P-13	誘導サイン（TYPE-B）	防火扉シート貼		19		3	3	3	3	3	1	1	1	1						
P-14	EVホール入口サイン	ガラス面シート貼		9		1	1	1	1	1	1	1	1	1						
P-15	室名サイン（TYPE-A）	壁付+ドアシート貼+天吊		3		2	1													
P-16	室名サイン（TYPE-B）	ドアシート貼+天吊		15			13							2						
P-17	室名サイン（TYPE-C）	ドアシート貼		219		13	7	26	29	33	40	30	27	13	1		10	5	5	
P-18	室名サイン（TYPE-D）	ガラス面シート貼		8		7								1			7	5	2	
P-19	室名サイン（TYPE-E）	ドアシート貼		9		9														
P-20	室名サイン（TYPE-F）	ドアシート貼		56		10		11	2	3	3	9	6	10						
P-21	ピクトサイン（TYPE-A）	天吊		29		3	5	3	3	3	3	3	3	3			2	1	1	
P-22	ピクトサイン（TYPE-B）	壁付		29		3	5	3	3	3	3	3	3	3			4	2	2	
P-23	ピクトサイン（TYPE-C）	ドアシート貼		2		1	1										1	1		
P-24	ピクトサイン（TYPE-D）	ドアシート貼		31			1	4	4	4	4	6	4	4						
P-25	情報ボードサイン（TYPE-B）	EPS扉シート貼		10		1	2	1	1	1	1	1	1	1						
P-26	エレベーター階数表示サイン	EV扉シート貼		36		4	4	4	4	4	4	4	4	4			2	1	1	
P-27	階数表示サイン	ドアシート貼		28		3	3	3	3	3	3	3	3	3	1					
P-28	ゴミ箱サイン	設備シート貼		8		1	1	1	1	1	1	1	1	1						
P-29	事務室窓口サイン	ガラス面シート貼		1		1														
P-30	特別会議室サイン	壁付+ドアシート貼		1										1						

別途工事

BACKYARD SIGN LIST サインリスト

CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE	LIGHT	新棟 TOTAL	B1F	1F	2F	3F	4F	5F	6F	7F	8F	9F	RF	NOTE	学生会館 TOTAL	1F	2F	NOTE
B-1	バックヤード室名サイン（TYPE-A）	外壁取付		36	8	9	4	3	2	2	2	2	2	2			5	3	2	
B-2	バックヤード室名サイン（TYPE-B）	外壁取付		119	8	20	10	11	11	11	10	11	12	10	5		2	1	1	
B-3	スイッチパネルサイン	壁付		12		1	11													
B-4	消火器・消火栓	設備シート貼		160		24	29	16	16	16	16	15	14	14			3	2	1	
B-5	避難経路図サイン	壁付		36		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		2	1	1	

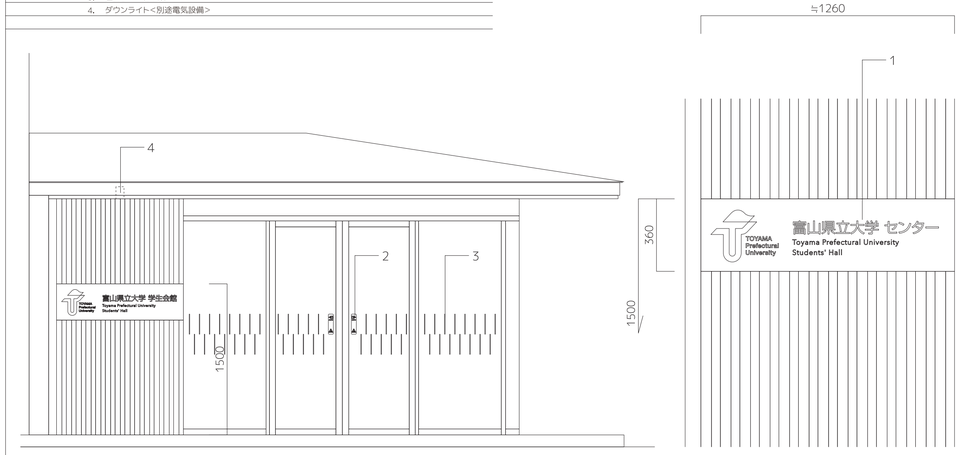
別途工事

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	管理技術者 矢後 勝 一級建築士登録第186429号	意匠担当主任技術者 西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	担当者 島崎 勉 一級建築士登録第344838号	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事 図面名称 サイン工事特記事項
日付 縮尺 [A1] NS [A3] NS	図面番号 A-033 意匠				

CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
P-3	学生会館館名サイン	外壁取付

SCALE 1/60, 1/30

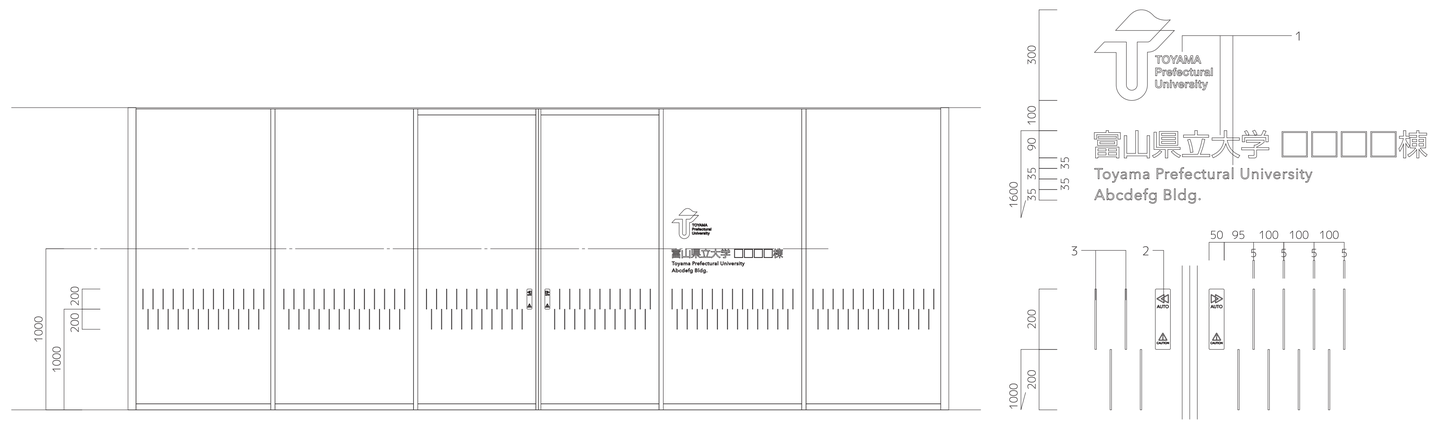
MATERIALS
1. ベース ステンレス t=3.0mm フッ素樹脂焼付塗装 塩ビシート切文字加工貼
2. インクジェット出力シート貼
3. 塩ビシート加工貼
4. ダウンライト<別途電気設備>



CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
P-6	衝突防止サイン	ガラス面シート貼

SCALE 1/60, 1/20

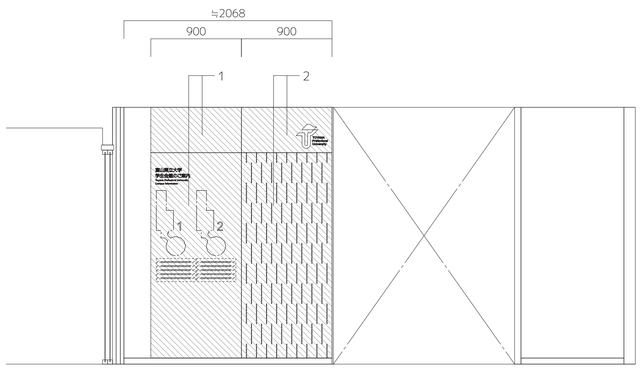
MATERIALS
3. 塩ビシート加工貼



CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
P-9	学生会館総合案内サイン	壁付

SCALE 1/60

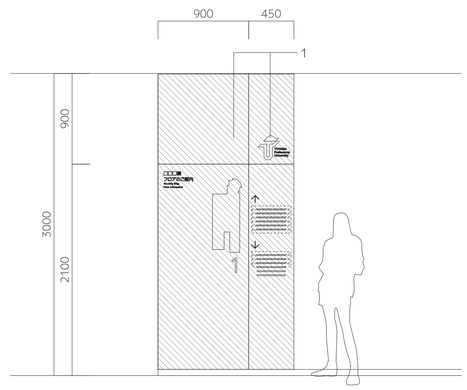
MATERIALS
1.
2. スチール複合板 t=3.0mm インクジェット出力シート貼<端部巻込み>



CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
P-11	フロア案内サイン（TYPE-B）	壁付

SCALE 1/60

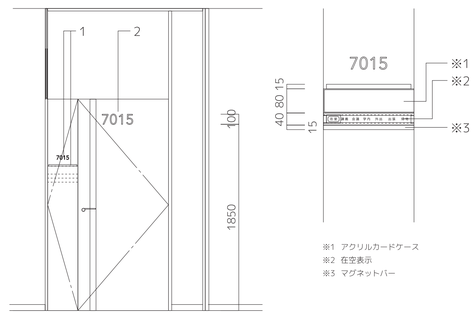
MATERIALS
1. スチール複合板 t=3.0mm インクジェット出力シート貼<端部巻込み>
ガイドバー アクリル t=5.0mm ウレタン仕上 接着
脱着プレート アクリル t=3.0mm インクジェット出力シート貼<端部巻込み><マグネット脱着>



CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
P-17	室名サイン（TYPE-B）	ドアシート貼+天吊

SCALE 1/60, 1/20

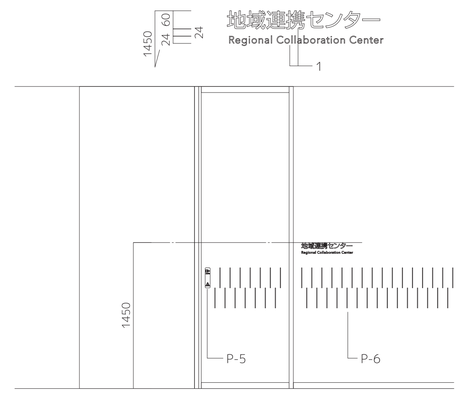
MATERIALS
1. 表示 塩ビシート切文字加工貼 ガイドバー アクリル t=5.0mm ウレタン仕上 接着
2. 塩ビシート切文字ポッティング加工貼



CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
P-18	室名サイン（TYPE-C）	ガラス面シート貼

SCALE 1/60, 1/20

MATERIALS
1. 表示 塩ビシート切文字加工貼 ガイドバー アクリル t=5.0mm ウレタン仕上 接着
2. 塩ビシート切文字ポッティング加工貼
3. ステンレス □-15x15 鏡面仕上+アルミ複合板 t=3.0mm インクジェット出力シート貼<端部巻込み>



CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
P-21	ピクトサイン（TYPE-A）	天吊

SCALE 1/60

MATERIALS
1. ステンレス □-15x15 鏡面仕上+アルミ複合板 t=3.0mm インクジェット出力シート貼<端部巻込み>

CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
P-22	ピクトサイン（TYPE-B）	壁付

SCALE 1/60

MATERIALS
2. アルミ複合板 t=3.0mm インクジェット出力シート貼<端部巻込み> UV点字印刷

CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
P-23	ピクトサイン（TYPE-C）	ドアシート貼

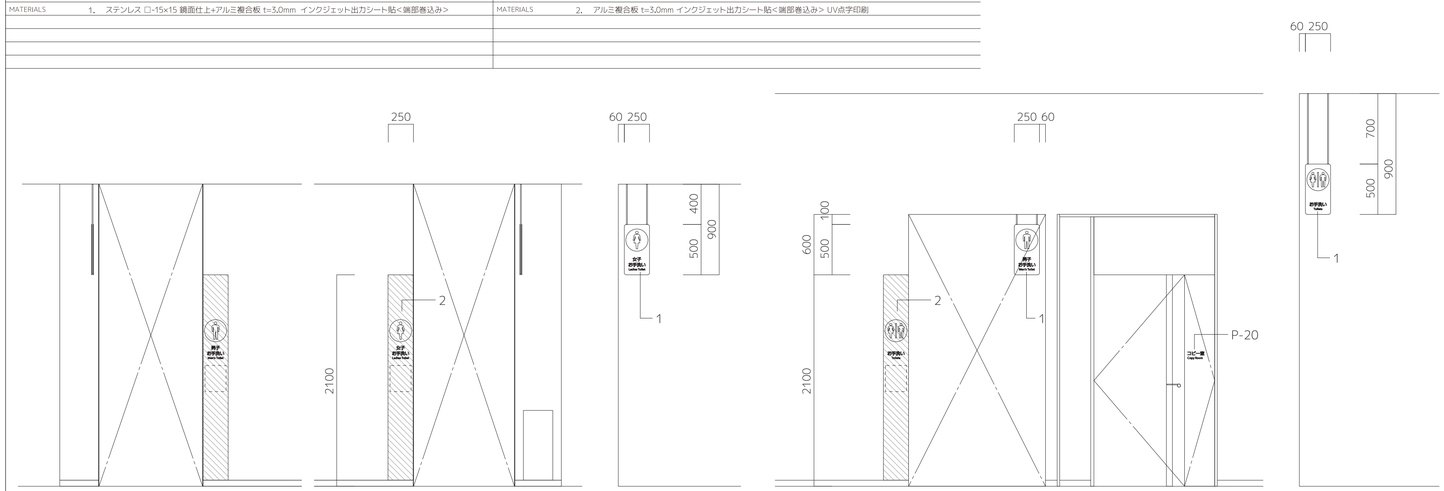
SCALE 1/60, 1/20

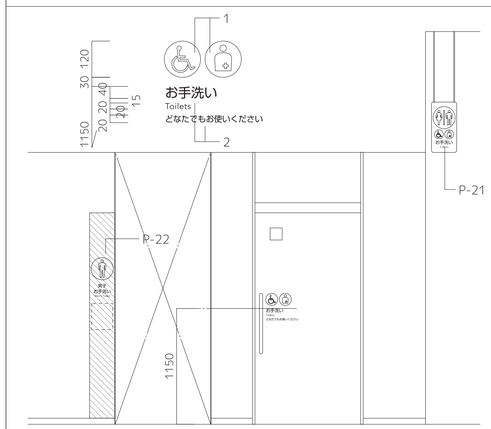
MATERIALS
1. インクジェット出力シート貼
2. 塩ビシート切文字加工貼

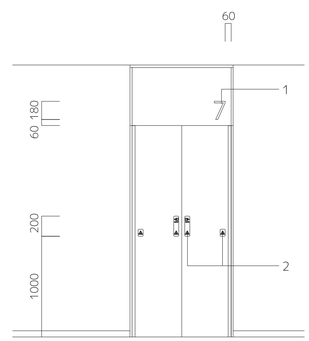
CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
P-26	エレベーター階数表示サイン	EV扉シート貼

SCALE 1/60

MATERIALS
1. 塩ビシート切文字加工貼
2. インクジェット出力シート貼







MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE
富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体

管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事
矢後 勝 一級建築士登録第186429号	西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	島崎 勉 一級建築士登録第344838号	

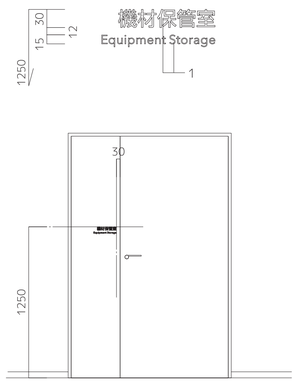
工事名称	富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
図面名称	サイン意匠図・詳細図１	縮尺 [A1] 図示 [A3] 図示	意 匠 A-034

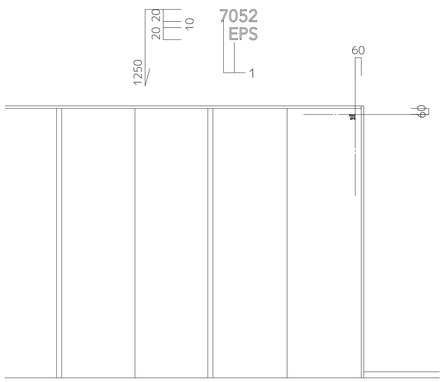
CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
B-1	バックヤード室名サイン（TYPE-A）	外壁取付
SCALE	1/50, 1/10	
MATERIALS	1. 塩ビシート切文字加工貼	

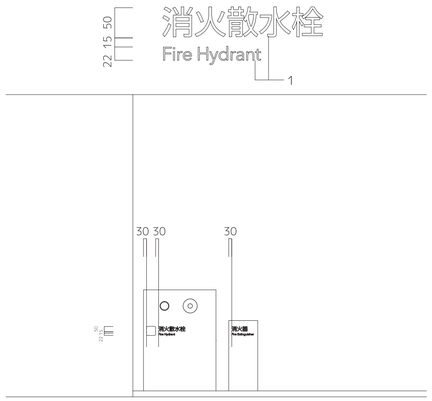
CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
B-2	バックヤード室名サイン（TYPE-B）	外壁取付
SCALE	1/60, 1/10	
MATERIALS	1. 塩ビシート切文字加工貼	

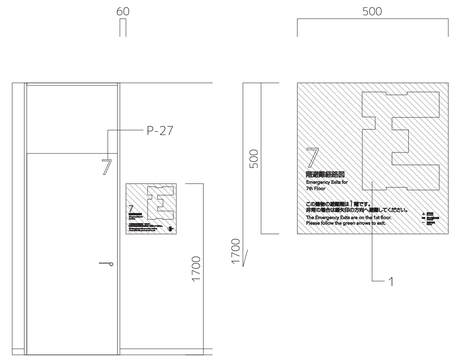
CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
B-4	消火器・消火栓サイン	設備貼付
SCALE	1/60, 1/10	
MATERIALS	1. 塩ビシート切文字加工貼	

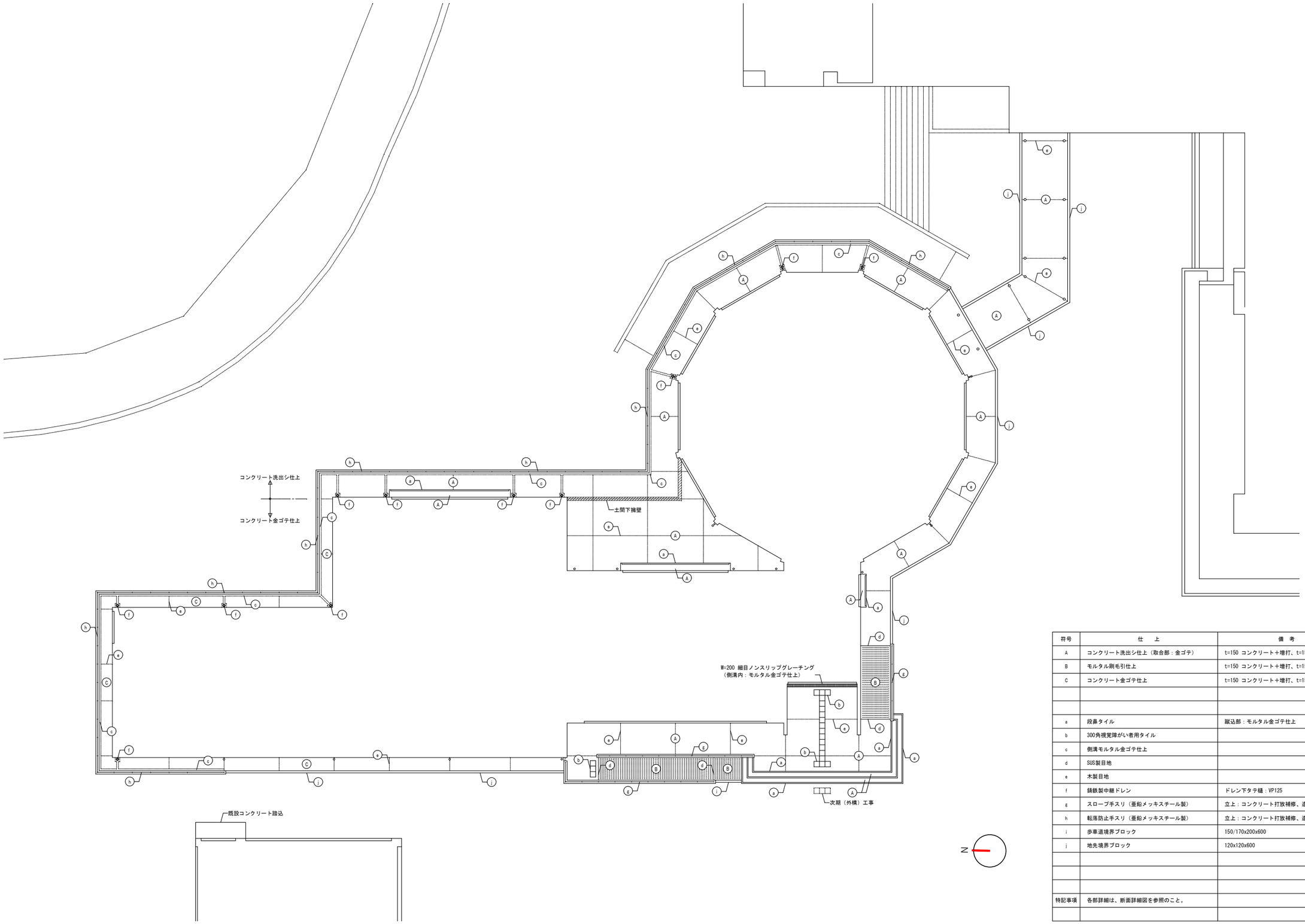
CODE	SIGN TITLE	SIGN TYPE
B-5	避難経路図サイン	壁付
SCALE	1/60, 1/20	
MATERIALS	1. アルミ複合板 t=3.0mm インクジェット出力シート貼<端部巻込み>	











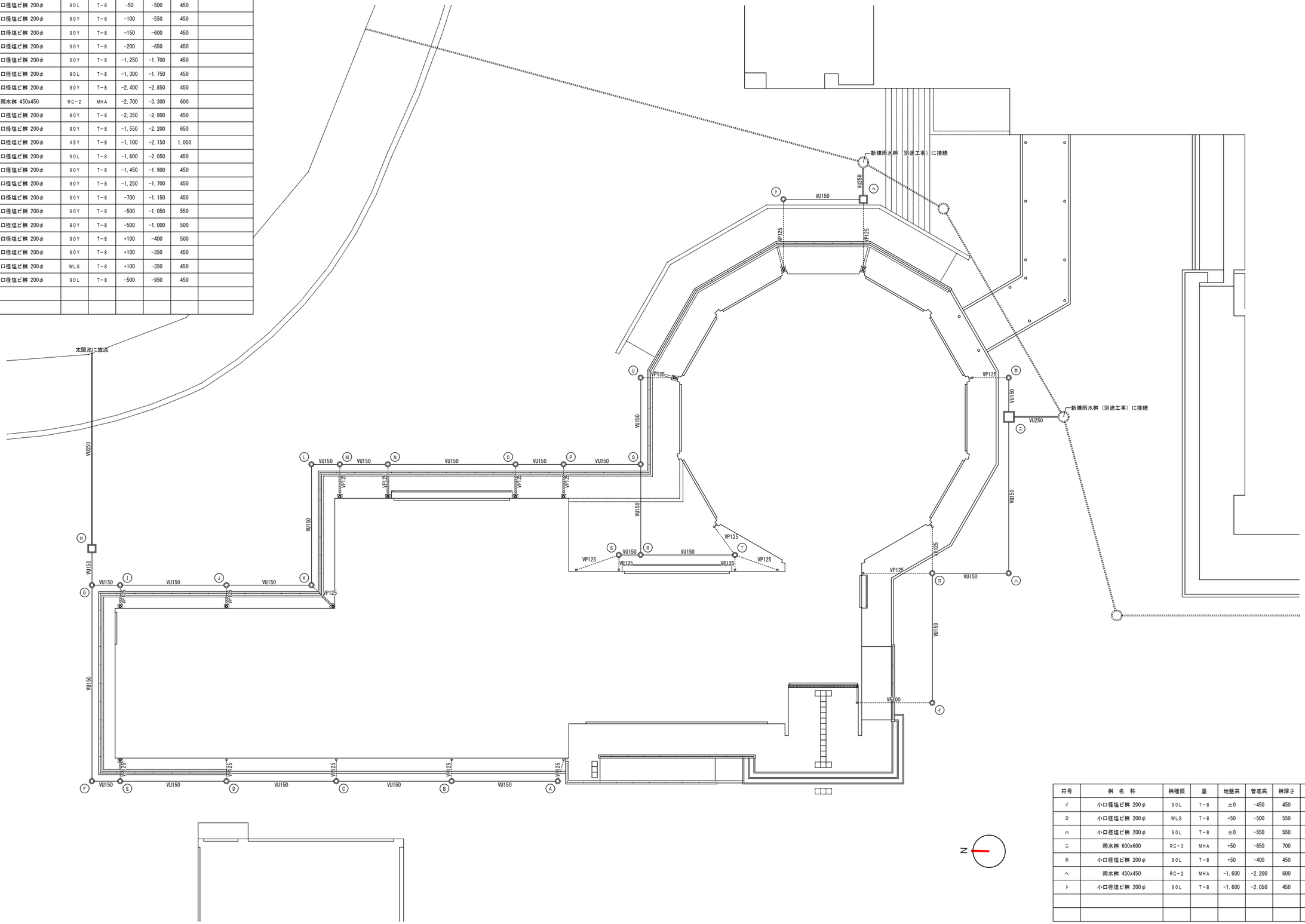
符号	仕　上	備　考
A	コンクリート洗出シ仕上（取合部：金ゴテ）	t=150 コンクリート＋増打、t=150 再生砕石
B	モルタル刷毛引仕上	t=150 コンクリート＋増打、t=150 再生砕石
C	コンクリート金ゴテ仕上	t=150 コンクリート＋増打、t=150 再生砕石
a	段鼻タイル	蹴込部：モルタル金ゴテ仕上
b	300角視覚障がい者用タイル	
c	側溝モルタル金ゴテ仕上	
d	SUS製目地	
e	木製目地	
f	鋳鉄製中継ドレン	ドレン下タテ樋：VP125
g	スロープ手スリ（亜鉛メッキスチール製）	立上：コンクリート打放補修、造膜浸透型撥水材
h	転落防止手スリ（亜鉛メッキスチール製）	立上：コンクリート打放補修、造膜浸透型撥水材
i	歩車道境界ブロック	150/170x200x600
j	地先境界ブロック	120x120x600
特記事項	各部詳細は、断面詳細図を参照のこと。	

MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE
富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体

管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事
矢 後 勝 一級建築士登録第186429号	西 野 晴 仁 一級建築士登録第247715号	島 崎 勉 一級建築士登録第344838号	

工事名称	富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
図面名称	外構計画図	縮尺 [A1] 1：100 [A3] 1：200	意 匠 A-036

符号	桝　名　称	桝種類	蓋	地盤高	管底高	桝深さ	備　考
A	小口径塩ビ桝 200φ	90L	T-8	-50	-500	450	
B	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-100	-550	450	
C	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-150	-600	450	
D	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-200	-650	450	
E	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-1,250	-1,700	450	
F	小口径塩ビ桝 200φ	90L	T-8	-1,300	-1,750	450	
G	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-2,400	-2,850	450	
H	雨水桝 450x450	RC-2	MHA	-2,700	-3,300	600	
I	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-2,350	-2,800	450	
J	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-1,550	-2,200	650	
K	小口径塩ビ桝 200φ	45Y	T-8	-1,100	-2,150	1,050	
L	小口径塩ビ桝 200φ	90L	T-8	-1,600	-2,050	450	
M	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-1,450	-1,900	450	
N	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-1,250	-1,700	450	
O	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-700	-1,150	450	
P	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-500	-1,050	550	
Q	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	-500	-1,000	500	
R	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	+100	-400	500	
S	小口径塩ビ桝 200φ	90Y	T-8	+100	-350	450	
T	小口径塩ビ桝 200φ	WLS	T-8	+100	-350	450	
U	小口径塩ビ桝 200φ	90L	T-8	-500	-950	450	



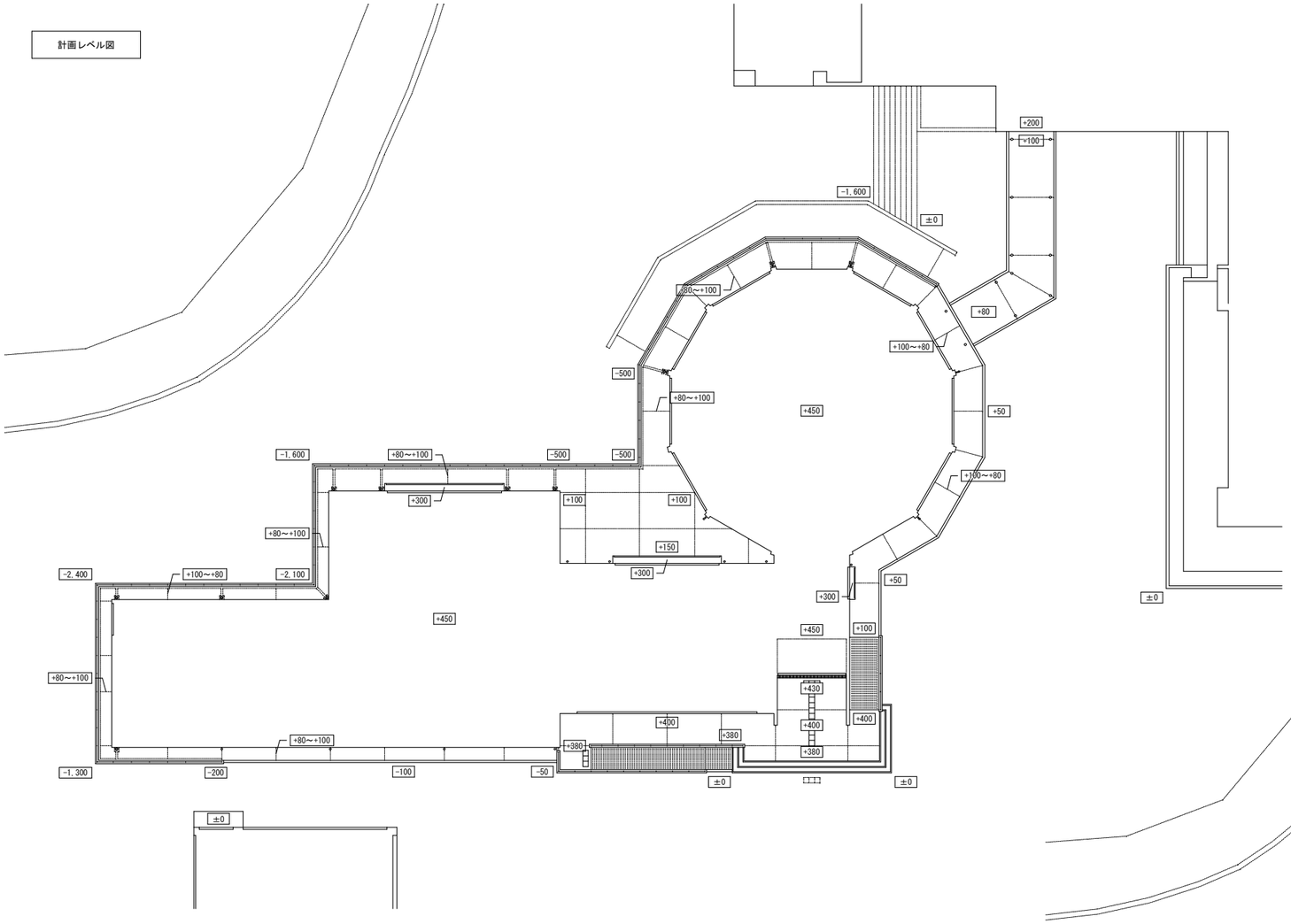
符号	桝　名　称	桝種類	蓋	地盤高	管底高	桝深さ	備　考
イ	小口径塩ビ桝 200φ	90L	T-8	±0	-450	450	
ロ	小口径塩ビ桝 200φ	WLS	T-8	+50	-500	550	
ハ	小口径塩ビ桝 200φ	90L	T-8	±0	-550	550	
ニ	雨水桝 600x600	RC-3	MHA	+50	-650	700	
ホ	小口径塩ビ桝 200φ	90L	T-8	+50	-400	450	
ヘ	雨水桝 450x450	RC-2	MHA	-1,600	-2,200	600	
ト	小口径塩ビ桝 200φ	90L	T-8	-1,600	-2,050	450	

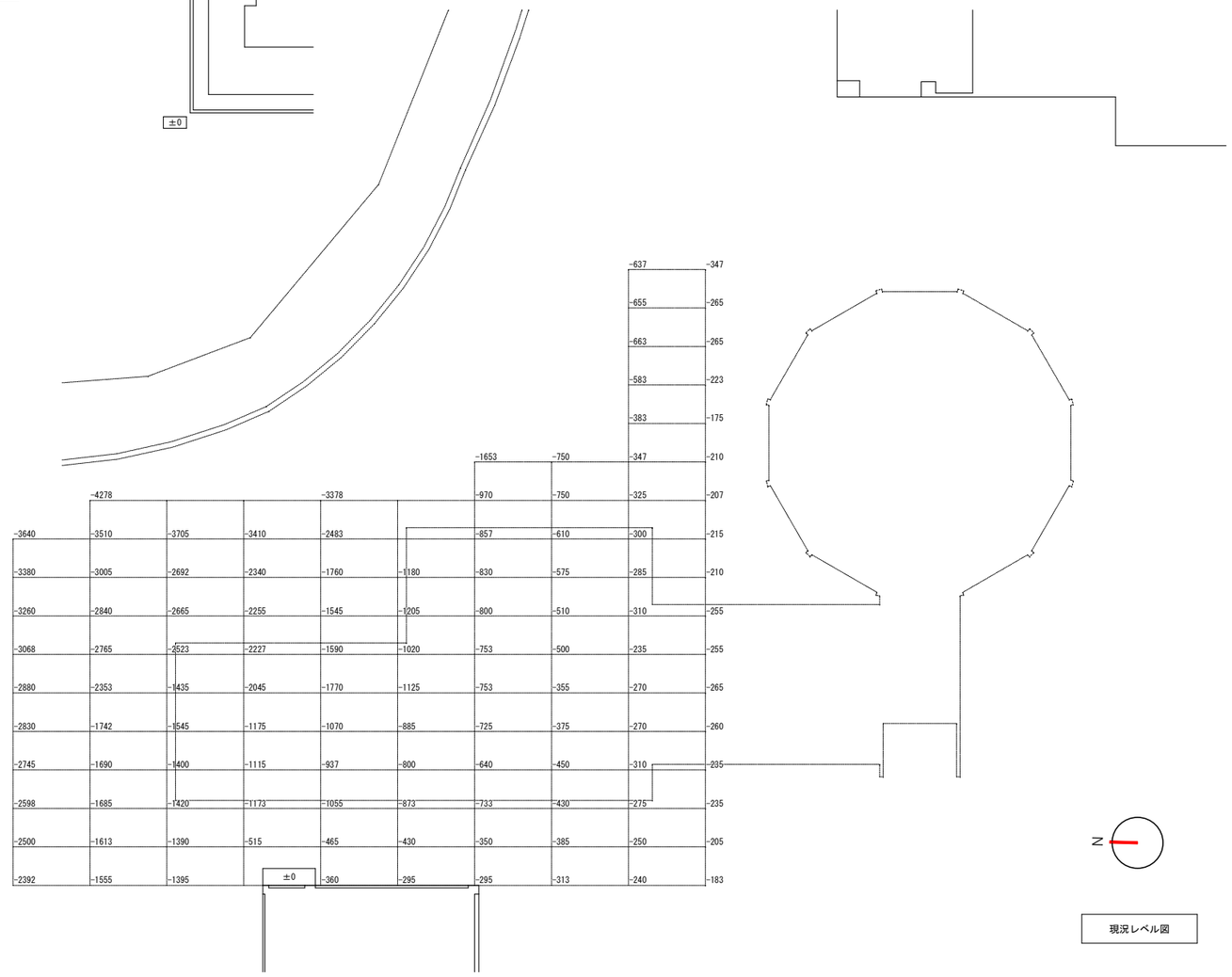
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE
富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体

管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事
矢後 勝 一級建築士登録第186429号	西野 晴仁 一級建築士登録第247715号	島崎 勉 一級建築士登録第344838号	

工事名称	富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
図面名称	雨水排水計画図	縮尺 [A1] 1：100 [A3] 1：200	意匠 A-037

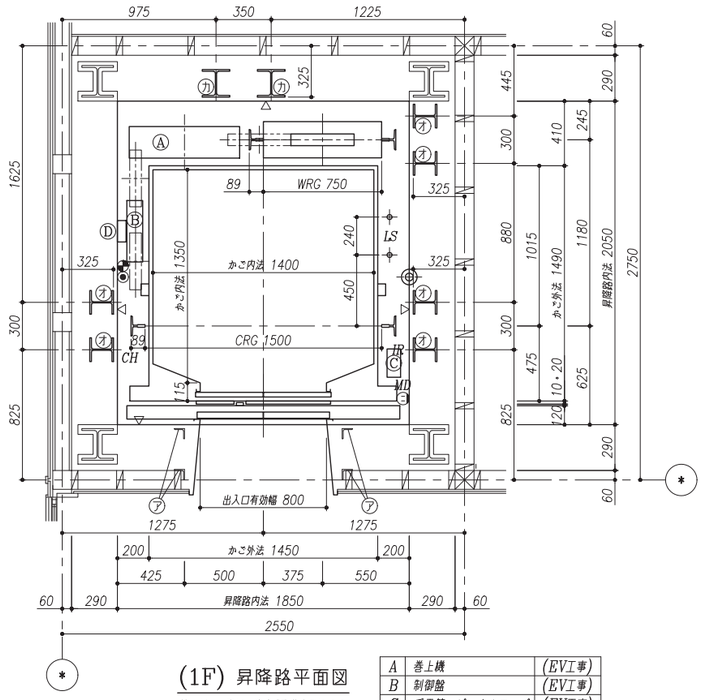
計画レベル図





現況レベル図

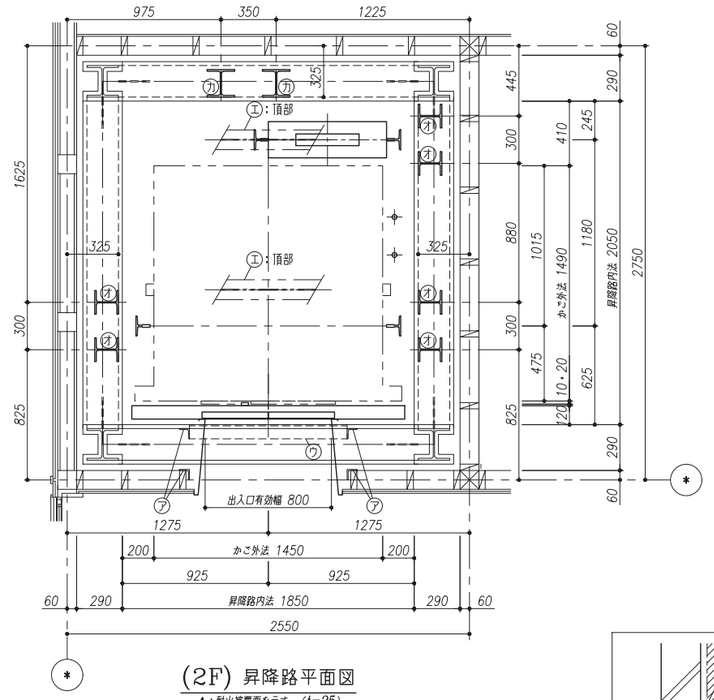
	管理技術者	意匠担当主任技術者	担当者	記事	工事名称 富山県立大学学生会館新築工事	日付	図面番号
MIYOI & FUKUMI JOINT VENTURE 富山県立大学新棟新築等工事三四五・福見設計共同体	矢 後 勝 一級建築士登録第186429号	西 野 晴 仁 一級建築士登録第247715号	島 崎 勉 一級建築士登録第344838号		図面名称 計画レベル図	縮尺 [A1] 1：150 [A3] 1：300	A-038 意 匠



(1F) 昇降路平面図

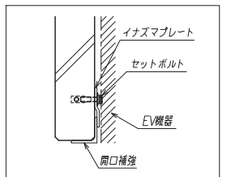
注：ピット内は、塗膜防水仕上醸います。
△：防水仕上面を示す。

A	巻上機	(EV工事)
B	制御盤	(EV工事)
C	受電箱・ピットタフップ	(EV工事)
D	地震感知器	(EV工事)



(2F) 昇降路平面図

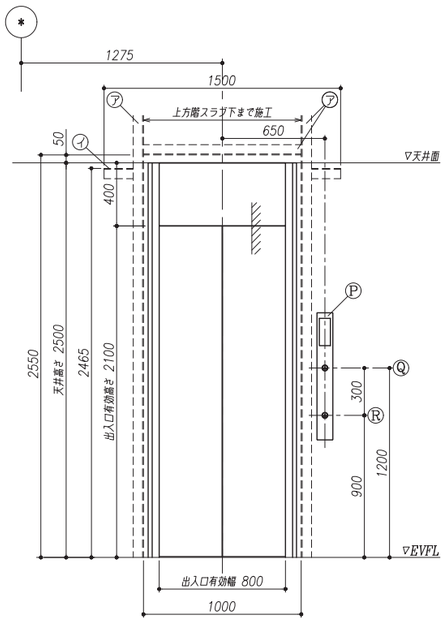
▲：耐火被覆面を示す。(t=25)



セットボルトの昇降路内への突出は不可

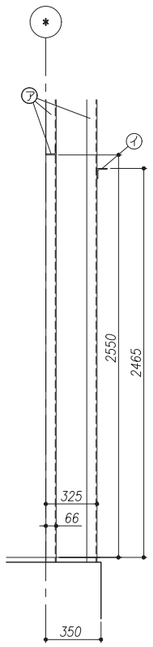
※突出する場合は昇降路の拡幅が必要となる可能性があります。
また、エレベーター用部材の移動が必要となります。

ALCパネル取付金物施工時の注意事項

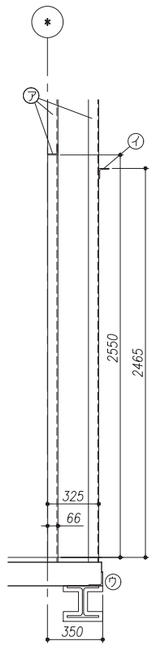


出入口正面図

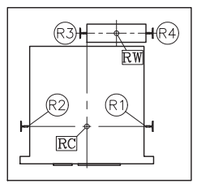
P	インジケータ
Q	一般用押釦芯
R	車いす用押釦芯



(1F)



(2F)



ピット部反力（kN）：長期荷重

R1	R2	R3	R4
15.5	17.0	32.2	11.9

ピット床衝撃力（kN）：短期荷重

RC	RW
67	57

レールに作用する荷重値（kN）

		Px	Py
Py / Px	かご	4.8	3.7
	おもり	7.4	3.7

短期荷重による建築部材のたわみは
5mm以下としてください

電源設備（1台当たり）【電気工事】

記号	種別	線種等				引込み高さ	引込し線長さ
	動力用電源	3φ 3W AC 200V 60Hz				1FL-100	3500mm
		幹線サイズ（mm²）	3.5	5.5	8		
		幹線こう長（m）	37	58	84		
		電気室ブレーカ（A）	30				
		接地線（mm²）	2.0				
		電源設備容量（kVA）	4.0				
		制御盤内開圧トランス容量（kVA）	0.15				
	照明用電源	1φ 2W AC 100V 60Hz					
		照明用電源容量（kVA）	1.0				
	ピットコンセント	AC100V 10A 1個				1FL-200	
	電話回線用配線	PVCO，9-2C				1FL+100	4500mm
	火災発生信号用配線	HP1，2-2C				1FL+100	8000mm
	放送設備用配線	HP1，2-3C					
	監視盤用配線	CPEVS（シールド）0．9-30Pr					

高調波対策
高周波漏洩電流と高周波ノイズの影響を低減するため、できるだけ建屋側でも下記対策をお願いします。
1．漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、感度電流値は昇降機1台あたり50mA(感度設定値100mA相当)の漏洩電流として設定下さい。
2．昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも「インバータ対応型」を使用して下さい。
3．昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
4．昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。
5．昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。（接地極は同一で構いません。）
6．昇降機の昇降路や動力線の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。

基本仕様

最寄階救出運転
戸開き不能時救出運転
乗り過ぎ検出（警報ブザー及び音声案内）
各階強制停止運転（各停運転）
昇降機耐震設計・施工指針（2016年版）対応
戸開走行保護装置（平成20年改正建築基準法施行令対応）
イオンフル（プラズマクラスター技術搭載/シャープ（株）商標）同等品
耐震クラス（ A14 ）

NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能

地震管制後の自動診断・仮復旧運転
メンテナンス用カメラによる、遠隔映像監視・遠隔閉込救出対応
24時間リモート点検
聴覚障がい者仕様：応答液晶表示（仕様が付加された場合、契約に関わらず有効）

車いす仕様

乗 場	車いす専用乗場ボタン
かご内室	車いす専用かご主副操作盤（インジケータ：デジタル表示）
	背面ミラー，手すり
セーフティ機能	戸開放時間の延長，戸閉速度の低減
	自動着床修正装置，光電式多光軸ドアセンサー

下記作業については、別途見積りとなります

夜間作業
部分営業中現場への搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を必要とする場合
2階以上の階もしくは地階からの搬入作業
荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が30mを超える場合
据付工事短縮を必要とする場合
エレベータを工事用として使用する場合の検査・清掃・復旧・補修・保守費用
エレベータ据付工事以外で立会いが発生する場合
展望用エレベータ等で昇降路を養生する必要がある場合
床・壁等に養生を必要とする場合
エレベータ着工前までの出入口開口部の養生材及び養生材設置工事
その他特殊な事情がある場合

エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

1．昇降路の築造工事。
（コンクリート打ち誤差により必要となるはつりまたは肉付け工事）
・昇降路のコンクリート強度は 21N/mm²(FC21)以上。
・昇降路のコンクリート壁厚は 150mm 以上。
・昇降路の壁（囲い）は、5cm²の任意の面に直角方向の外力（300N）が作用しても15mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造とする。
2．各階出入口（インジケータ、押釦用孔含む）の孔あけ工事。
3．各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め もしくはロックウール詰め工事。
4．乗場据付後の出入口廻りの壁・床及び建築物補修仕上工事。
5．屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備工事。（排水口・水勾配・庇など）
6．ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。
（エレベータ工事の着工前に完了のこと）
・防水厚は 25mm 以下。
7．昇降路頂部の荷吊り用ビーム（ 20 kN）設置工事。
8．鉄骨構造の昇降路に於ける鉄骨材の耐火処理工事及び耐火材の飛散防止処理工事。
9．レール支持用（　　柱　　）の設置工事。
10．敷居受材設置工事。

設備工事関係除外工事

1．エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。
2．昇降路外のインターホン・非常ベル、その他エレベータに必要な配管配線工事。
3．ピット点検用コンセント設置工事。
4．昇降路頂部の煙感知器設置工事。（昇降路頂部より点検が可能な事）
5．エレベータ遠隔監視用電話線（電話中継盤から監視ユニット設置場所まで）の配管配線工事。

注意事項

1．昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降機に必要な配管設備にあっては、昇降機の機能に支障無きよう願います。また、昇降路壁にはエレベータ以外の電気・水道等の配管・器具類を埋め込まないで下さい。
2．エレベータ受電端における電源電圧の変動は±5%以内、照明用は±2%以内、電圧不平衡率は5%以内に保つよう電源を設置下さい。
3．昇降路内温度は40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにして下さい。
4．昇降路には有毒ガスや甚だしい塵埃等が入らないようにして下さい。
5．昇降路および出入口は風雨に直接さらされたり、塩分の影響を受けないようにして下さい。
6．エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。
（必要に応じてコンクリート孔あけ、および埋戻し工事）
7．据付工事用仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願います。
8．工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。

仕 様 一 覧

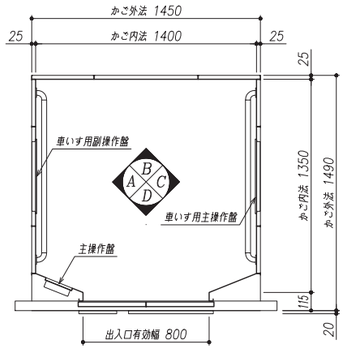
号 機		---				
用 途		乗用（車いす用）				
機 種		規格型 機械室レス				
制御方式		インバータ制御方式				
運転操作方式		乗合全自動方式				
積 載		750	kg	11	名	
速 度		45	m/min			
動力用電源	三相3線	200	V	60	Hz	
照明用電源	単相	100	V	60	Hz	
巻上電動機		3.5	kW			
停止階及び数	（正面）	1，2	階	2	個所	
	（背面）	－	階	－	個所	
かご内法	（間口）1400 mm（奥行）1350 mm（高さ）2300 mm					
出入口寸法	（間口） 800 mm（高さ） 2100 mm					
戸の方式	2枚 両引き（電動式）					
おもり	50 %バランス					
荷重条件 ※1	250 kg以下					
管制運転	地震時管制運転	●：（P・S波）リスタート運転機能付				
	火災時管制運転	●				
	停電時自動着床	●				
	冠水時管制運転	●				
	自家発時管制運転	－				
	緊急地震速報運動	－				
	長周期地震時管制運転	－				
セーフティ機能	カードアポケットセンサー	●				
	光電式ドアニック	●				
	光電式多光軸ドアセンサー	●				
	ドアエッジセンサー	－				
	ドアウインカー	－				
ユニバーサルデザイン 福祉対応	車いす仕様	●				
	音声案内装置	●				
	視覚障がい者仕様（点字）	●				
	聴覚障がい者仕様（応答灯付インターホン呼びボタン）	●				
	応答灯付タクタイルボタン	●				
	走行お知らせ音	－				
	敷居隙間 10mm	●				
乗場	三方枠	全階	大枠 鋼板化粧シート貼り			
	幕 板	全階	鋼板化粧シート貼り（扉面一）			
	扉	全階	鋼板化粧シート貼り			
	遮煙乗場ドア	－				
	防犯窓 ※2	－				
	敷 居	全階	硬質アルミ製			
	乗場意匠機器 表示機器	全階	デジタル表示／押ボタン組込			
	押ボタン	全階	タクタイルボタン（発音機能付）			
	フェースプレート	全階	ステンレスヘアライン仕上			
かご	天 井	スタンダードタイプ				
	入口柱	ステンレスバイブレーション仕上				
	側 壁	化粧鋼板				
	幕 板	化粧鋼板				
	扉	化粧鋼板				
	幅 木	ステンレスヘアライン仕上				
	床	t=2.0 ビニールタイル				
	敷 居	硬質アルミ製				
	換気装置	クロスフローファン（イオンフル付）				
	主操作盤 表示機器	液晶表示／操作盤組込				
	押ボタン	タクタイルボタン（発音機能付）				
	フェースプレート	ステンレスバイブレーション仕上				
	手すり	32φ ステンレスヘアライン仕上（端部亜鉛ダイカスト製）				
	鏡	ステンレス鏡面仕上（ビス止め）				
	ガード	－				
	保護幕	●：磁石式				
	床マット	●				
	ITVカメラ	●：メンテナンス用のみ				
特記仕様		放送用スピーカー				
		パーキングスイッチ：監視盤に設置				
		県立大学新棟に設置の監視盤に追加改造を行い、本エレベータを監視する。				
	監視盤	●				

※1 4輪手押し台車等で荷物を積み込む場合は、台車の重量を含んで、荷重条件以下に分けて積み込みください。
※2 特定防火設備の区画では、防犯窓付の扉は設置出来ませんのでご注意下さい。

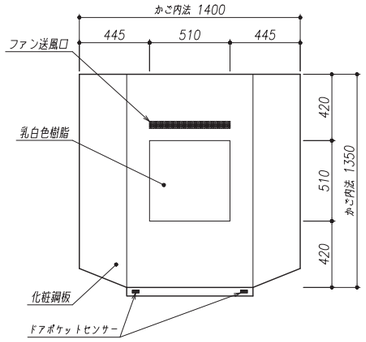
エレベータ用鉄骨部材

ア	三方枠取付用部材 フェッシャープレート取付用部材	L−65×65×6
イ	開閉装置取付用部材	L−65×65×6
ウ	敷居取付用部材	L−90×90×7
エ	大梁	H−200×200×8 ×12
エ′	小梁	H−200×100×5.5×8
オ	レール支持用立柱	H−150×150×7 ×10
カ	レール支持用立柱	H−200×200×8 ×12

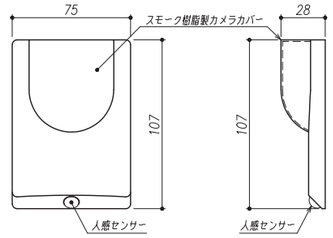
※部材のサイズは仕様や階高により変更となる場合があります。
※立柱は各階梁より強固に固定願います。
※立柱は4000mm以下のピッチで支持願います。



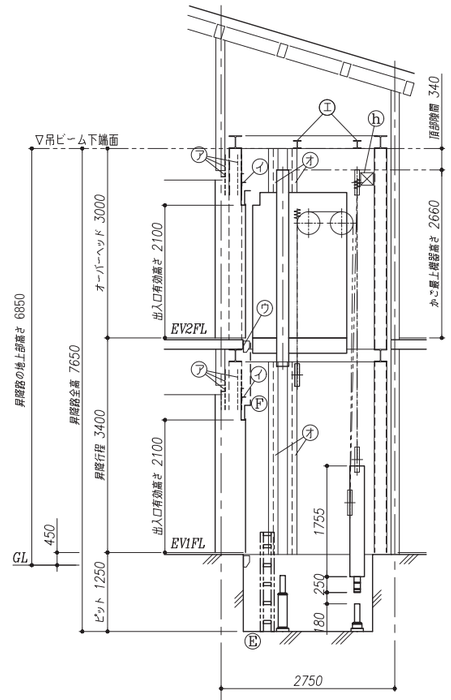
かご平面図 S=1/20



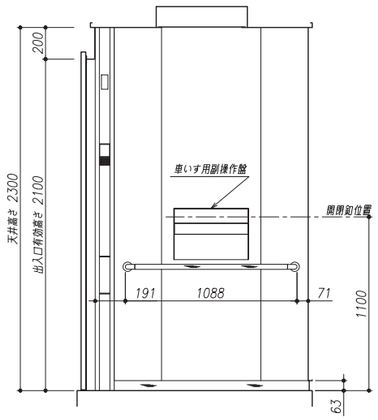
天井見上図 S=1/20



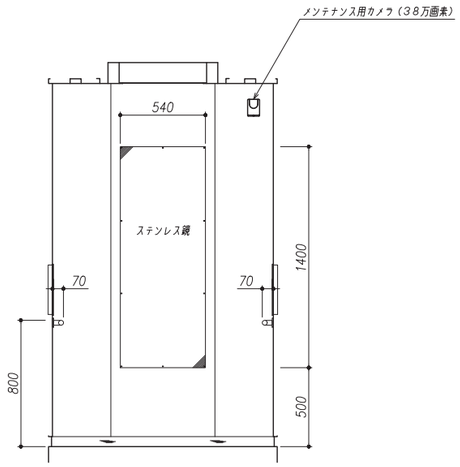
カメラ詳細図



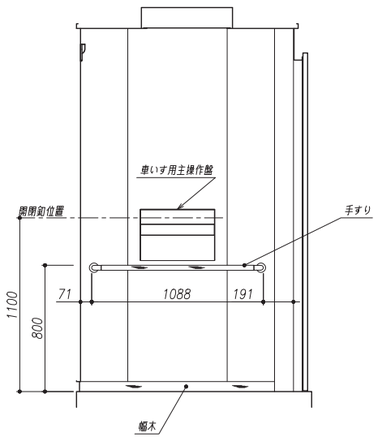
昇降路断面図 S=1/50



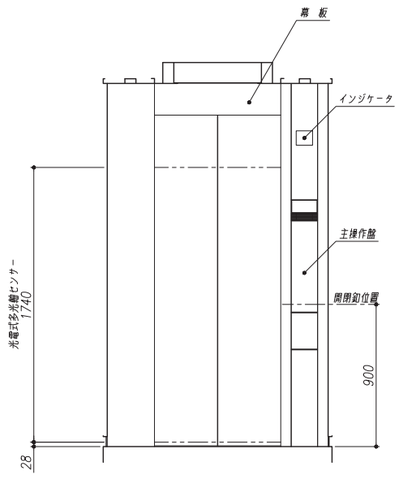
矢視 A S=1/20



矢視 B S=1/20

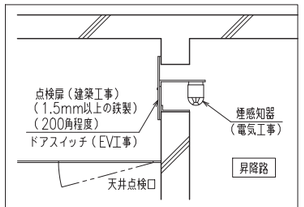


矢視 C S=1/20



矢視 D S=1/20

かご内室仕様		
かご内法	間口 1400 mm × 奥行 1350 mm	
出入口寸法	幅 800 mm × 高さ 2100 mm	
積載	積載 750 kg 定員 11 名	
側壁	化粧鋼板	
幕板	化粧鋼板	
扉	化粧鋼板	
天井	スタンダードタイプ（SE-13）	
袖壁	ステンレスバイブレーション仕上（入口柱一体）	
幅木	ステンレスヘアライン仕上	
床	t=2.0 ビニールタイル	
敷居	硬質アルミ製（補助敷居付）	
照明	LED照明	
停電灯	白熱球	
換気装置	クロスフローファン（イオンフル付）	
手すり	32φ ステンレスヘアライン仕上（幅詳：30φ 亜鉛ダイカスト塗装仕上）	
鏡	ステンレス鏡面仕上（ビス止め）	
付属品	放送用スピーカー	
	保護幕	
	床マット	
	音声案内装置	
	インターホン応答灯	
	応答液晶表示	
	メンテナンス用カメラ（38万画素）	
	ドアポケットセンサー	
	光電式ドアニック	
	光電式多光軸ドアセンサー	



昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能なよう施工願います。（建築工事）
点検口の位置は、塔内機器と干渉する恐れがあるため、事前にご相談下さい。

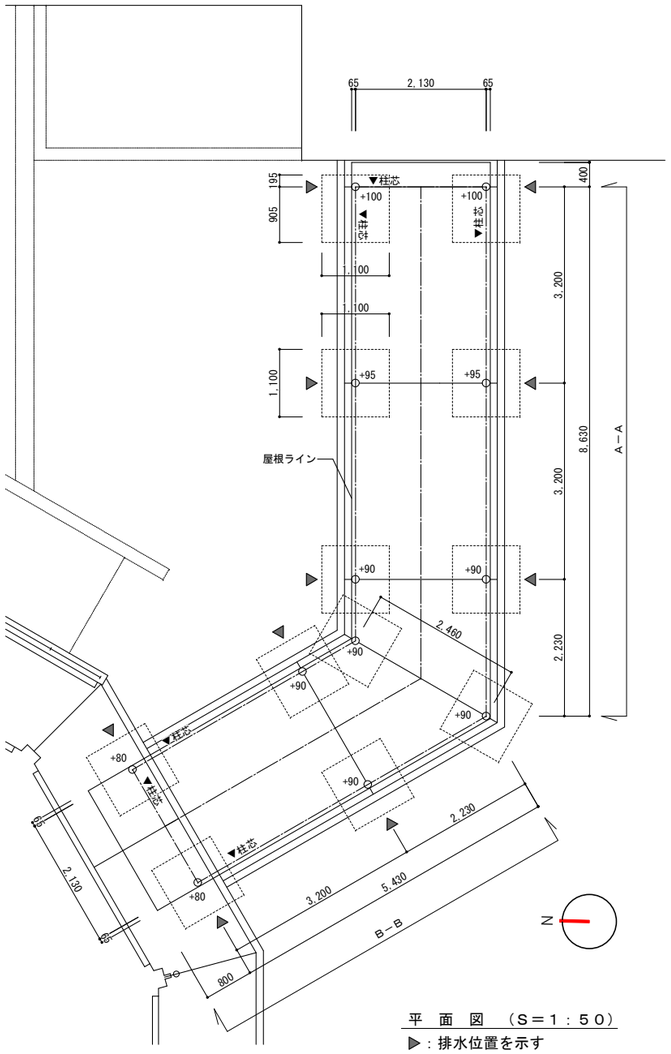
煙感知器の施工例（屋内用）

h	煙感知器	（電気工事）
E	クラップ	（EV工事）
F	フェッシャープレート	（EV工事）

エレベータ用鉄骨部材

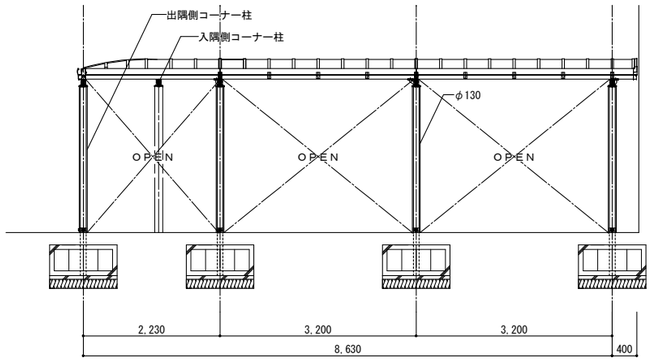
ア	三方枠取付用部材 フェッシャープレート取付用部材	L−65×65×6
イ	開閉装置取付用部材	L−65×65×6
ウ	敷居取付用部材	L−90×90×7
エ	大梁	H−200×200×8 ×12
エ'	小梁	H−200×100×5.5×8
オ	レール支持用立柱	H−150×150×7 ×10
カ	レール支持用立柱	H−200×200×8 ×12

※部材のサイズは仕様や階高により変更となる場合があります。
※立柱は各階梁より強固に固定願います。
※立柱は4000mm以下のピッチで支持願います。

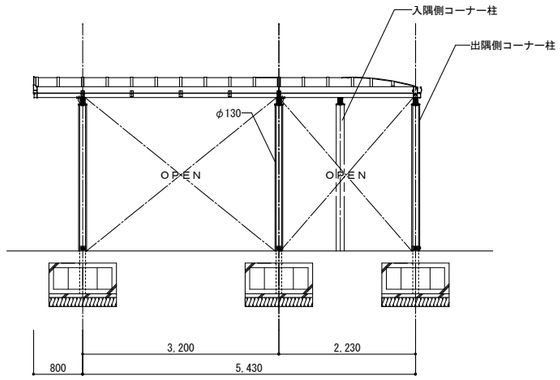


平　面　図　（Ｓ＝１：５０）

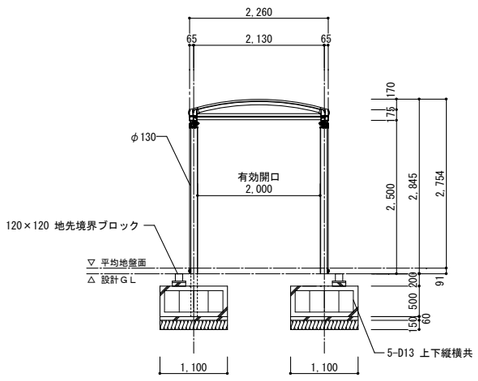
▶：排水位置を示す



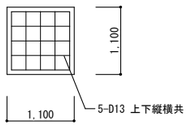
立面図（Ｓ＝１／５０）Ａ－Ａ矢視

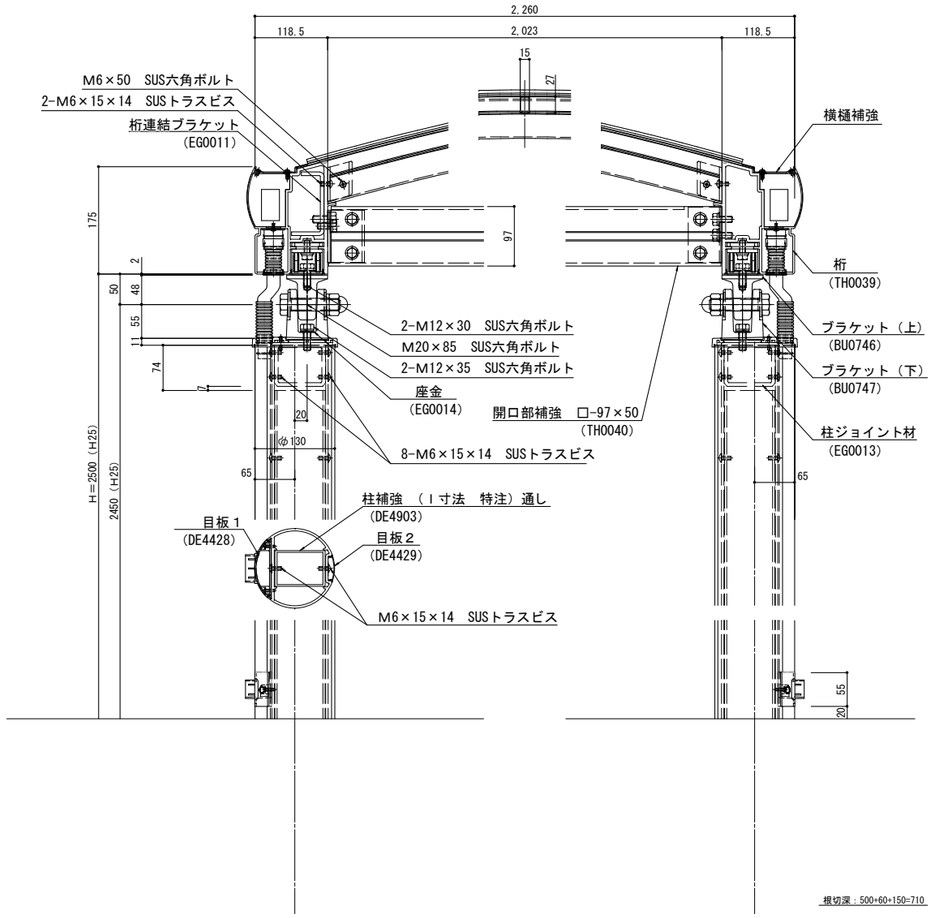


立面図（Ｓ＝１／５０）Ｂ－Ｂ矢視



断　面　図（Ｓ＝１／５０）





間口詳細図（Ｓ＝１／５）

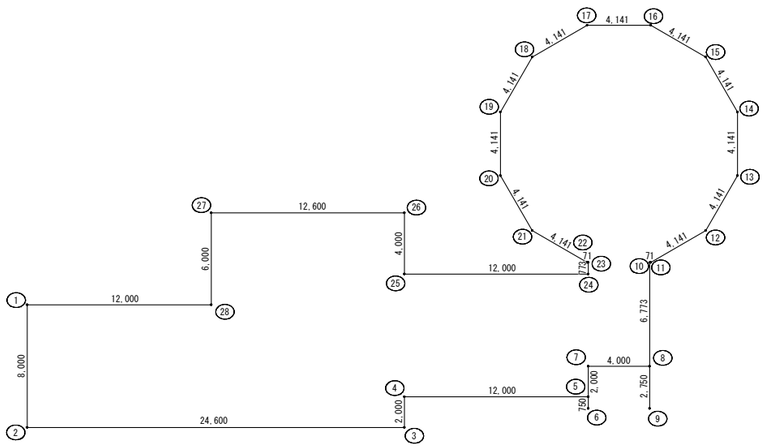
基礎寸法表

	地耐力（長期）（KN/m²）	a（mm）	b（mm）	h（mm）
基礎底地反力のみ考慮（側圧考慮なし）	30≦N<50	1100	1100	500
	50≦N	1000	1000	500

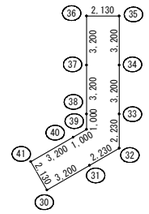
窓　番		Ｓ－１	数量	１	備　考
参　考		三協立山アルミ 高強度通路シェルター同等品			積雪４５００Ｎ／m²
色仕上	本　体	規格色			両支持タイプ
	屋根パネル	規格色			Ｄ＝２２６０、Ｈ＝２５００
	（材質）	アルミニウム板　ｔ＝２．０			ｺｰﾅｰ垂木（ＴＨ００４１）
	側面パネル				
	（材質）				

名　称	材　質	規　格
柱	アルミニウム合金押出形材	Ａ６００５ＣＳ－Ｔ５　ＪＩＳ　Ｈ４１００
桁	アルミニウム合金押出形材	Ａ６００５ＣＳ－Ｔ５　ＪＩＳ　Ｈ４１００
垂木・コーナー垂木	アルミニウム合金押出形材	Ａ６００５ＣＳ－Ｔ５　ＪＩＳ　Ｈ４１００
妻垂木	アルミニウム合金押出形材	Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５　ＪＩＳ　Ｈ４１００
開口補強	アルミニウム合金押出形材	ＪＩＳ　Ｈ４１００
パネル押え	アルミニウム合金押出形材	Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５　ＪＩＳ　Ｈ４１００
中桟	アルミニウム合金押出形材	Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５　ＪＩＳ　Ｈ４１００
屋根パネル	アルミ板　ｔ＝２．０	Ａ１１００Ｐ－Ｈ１４　ＪＩＳ　Ｈ４０００
ブラケット類	アルミニウム合金鋳物材	ＡＣ７Ａ－Ｆ　ＪＩＳ　Ｈ５２０２
	アルミニウム合金押出形材	Ａ６００５ＣＳ－Ｔ５　ＪＩＳ　Ｈ４１００
	冷間圧延ステンレス鋼板	ＳＵＳ
排水器	樹脂	ＡＡＳ
ボルト等	冷間圧造用ステンレス鋼線	ＳＵＳ

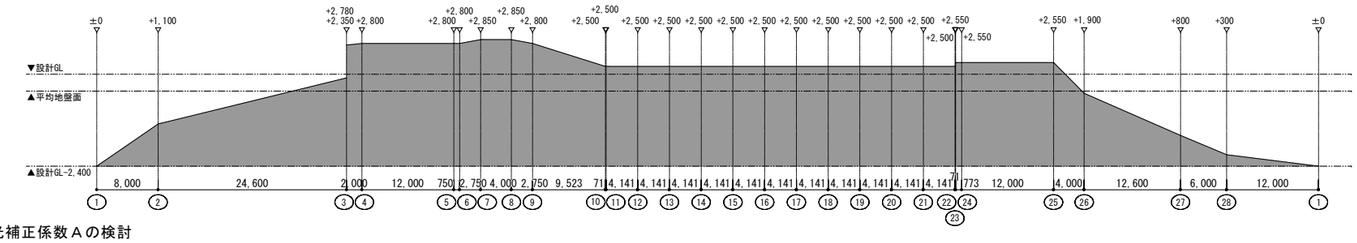
■平均地盤面の算定

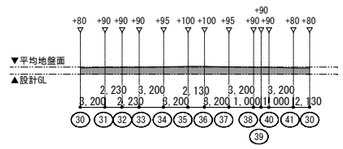


範囲	面積計算（X×Y）	面積	辺長
①－②	8.000 × 1.100 / 2	4.400	8.000
②－③	(1.100 + 2.350) × 24.600 / 2	42.435	24.600
③－④	(2.780 + 2.800) × 2.000 / 2	5.580	2.000
④－⑤	12.000 × 2.800	33.600	12.000
⑤－⑥	0.750 × 2.800	2.100	0.750
⑥－⑦	(2.800 + 2.850) × 2.750 / 2	7.769	2.750
⑦－⑧	4.000 × 2.850	11.400	4.000
⑧－⑨	(2.850 + 2.800) × 2.750 / 2	7.769	2.750
⑨－⑩	(2.800 + 2.500) × 9.523 / 2	25.236	9.523
⑩－⑪	0.071 × 2.500	0.178	0.071
⑪－⑫	4.141 × 2.500	10.353	4.141
⑫－⑬	4.141 × 2.500	10.353	4.141
⑬－⑭	4.141 × 2.500	10.353	4.141
⑭－⑮	4.141 × 2.500	10.353	4.141
⑮－⑯	4.141 × 2.500	10.353	4.141
⑯－⑰	4.141 × 2.500	10.353	4.141
⑰－⑱	4.141 × 2.500	10.353	4.141
⑱－⑲	4.141 × 2.500	10.353	4.141
⑲－⑳	4.141 × 2.500	10.353	4.141
⑳－㉑	4.141 × 2.500	10.353	4.141
㉑－㉒	4.141 × 2.500	10.353	4.141
㉒－㉓	(2.500 + 2.550) × 0.071 / 2	0.179	0.071
㉓－㉔	0.773 × 2.550	1.971	0.773
㉔－㉕	12.000 × 2.550	30.600	12.000
㉕－㉖	(2.550 + 1.900) × 4.000 / 2	8.900	4.000
㉖－㉗	(1.900 + 0.800) × 12.600 / 2	17.010	12.600
㉗－㉘	(0.800 + 0.300) × 6.000 / 2	3.300	6.000
㉘－①	12.000 × 0.300 / 2	1.800	12.000
合　計		318.104	159.439
面　積　/　周　長		1.995	
平　均　地　盤　面		（設計GL － 2.400）＋ 1.955	
		設計GL － 0.445	



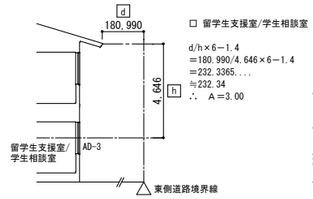
範囲	面積計算（X×Y）	面積	辺長
30 － 31	(0.080 + 0.090) × 3.200 / 2	0.272	3.200
31 － 32	2.230 × 0.090	0.201	2.230
32 － 33	2.230 × 0.090	0.201	2.230
33 － 34	(0.090 + 0.095) × 3.200 / 2	0.296	3.200
34 － 35	(0.095 + 0.100) × 3.200 / 2	0.312	3.200
35 － 36	2.130 × 0.100	0.213	2.130
36 － 37	(0.100 + 0.095) × 3.200 / 2	0.312	3.200
37 － 38	(0.095 + 0.090) × 3.200 / 2	0.296	3.200
38 － 39	1.000 × 0.090	0.090	1.000
39 － 40	1.000 × 0.090	0.090	1.000
40 － 41	(0.090 + 0.080) × 3.200 / 2	0.272	3.200
41 － 30	2.130 × 0.080	0.170	2.130
合　計		2.725	29.920
面　積　/　周　長		0.091	
平　均　地　盤　面		設計GL ＋ 0.091	





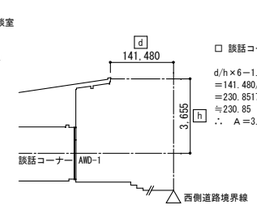
■ 採光補正係数Ａの検討

用途地域：住居系区域（α＝6、β＝1.4）
Ａ＝ｄ／ｈ×６－１．４



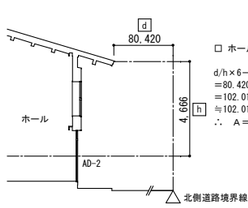
□ 留学生支援室/学生相談室

d/h×6－1.4
＝180.990/4.646×6－1.4
＝232.3365....
≒232.34
∴　A＝3.00



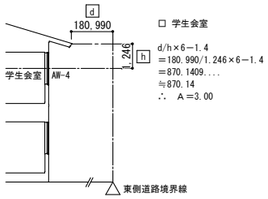
□ 談話コーナー

d/h×6－1.4
＝141.480/3.655×6－1.4
＝230.8517....
≒230.85
∴　A＝3.00



□ ホール

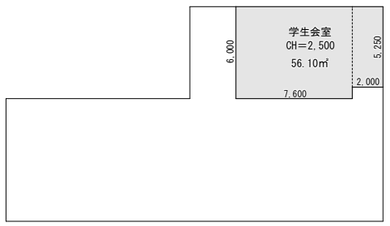
d/h×6－1.4
＝80.420/4.666×6－1.4
＝102.0119....
≒102.01
∴　A＝3.00



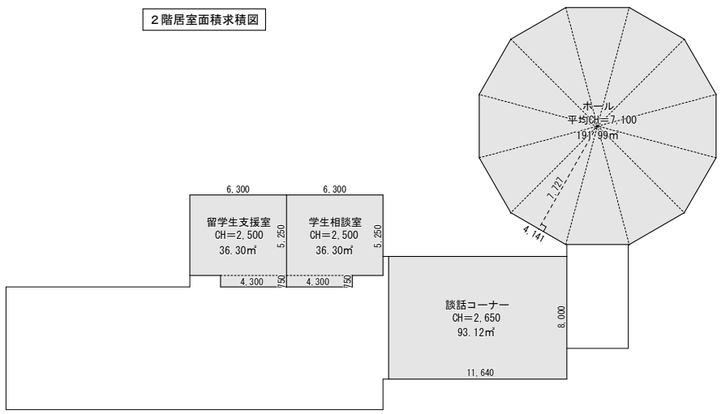
□ 学生会室

d/h×6－1.4
＝180.990/1.246×6－1.4
＝870.1409....
≒870.14
∴　A＝3.00

■居室面積求積図



２階居室面積求積図



１階居室面積求積図

階数	室名	面積計算（X×Y）	面積（X×Y）	居室面積
1	留学生支援室	6.300 × 5.250	33.075	36.300
		4.300 × 0.750	3.225	
	学生相談室	6.300 × 5.250	33.075	36.300
		4.300 × 0.750	3.225	
	談話コーナー	11.640 × 8.000	93.120	93.120
	ホール	4.141 × 7.727 / 2 × 12	191.990	191.990
2	学生会室	7.600 × 6.000	45.600	56.100
		2.000 × 5.250	10.500	

■有効採光面積算定

α＝6 、β＝1.4

階数	室名	面積（S）	k	S・k	d（D）	h	A=d/h*α－β	修正値A	建具	開口幅	開口高	か所数	W	A・W	Sum（A・W）	判定　A・W ≧ S・K
1	留学生支援室	36.30	1/10	3.63	180.990	4.646	232.34	3.00	AD-3	3.045	2.360	1	7.186	21.558	21.55	OK
	学生相談室	36.30	1/10	3.63	180.990	4.646	232.34	3.00	AD-3	3.045	2.360	1	7.186	21.558	21.55	OK
	談話コーナー	93.12	1/20	4.66	141.480	3.655	230.85	3.00	AWD-1	9.400	2.460	1	23.124	69.372	69.37	OK
	ホール	191.99	1/20	9.60	80.420	4.666	102.01	3.00	AD-2	3.570	2.360	8	67.402	202.2048	202.20	OK
2	学生会室	56.10	1/10	5.61	180.990	1.246	870.14	3.00	AW-4	3.045	1.500	2	9.135	27.405	27.40	OK

■有効換気面積算定

階数	室名	面積（S）	k	必要換気面積（V=S・K）	建具	開口幅	係数	開口高	か所数	W	有効換気面積 Sum（W）	判定　W ≧ V
1	留学生支援室	36.30	1/20	1.815	AD-3	3.045	2/3	2.360	1	4.790	4.790	OK
	学生相談室	36.30	1/20	1.815	AD-3	3.045	2/3	2.360	1	4.790	4.790	OK
	談話コーナー	93.12	1/20	4.656	AD-4	2.775	2/3	2.360	2	8.731	8.731	OK
	ホール	191.99	1/20	9.600	AD-2	3.570	1/2	2.360	8	33.701	33.701	OK
2	学生会室	56.10	1/20	2.805	AW-4	3.045	2/3	1.500	2	6.089	6.089	OK

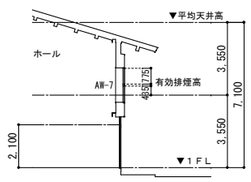
■有効排煙面積算定

階数	室名	面積（S）	k	必要換気面積（C=S・K）	建具	開口幅	係数	開口高	か所数	W	有効換気面積 Sum（W）	判定　W ≧ C
1	談話コーナー	93.12	1/50	1.862	AD-4	2.775	2/3	0.360	2	1.332	2.385	OK
					AWD-1	0.940	1	0.560	2	1.053		
	ホール	191.99	1/50	3.840	AW-7	0.450	1	0.775	8	2.790	4.356	OK
						0.450	1	0.435	8	1.566		

■無窓階判定表

全建具：全面破壊によるガラス有効面積

階数	建具符号	建具種別	設置高さ（FL+）	ガラス種別	有効部分（mm） 横	有効部分（mm） 縦	開口面積（㎡）	数量	小計	合計		必要面積（A/30）	室面積 A（㎡）	判定
1	AD－1	引違い	0	T5+A6+FL5	750	1,800	1.35	4	5.40	34.50	≧	19.58	587.48	OK
	AWD－1	FIX	0	Low-E5+A6+FL5	940	1,900	1.78	10	17.80					
2	AW－4	引違い	960	FL5+A6+FL5	900	1,350	1.21	6	7.26	11.30	≧	9.08	272.40	OK
	AW－5	引違い	960	FL5+A6+FL5	750	1,350	1.01	4	4.04					



□ホール　平均天井高算定
・室容積
191.99 × 6.30 = 1209.54
191.99 × 2.4 × 1/3 = 153.59
1209.54 + 153.59 = 1363.13
∴平均天井高＝室容積 / 室面積
1363.13 / 191.99 = 7.10　　7.10m